

自動警戒管制組織の弾道ミサイル対処機能(BMD)
自動警戒管制組織の航空警戒管制機能の近代化

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 加藤雄一					
	その他担当組織	防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第1課					
基本情報	予算事業ID	005148	事業開始年度	2002		事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	自動警戒管制システム（JADGE：Japan Aerospace Defense Ground Environment）は、本邦周辺空域の常続的な警戒監視、敵味方の識別及び戦闘機等の管制を行うために必要となる機能を有しており、空自の各種作戦を組織的に行うための中核となるシステムである。 よって、組織戦闘能力を向上させるため、JADGEと接続するシステムの能力向上等に合わせた機能強化を適切に実施する。					
	現状・課題	自動警戒管制組織の導入から10年以上経過し、機能付加の継続によりシステムが複雑化し、改修が長期化する等の課題が顕在化					
	事業の概要	本事業は、常続的な警戒監視体制及びミサイル防衛（BMD：Ballistic Missile Defence)における組織戦闘力を維持し、自動警戒管制システム（JADGE：Japan Aerospace Defense Ground Environment）を継続的に運用するため、JADGEの機能付加が必要である。BMDにおける自衛隊の組織戦闘力を最大限に発揮させるため、関連システムの増加及び能力向上に合わせたJADGEの適合化が必要である。関連システムの整備事業との整合を図りつつ、JADGEの機能付加等を円滑に推進するため、官側に不足する精緻なプロジェクト・マネジメント及びシステム・エンジニアリングの知見について、会社技術支援による補完が必要である。JADGEの弾道ミサイル対処機能の整備に係る事業管理を適切に実施するため、米軍関係機関からの技術支援が不可欠である。					
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三

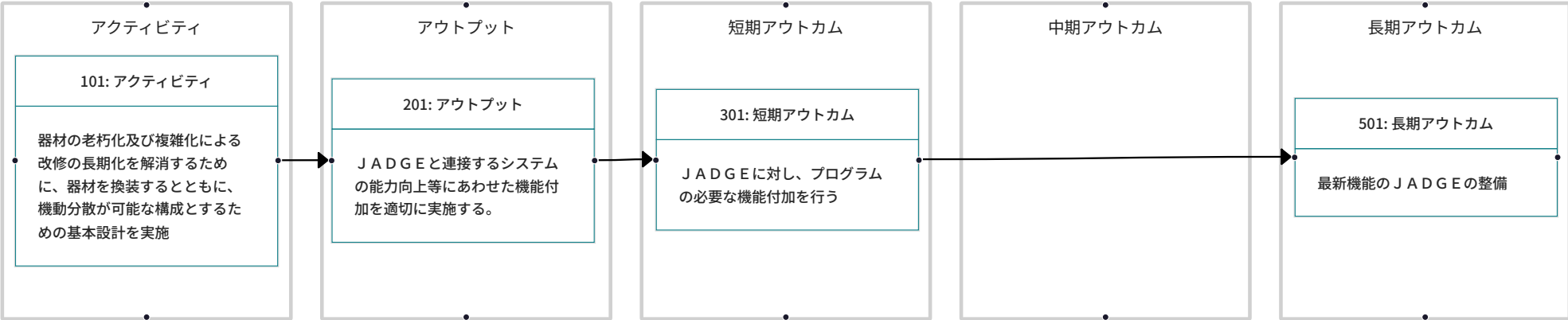
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定　閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026		
	要求額		1,694,000	2,659,000	24,793,000	14,324,503	42,451,066		
	当初予算		1,694,000	5,353,000	24,793,275	2,523,879	24,150,266		
	補正予算		--	--	--	18,300,800	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--		
	予備費等		--	--	--	167,454	--		
	計		1,694,000	5,353,000	24,793,275	20,992,133	24,150,266		
	執行額		1,694,000	5,353,121	24,793,275	20,824,404	--		
	執行率		100%	100%	100%	99.2%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考		
	一般会計	一般会計	--		--		--		
		予算種別/歳出予算項目				備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費				--		2,523,879	42,451,066
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費				--		18,300,800	--
		予備費等2 --				--		167,454	--
主な増減理由	実施内容の相違によるもの。7年度は器材換装に係る設計のみを要求しているものであるが、8年度については、器材換装に係る製造・試験を要求しており、要求額が大幅に増加している。				その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



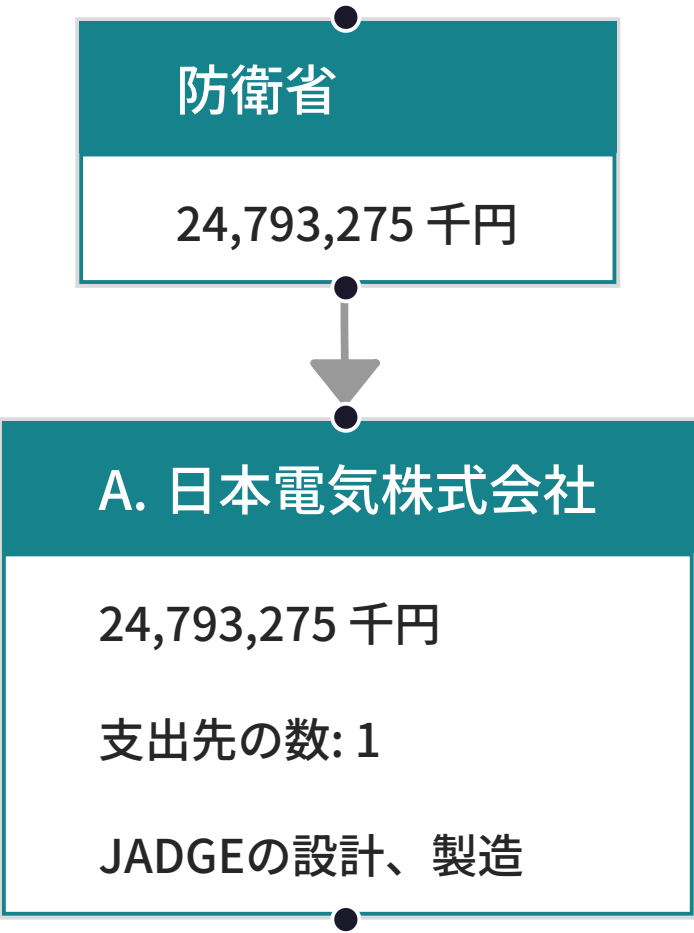
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	器材の老朽化及び複雑化による改修の長期化を解消するために、器材を換装するとともに、機動分散が可能な構成とするための基本設計を実施				
アウトプット	活動目標	J A D G E と接続するシステムの能力向上等に合わせた機能付加を適切に実施する。		活動指標	J A D G E のプログラムへの接続機能等の付加等にかかる事業数。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(事業)	1	2	2	1
	活動実績／成果実績(事業)	1	2	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	JADGEに必要な機能を付加することにより、各基地のJADGEを最新の状態に整備する。				
短期アウトカム	成果目標	J A D G E に対し、プログラムの必要な機能付加を行う		成果指標	J A D G E に対し、プログラム改修により付加する機能数。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(機能)	4	1	2	1
	活動実績／成果実績(機能)	4	1	2	--
	達成率(%)	100	100	100	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	JADGEに必要な機能を付加することにより、各基地のJADGEを最新の状態に整備する。				

長期アウトカム	成果目標	最新機能の J A D G E の整備			成果指標	最新機能が付加された J A D G E が整備された基地数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(基地)		9	9	9	9	
	活動実績／成果実績(基地)		9	9	9	--	
	達成率(%)		100	100	100	--	
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 我が国の常統的な警戒監視及びBMD体制の能力を向上させるため、ＪＡＤＧＥと接続するシステム の能力向上等に合わせた機能強化を適切に実施するために必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性 事業の内容及び特性に応じ、事業内容の合理化及び要求の精査等、合理性及び効率性の向上に努めている。また、ソフトウェアの調達にあたっては、定量的にソフトウェアの工数を算出することが可能な、ファンクションポイント法（ソフトウェアの持つ機能数をもとに、ソフトウェアの規模を測定する手法）による工数の積算手法を採用して、効率化を図るよう努力している。 3．有効性 脅威のすう勢を踏まえて装備品の能力向上を行うことにより、我が国を有効に防衛している。 4．総合評価 航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な装備品の取得において、効率化及び有効性を確保しつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	引き続き、調達実績の反映、仕様書の見直し、事業の特性に応じた要求内容の更なる精査等、効率的な予算執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2021
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	アウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗に伴う成果を測定するための指標が概ね整備されている。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	承知した。引き続き適正な予算執行に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	日本電気株式会社	24,793,275	1	JADGEの設計、製造		
		支出先名	支出額	法人番号			
		日本電気株式会社	24,793,275	7010401022916			
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		自動警戒管制システム等（０３機能付加等） 随意契約（公募）	19,263,750	1	87		
		自動警戒管制システム等（０５機能付加等） 随意契約（公募）	3,791,525	1	99	--	
	自動警戒管制システム等（０４機能付加等） 随意契約（公募）	1,738,000	1	99	--		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額	
	A	日本電気株式会社	自動警戒管制システム等（０３機能付加等）	通信機器購入費	J A D G E の設計・製造	19,263,750	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号			
	A	日本電気株式会社	37,290,000	7010401022916			
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		自動警戒管制システム等（０６機能付加等） 随意契約（公募）	37,290,000	1	100	--	

その他備考

--

武器修理費（空白）

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）				
	作成責任者	米倉和也 貴島崇 吉村昌志 川島寛人 加藤雄一				
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（宇宙・地上装備担当） 防衛省 航空幕僚監部 装備計画部 整備・補給課 防衛省 航空幕僚監部 科学技術官 科学技術計画官 防衛省 航空幕僚監部 装備計画部 整備・補給課輸送補給室 防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第 1 課				
基本情報	予算事業ID	005150	事業開始年度	1972	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分		前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（7）持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	航空自衛隊の任務を遂行するために必要な態勢を維持するため、武器等を適切に維持する。				
	現状・課題	航空自衛隊が保有する武器等については、運用可能状態を維持や故障発生に際しては運用可能な状態とするため整備を行っており、その際、使用する部品の取得や構成品の修理が必要である。				
	事業の概要	本事業は、航空自衛隊が保有する地上武器等を適切に維持管理するため、以下の内容を実施するものである。 1 武器、武器附属品及び武器修理用機械器具の維持及び修理 2 武器の修理に必要な部品の取得				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html				

根拠法令	法令名		法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法		昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定　閣議決定）		--			
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	
備考	--					

予算・執行

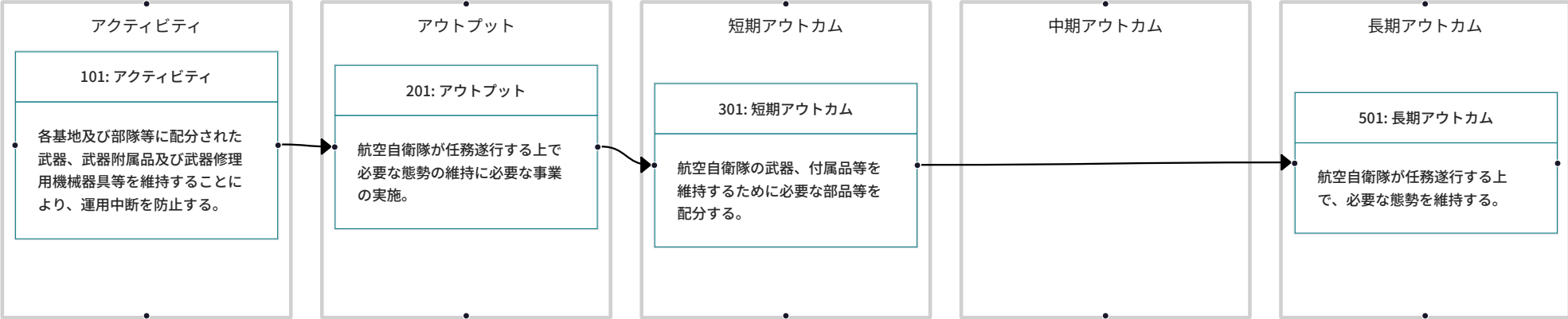
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	26,369,000	22,623,000	48,448,000	67,849,774	36,339,359
	当初予算	15,315,000	24,270,000	38,838,445	61,976,199	59,048,587
	補正予算	2,535,000	12,938,000	11,275,262	1,405,080	--
	前年度から繰越し	1,684,000	1,188,000	250,655	2,397,431	18,116,843
	予備費等	--	--	100,000	△368,779	--
	計	19,534,000	38,396,000	50,464,362	65,409,931	77,165,430
	執行額	16,590,000	38,545,820	47,989,887	46,076,517	--
	執行率	84.9%	100.4%	95.1%	70.4%	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	--	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器修理費			--	61,976,199	36,339,359
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器修理費			--	1,405,080	--
		前年度から繰越し --			--	2,397,431	--
		予備費等2 --			--	0	--
		予備費等3 --			--	△368,779	--

主な増減理由	令和8年度に計上すべき経費について、企業の生産能力を踏まえた調整を行う必要があり、現時点において計上すべき予算をあらかじめ確定することが困難な装備品の可動確保・向上に必要な経費について、事項要求としている。	その他特記事項	--
--------	---	---------	----

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



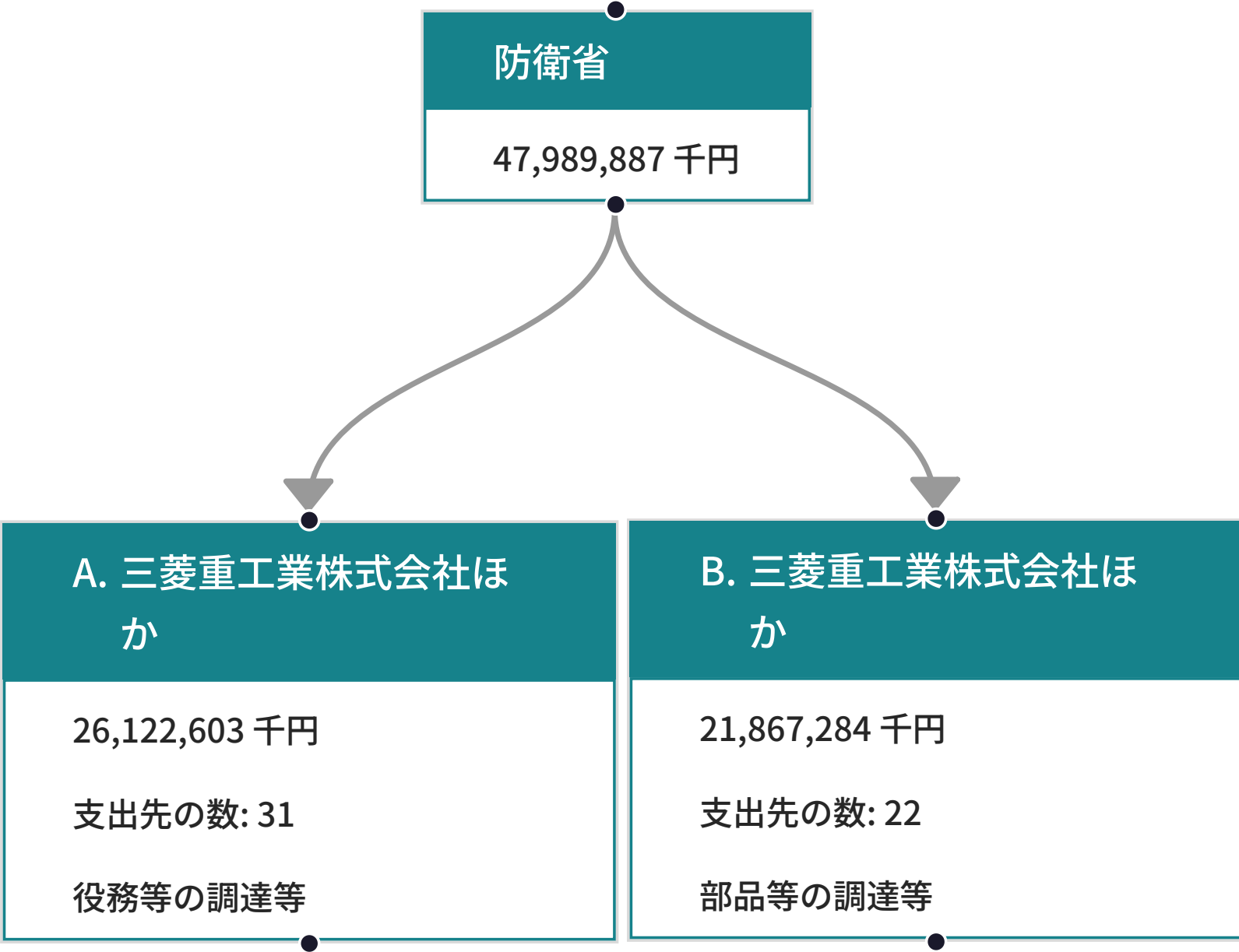
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	各基地及び部隊等に配分された武器、武器附属品及び武器修理用機械器具等を維持することにより、運用中断を防止する。				
アウトプット	活動目標	航空自衛隊が任務遂行する上で必要な態勢の維持に必要な事業の実施。		活動指標	航空自衛隊で使用する武器及び付属品等の維持修理等の事業数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(事業)	17	16	14	15
	活動実績／成果実績(事業)	13	15	15	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	航空自衛隊の武器等の維持に必要な事業を実施することにより、必要な部品等を入手し基地に配分し、必要な整備に使用する。				
短期アウトカム	成果目標	航空自衛隊の武器、付属品等を維持するために必要な部品等を配分する。		成果指標	航空自衛隊で使用する武器及び付属品等の維持に必要な部品等の配分基地数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(基地)	72	72	72	72
	活動実績／成果実績(基地)	72	72	72	--
	達成率(%)	100	100	100	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	各基地に配分された部品等により、航空自衛隊が保有する武器等が適切に整備等されることにより、長期の運用中断が発生せず、適切に維持される。				

長期アウトカム	成果目標	航空自衛隊が任務遂行する上で、必要な態勢を維持する。			成果指標	各基地等に配分された武器及び付属品等を維持することにより、運用中断を防止できた基地数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(基地)		72	72	72	72
	活動実績／成果実績(基地)		72	72	72	--
	達成率(%)		100	100	100	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性：航空自衛隊の武器及び武器付属品の維持整備の実施及び役務の取得等に必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性：事業の内容及びその特性に応じ、事業目的に必要なものに限定して取得経費を低減し、効率性を確保している。 3．有効性：武器等ごとに規定された維持整備を行うことにより、武器等の性能及び安全性を有効に維持している。 4．総合評価：航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な武器等の維持において、効率化及び有効性を確保しつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	引き続き、調達実績の反映、仕様の見直し、事業の特性等に応じた要求内容のさらなる精査等、効率的な予算執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2022
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	事業の進捗に伴って実施する活動を細分化し、結節ごとに成果目標や成果指標に設定することなども検討されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	引き続き、効率的な予算執行に努める。なお、成果目標や成果指標を細分化した場合、予算額から弾薬の維持整備状況が推察される恐れがあることから、目標については現状維持としたい。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A	三菱重工業株式会社ほか	26,122,603	31	役務等の調達等	
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱重工業株式会社		14,218,002	8010401050387		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	地对空誘導弾ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）(その他)		13,970,873	0	93.7	ライセンス生産のため。
	地对空誘導弾ペトリオット構成品の修理 随意契約（公募）		247,130	3	99.9	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	米国（陸軍省）		8,339,767	99999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット技術支援 随意契約（その他）(FMS)		8,339,767	1	--	米国との取り決めによる。
	支出先名		支出額	法人番号		
	東邦車輛株式会社		598,634	1070001024734		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオットの定期修理 随意契約（その他）(その他)		598,634	3	98	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	大京整備株式会社		534,622	1010701005469		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の定期修理 随意契約（その他）(その他)		494,023	1	100	--
	ペトリオットの整備 随意契約（公募）		40,599	5	99.8	--
	支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	株式会社SUBARU	511,491	5011101019196		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオットの定期修理 随意契約（その他）（その他）	511,491	16	99.5	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	東芝電波プロダクツ株式会社	399,193	1020001081053		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	基地防空用器材の定期修理 随意契約（公募）	304,220	18	99	--
	ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）（その他）	94,973	4	99.9	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	東芝インフラシステムズ株式会社	397,528	2011101014084		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）（その他）	238,987	8	99.6	--
	ペトリオット構成品の修理 随意契約（公募）	158,541	6	99.5	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	大京工業株式会社	254,818	3010801006596		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）（その他）	254,818	3	99.5	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	三菱電機株式会社	227,153	4010001008772		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）(その他)	227,153	13	99	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社ジュピターコーポレーション		149,947	3010401014149		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の修理 随意契約（公募）		149,947	1	99.6	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	その他		491,449	--		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット等構成品の修理 その他(その他)		491,449	--	--	--
支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B	三菱重工業株式会社ほか		21,867,284	22	部品等の調達等	
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱重工業株式会社		10,890,784	8010401050387		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)		10,889,811	45	99.8	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）		973	1	99.9	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱電機株式会社		1,906,154	4010001008772		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)		1,906,154	36	99.2	--
支出先名		支出額	法人番号			

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	三菱商事株式会社	1,779,340	5010001008771		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	1,779,340	24	99.1	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社ジュピターコーポレーション	1,460,896	3010401014149		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	940,621	3	100	--
	ペトリオット構成品の売買 一般競争契約（最低価格）	429,450	25	99.4	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	53,468	2	99.9	--
	ペトリオット構成品の売買 指名競争契約（最低価格）	33,991	6	99.5	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（少額）	2,968	2	99.8	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（不落・不調）	398	1	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	東芝インフラシステムズ株式会社	1,082,407	2011101014084		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	567,636	6	99.6	--
	基地防空用構成品の売買 随意契約（公募）	514,771	26	99.8	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社SUBARU	984,031	5011101019196		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）（その他）	958,009	20	99.8	--
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	26,021	6	99.8	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社Ｓ．Ｔ．デバイス		600,263	6010901021583		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 一般競争契約（最低価格）		464,138	49	99.8	--
	ペトリオット構成品の売買 指名競争契約（最低価格）		65,520	11	97.5	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（不落・不調）		41,103	2	100	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）		25,468	2	100	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（少額）		4,034	3	99.7	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	日本無線株式会社		456,080	3012401012867		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）（その他）		456,080	8	99.3	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社三博		431,974	1010401011643		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）（その他）		388,251	6	99.9	--
	ペトリオット構成品の売買 一般競争契約（最低価格）		40,148	12	98.9	--
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（不落・不調）		2,693	3	100	--

	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
			ペトリオット構成品の売買 随意契約（少額）	883	1	100	--
	支出先名			支出額	法人番号		
	株式会社日立製作所			419,175	7010001008844		
	契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)			419,175	4	99.8	--
	支出先名			支出額	法人番号		
	その他			1,856,181	--		
	契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ペトリオット構成等の売買 その他(その他)			1,856,181	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	三菱重工業株式会社	地对空誘導弾ペトリオット構成 品の修理	役務費	ペトリオットの定期修理		16,234,532
	B	三菱重工業株式会社	ペトリオット構成品の売買	部品費	ペトリオット構成品の売買		19,805,534

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱重工業株式会社	15,235,105	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）(その他)	15,103,732	88	99.8	--
		ペトリオット構成品の修理 随意契約（公募）	131,373	2	99.3	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	米国（陸軍省）	5,176,816	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット技術支援 随意契約（その他）(FMS)	5,176,816	1	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	東芝インフラシステムズ株式会社	3,800,513	2011101014084		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット等構成品の修理 随意契約（その他）(その他)	3,792,725	9	99.5	--
		基地防空用構成品の修理 随意契約（公募）	7,788	2	99.7	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	東芝インフラシステムズ株式会社	2,751,433	2011101014084		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		基地防空用構成品の売買 随意契約（公募）	2,097,418	39	99.5	--
		基地防空用構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	654,015	12	99.3	--
		契約先名	契約額	法人番号		

	A	株式会社日立製作所	2,472,356	7010001008844		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）(その他)	2,472,356	13	99.8	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	三菱商事株式会社	2,138,774	5010001008771		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	1,600,962	13	100	--
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	537,812	1	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	三菱重工業株式会社	1,675,657	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	1,674,641	54	99.9	--
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	1,016	2	99.5	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	株式会社ジュピターコーポレーション	1,411,010	3010401014149		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	804,696	5	99.9	--
		ペトリオット構成品の売買 一般競争契約（最低価格）	541,499	39	99.6	--
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（公募）	64,814	2	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		

	A	三菱電機株式会社	1,356,835	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の修理 随意契約（その他）(その他)	1,356,835	16	99.5	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	株式会社日立製作所	1,195,935	7010001008844		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ペトリオット構成品の売買 随意契約（その他）(その他)	1,195,935	11	99.8	--

その他備考

--

中距離地对空誘導弾の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）				
	作成責任者	米倉和也 古賀信之				
	その他担当組織	防衛省 陸上幕僚監部 装備計画部 武器・化学課				
基本情報	予算事業ID	005173	事業開始年度	2003	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	防衛力整備計画において、自衛隊の能力等に関する主要事業として統合防空ミサイル防衛能力、領域横断作戦能力が挙げられている。本事業は、０３式中距離地对空誘導弾（改善型）を所要の数量整備することにより、統合防空ミサイル防衛能力、領域横断作戦能力の強化に寄与することを目的とする。				
	現状・課題	低空から侵入してくる巡航ミサイルや高速化した空対地ミサイルに対し、低空目標対処能力及び高速目標対処能力等の対空戦闘能力が不足する可能性があるため、それらの能力を向上させた０３式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得する必要がある。				
	事業の概要	防衛力整備計画に基づき、０３式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得して部隊に配備し、対空戦闘能力を向上させる。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/approach/hyouka/rev_suishin/r03/pdf/r03_rontenshiryou_01.pdf				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率		補助上限等		補助率URL
	--	--		--		--

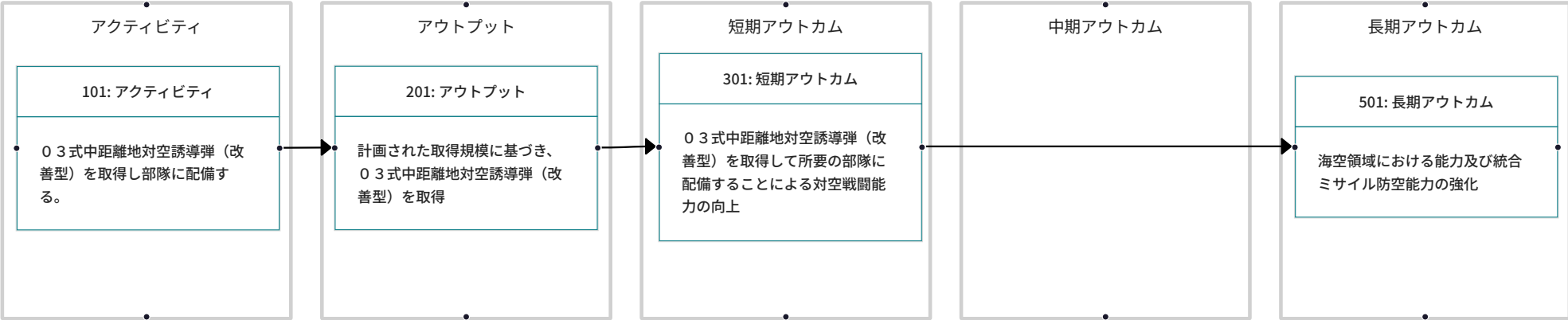
備考	--
----	----

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026		
	要求額		15,798,000	13,698,000	41,841,000	19,586,137	22,629,877		
	当初予算		4,072,000	6,303,000	36,846,510	6,843,018	14,087,532		
	補正予算		7,489,000	11,999,000	13,622,047	17,138,170	--		
	前年度から繰越し		--	619,000	7,555	6,318,456	1,907,517		
	予備費等		--	--	△648,182	--	--		
	計		11,561,000	18,921,000	49,827,930	30,299,644	15,995,049		
	執行額		10,904,000	18,341,730	43,115,899	28,353,866	--		
	執行率		94.3%	96.9%	86.5%	93.6%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考		
	一般会計	一般会計	--		--		--		
		予算種別/歳出予算項目				備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費				--		6,843,018	22,629,877
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費				--		17,138,170	--
		前年度から繰越し --				--		6,318,456	--
主な増減理由	令和８年度に計上すべき経費について、企業の生産能力を踏まえた調整を行う必要があり、現時点において計上すべき予算をあらかじめ確定することが困難な弾薬の確保に必要な経費について、事項要求としている。				その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

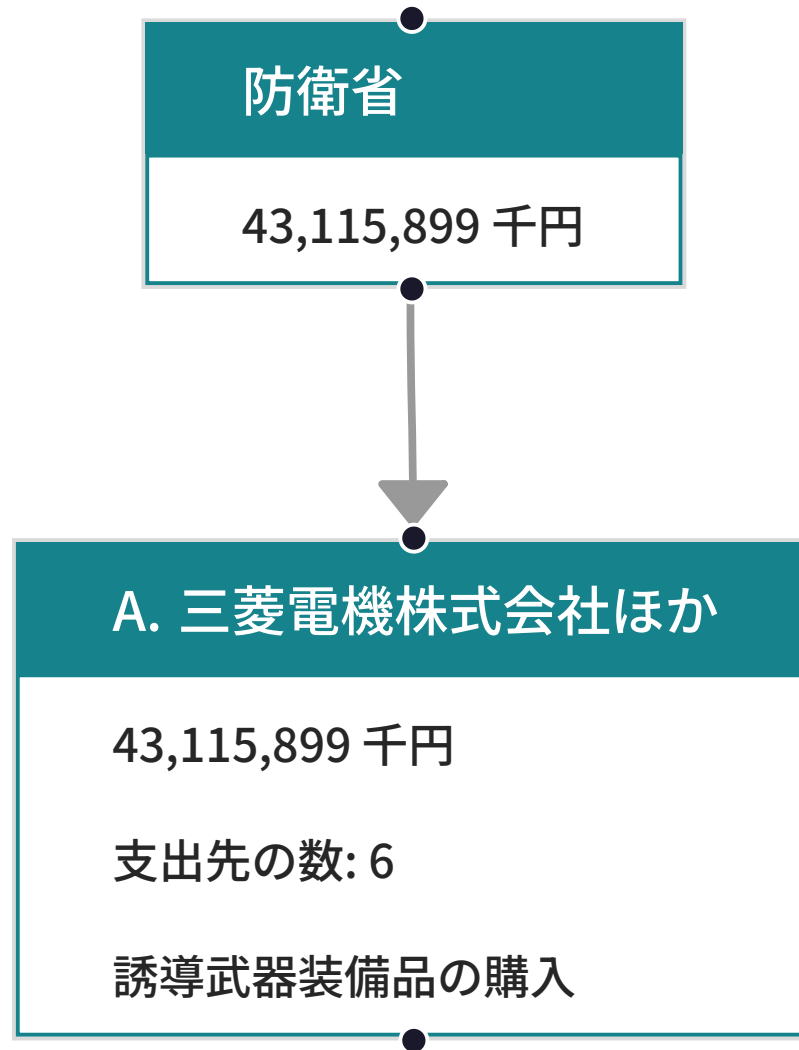
アクティビティ	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得し部隊に配備する。				
アウトプット	活動目標	計画された取得規模に基づき、0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得		活動指標	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）の契約品目数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(契約品目数)	1	1	2	2
	活動実績／成果実績(契約品目数)	1	1	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を計画どおり取得することが、直接的に部隊の対空戦闘能力の向上につながるため、短期アウトカムとして設定した。				
短期アウトカム	成果目標	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得して所要の部隊に配備することによる対空戦闘能力の向上		成果指標	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を配備された部隊数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(中隊数)	1	1	2	2
	活動実績／成果実績(中隊数)	1	1	2	--
	達成率(%)	100	100	100	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を確実に取得し、所要の部隊に配備することは、対空戦闘能力を向上させ、統合防空ミサイル防衛能力、領域横断作戦能力の強化につながることから、長期アウトカムとして設定した。				

長期アウトカム	成果目標	海空領域における能力及び統合ミサイル防空能力の強化	成果指標	中距離地对空誘導弾を計画どおり部隊に配備することによる対空戦闘能力の向上
	定性的なアウトカムに関する成果実績	中距離地对空誘導弾を計画どおり配備している	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	部隊数にかかわらず、中距離地对空誘導弾を計画どおり配備することが対空戦闘能力の向上につながるため、定性的なアウトカムとした。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--		
	URL	--		
	該当箇所	--		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵攻に対応するために必要であり、防衛省で実施することが適切である。 2 効率性 民生品・汎用品の活用、車両・通信機器等の官給品支給及び同等誘導弾システムのファミリー化によりコスト低減を図っている。 3 有効性 各種誘導弾システムを調達することで、防衛力整備を着実に推進できるので、侵攻への対処に有効である。 4 総合評価 効率的に各種誘導弾を調達することで、防衛力を着実に推進し、ひいては我が国に対する侵攻に対応可能である。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）を取得し、対空戦闘能力を向上させることで、我が国の平和と独立、国民生活の安全・安心を確保することが可能となることから、今後も予算・執行の効率化に努めつつ、事業を継続する。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	定性的な成果指標を設定した事業		
	所見	今後、有事の際に最も重要になるのは、空対地ミサイルや巡航ミサイルに対する防空システムの構築であり、その能力を補うための取得については、これで十分なのか、飽和攻撃に対応できるものなのかを含めて検討する必要はあるが、当面、現時点での装備として必要な量は確保されているものと思料する。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	外部有識者の所見を踏まえ、今後も予算・執行の効率化に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	区分	--	取りまとめ年度	--
	取りまとめ内容			
	--			
	対応状況			
	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト
(単位：千円)

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
A	三菱電機株式会社ほか	43,115,899	6	誘導武器装備品の購入	
支出先名		支出額	法人番号		
三菱電機株式会社		42,322,682	4010001008772		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）（初度費） 国庫債務負担行為等		20,976,450	--	--	--
0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型） 国庫債務負担行為等		12,513,390	--	--	--
0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型） 国庫債務負担行為等		8,271,657	--	--	--
0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）初度部品 国庫債務負担行為等		553,630	--	--	--
0 3 中距離地对空誘導弾（改善型） 国庫債務負担行為等		7,555	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
三菱重工業株式会社		634,909	8010401050387		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
重装輪車両，0 3 中距離地对空誘導弾（改善型）（信号処理部用） 国庫債務負担行為等		317,823	--	--	--
重装輪車両，0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）（空中線部用） 国庫債務負担行為等		317,086	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
日本電気株式会社		90,435	7010401022916		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
微光暗視眼鏡 国庫債務負担行為等		50,882	--	--	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
		制御変復調部 国庫債務負担行為等	31,944	--	--	--
		L A N延長器 国庫債務負担行為等	4,178	--	--	--
		微光暗視眼鏡 国庫債務負担行為等	3,432	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	富士通株式会社		37,587	1020001071491		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	送受信部 国庫債務負担行為等		37,587	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	東レ株式会社		25,105	5010001034867		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	偽装網Ⅲ型セット（改）（0 3 式中距離地对空誘導弾（改）・発 射装置／運搬装てん装置用） 国庫債務負担行為等		25,105	--	--	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	太陽工業株式会社		5,181	9120001056632		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	偽装網Ⅱ型セット（0 3 式中距離地对空誘導弾（改）・射撃用 レーダ装置用） 国庫債務負担行為等		5,181	--	--	--
費目・使途 （単位：千円）	支出先名		契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	三菱電機株式会社	0 3 式中距離地对空誘導弾（改 善型）（初度費）	武器購入費	誘導武器装備品の購入	20,976,450

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱電機株式会社	105,953,100	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		03式中距離地对空誘導弾(改善型)(初度費)ほか 随意契約（公募）	105,953,100	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱重工業株式会社	646,892	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		重装輪車両,03中SAM(改善型)(信号処理部用)ほか 随意契約（公募）	646,892	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	日本エアークラフトサプライ株式会社	567,373	5011101016202		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		多重電磁波偽装網セット(誘導武器器材用) 随意契約（不落・不調）	567,373	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	日本電気株式会社	545,915	7010401022916		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		広帯域多目的無線機ほか 随意契約（公募）	545,915	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	トヨタ自動車株式会社	142,957	1180301018771		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		高機動車,03中SAM(改善型)ほか 随意契約（公募）	142,957	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		

	A	いすゞ自動車株式会社	36,525	5010701000904		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		シャシ，3 1／2 トトラックほか 随意契約（公募）	36,525	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	株式会社ブリヂストン	10,945	3010001034943		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		高機動車用タイヤ（スタッドレス） 随意契約（不落・不調）	10,945	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	株式会社三和日精	1,799	5011401002777		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		巻線機ほか 一般競争契約（最低価格）	1,799	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	日本トレクス株式会社	1,791	6180301010542		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		電源車用トレーラ 随意契約（不落・不調）	1,791	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	住友ゴム工業株式会社	1,056	6140001008691		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		スタッドレスタイヤ 一般競争契約（最低価格）	1,056	1	--	他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため

その他備考

--

基地防空用SAMの取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）				
	作成責任者	米倉和也 加藤雄一 有田純 森田英明				
	その他担当組織	防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 航空幕僚監部 運用支援・情報部 運用支援課 防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第1課				
基本情報	予算事業ID	005177	事業開始年度	1981	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分		前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	1ー1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	有事の際、航空戦力を最大発揮するための航空基地等を空からの攻撃から直接防衛し、航空自衛隊の作戦遂行基盤を維持、確保するため、基地防空用地対空誘導弾（基地防空用SAM（Surface to Air Missile））を整備するとともに、基地防空部隊の実弾射撃に係る能力を維持向上させる。				
	現状・課題	航空基地は航空戦力発揮の基盤であり、航空自衛隊の作戦遂行基盤を維持、確保することが、必須である。巡航ミサイル等を用いた攻撃から基地基盤を防衛するためには、それに有効に対処できる防空システムの多層配備が不可欠である。				
	事業の概要	1 現有の81式短距離地対空誘導弾（81式短SAM）の老朽化及び性能の陳腐化に伴い、後継となる基地防空用SAM及び有事に使用する行動弾を取得する。 2 基地防空部隊が実施する実弾射撃訓練に必要な演習弾を取得する。81式短SAM用演習弾については、命数切れを間近に控えた行動弾を利活用し、取得経費の低減を図る。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三

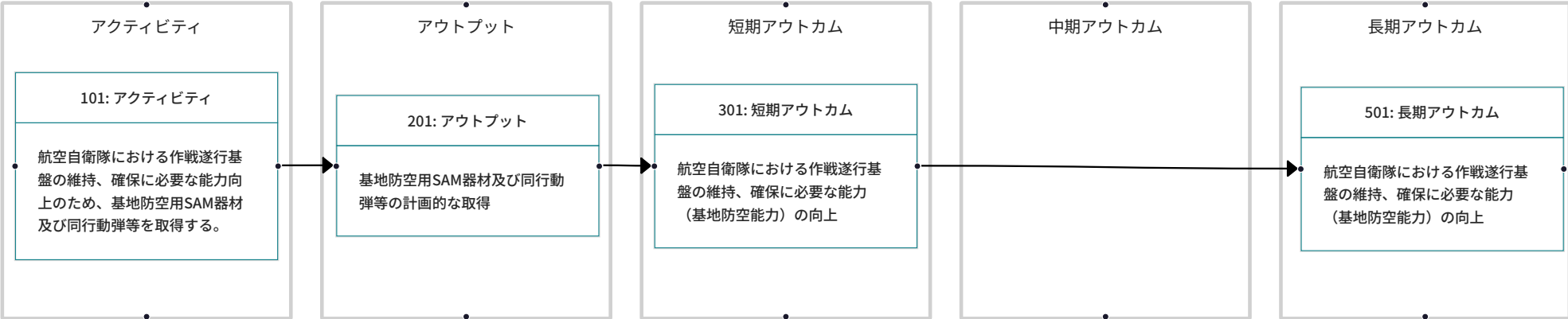
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定　閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		11,191,000	2,824,000	4,486,000	4,309,506	5,805,218	
	当初予算		2,999,000	9,185,000	2,701,477	5,391,854	3,063,771	
	補正予算		--	--	105,435	4,442,954	--	
	前年度から繰越し		--	1,249,000	2,198,372	1,094,728	--	
	予備費等		--	--	△25,214	--	--	
	計		2,999,000	10,434,000	4,980,070	10,929,536	3,063,771	
	執行額		2,781,053	8,377,881	3,537,329	10,826,281	--	
	執行率		92.7%	80.3%	71%	99.1%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		5,391,854	5,805,218
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		4,442,954	--
		前年度から繰越し			--		1,094,728	--
	--							
主な増減理由	令和8年度に計上すべき経費について、企業の生産能力を踏まえた調整を行う必要があり、現時点において計上すべき予算をあらかじめ確定することが困難な弾薬の確保に必要な経費について、事項要求としている。				その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



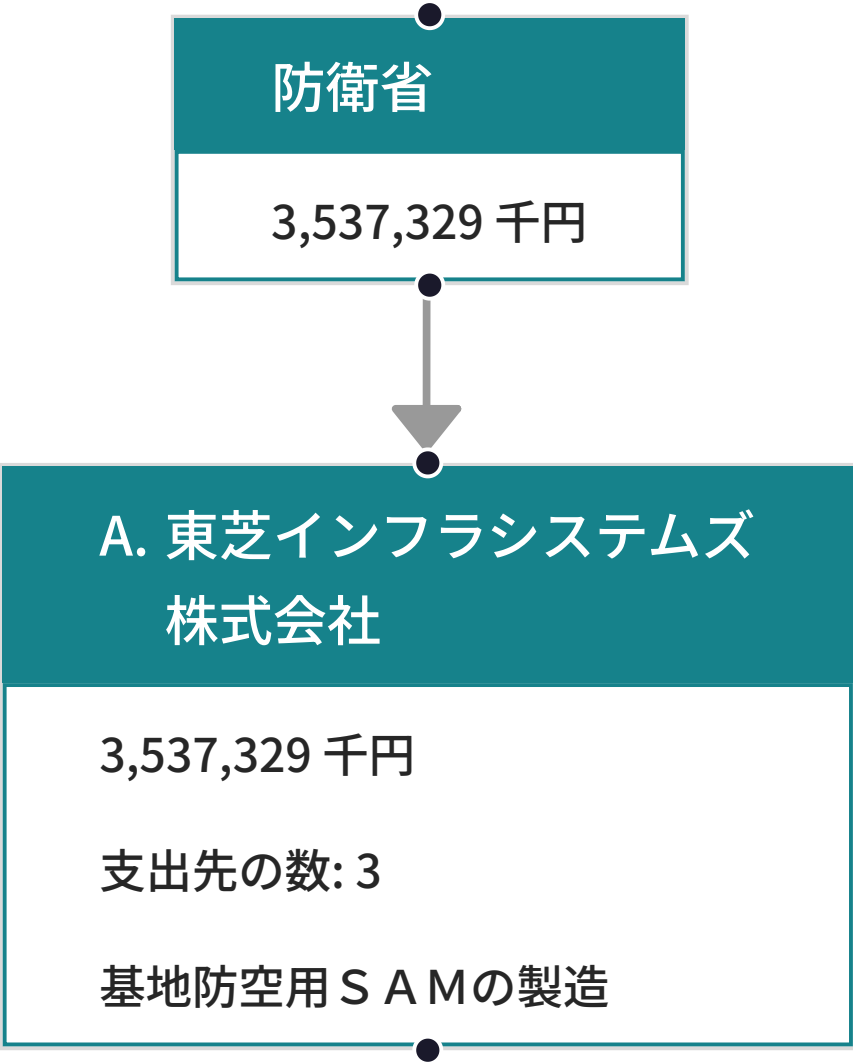
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	航空自衛隊における作戦遂行基盤の維持、確保に必要な能力向上のため、基地防空用SAM器材及び同行動弾等を取得する。						
アウトプット	活動目標	基地防空用SAM器材及び同行動弾等の計画的な取得			活動指標	基地防空用SAM器材及び同行動弾等の契約件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	当初見込み／目標値(件)		2	2	2	1	
	活動実績／成果実績(件)		2	2	2	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	基地防空用SAM器材及び基地防空用SAM行動弾を調達することにより、必要なセット数の基地防空用SAM器材が納入される。						
短期アウトカム	成果目標	航空自衛隊における作戦遂行基盤の維持、確保に必要な能力（基地防空能力）の向上			成果指標	能力が向上した基地防空用SAM器材及び同行動弾の納入式数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(式)	12	14	15	15	17	18
	活動実績／成果実績(式)	11	12	14	--	--	--
	達成率(%)	91.7	85.7	93.3	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	納入された基地防空用SAM器材を各基地に配備することにより、基地防空能力が確保される。						

長期アウトカム	成果目標	航空自衛隊における作戦遂行基盤の維持、確保に必要な能力（基地防空能力）の向上			成果指標	能力が向上した基地防空用SAM器材の配備完了基地数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値 (基地)	3	4	5	5	7	8
	活動実績／成果実績 (基地)	2	3	4	--	--	--
	達成率(%)	66.7	75	80	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性：航空自衛隊の基地防空に必要な装備品の取得等に必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性：事業内容及びその特性に応じ、事業目的に必要なものに限定して取得経費を低減し、効率性を確保している。 3．有効性：脅威のすう勢を踏まえ、装備及び誘導弾の確保により、我が国の防護対象を有効に防護している。 4．総合評価：航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な武器の取得において、効率性及び有効性を確保しつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	引き続き、調達実績の反映、仕様の見直し、事業の特性等に応じた要求内容のさらなる精査等、効率的な予算執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	アウトプットからアウトカムへの流れにおいて、事業の目的を達成するために現場が取り組む工夫なども目標とするなど検討されたい。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	承知した。引き続き適正な予算執行・執行状況の把握に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	東芝インフラシステムズ株式会社	3,537,329	3	基地防空用S A Mの製造		
	支出先名		支出額	法人番号			
	東芝インフラシステムズ株式会社		3,374,661	2011101014084			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	基地防空用地対空誘導弾 随意契約（公募）		3,374,661	1	100		
	支出先名		支出額	法人番号			
	いすゞ自動車株式会社		95,920	5010701000904			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	3 1／2 tトラック，基地防空用地対空誘導弾（射撃統制装置用） 随意契約（公募）		58,788	1	100	--	
	3 1／2 tトラック，基地防空用地対空誘導弾（弾薬運搬装填車用） 随意契約（公募）		37,132	1	100	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	トヨタ自動車株式会社		66,748	1180301018771			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	高機動車，基地防空用地対空誘導弾（発射装置用） 随意契約（公募）		66,748	1	100	--	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	東芝インフラシステムズ株式会社	基地防空用地対空誘導弾	武器購入費	基地防空用地対空誘導弾		2,946,253

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	東芝インフラシステムズ株式会社	10,245,787	2011101014084		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		基地防空用地対空誘導弾 随意契約（公募）	9,966,000	1	100	業態調査の実施時点において、当該製造に必要な技術及び設備を有し、かつ、武器等製造法に基づく製造の許可及び火薬類取締法に基づく販売の許可を受けているのは東芝インフラシステムズ（株）のみである。上記の結果、当該製造の履行能力を有している東芝インフラシステムズ（株）と随意契約するものである。なお、本契約への新規参入者を募る公示を常続的に行っているところ、当該公示に応募する者は確認されていない。（根拠法令：会計法第29条の3第4項、予決令第102条の4第3号）
		基地防空用地対空誘導弾用初度部品 随意契約（公募）	279,787	1	100	業態調査の実施時点において、契約履行に必要な製造図書（製造図面、組立図及び作業標準並びに検査要領等の企業所有資料）を利用できるものが東芝インフラシステムズ株式会社のみであり、かつ、令和3年度、令和5年度にも調達を実施したところ、一者応募となり、同社と契約を締結している。上記の結果、当該製造の履行能力を有している東芝インフラシステムズ株式会社と随意契約をするものである。なお、本件への新規参入者を募る公示を常続的に行っているところ、当該公示に応募する者は確認されていない。（根拠法令：会計法第29条の3第4項、予決令第102条の4第3号）
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	いすゞ自動車株式会社	95,919	5010701000904		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		3 1／2 tトラック，基地防空用地対空誘導弾（射撃統制装置用） 随意契約（公募）	58,788	1	100	--
		3 1／2 tトラック，基地防空用地対空誘導弾（弾薬運搬装填車用） 随意契約（公募）	37,131	1	100	--

		契約先名	契約額	法人番号		
	A	トヨタ自動車株式会社	66,748	1180301018771		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		高機動車，基地防空用地対空誘導弾（発射装置用） 随意契約（公募）	66,748	1	100	--

その他備考

--

弾薬（航空自衛隊）

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）				
	作成責任者	米倉和也 菊田逸平 有田純 大西由記 吉村昌志 貴島崇 加藤雄一				
	その他担当組織	防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（宇宙・地上装備担当） 防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第1課 防衛省 情報本部 画像・地理部 防衛省 航空幕僚監部 装備計画部 整備・補給課 防衛省 航空幕僚監部 科学技術官 科学技術計画官				
基本情報	予算事業ID	005178	事業開始年度	1976	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分		前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）	（1）スタンド・オフ防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）	（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）	（7）持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	

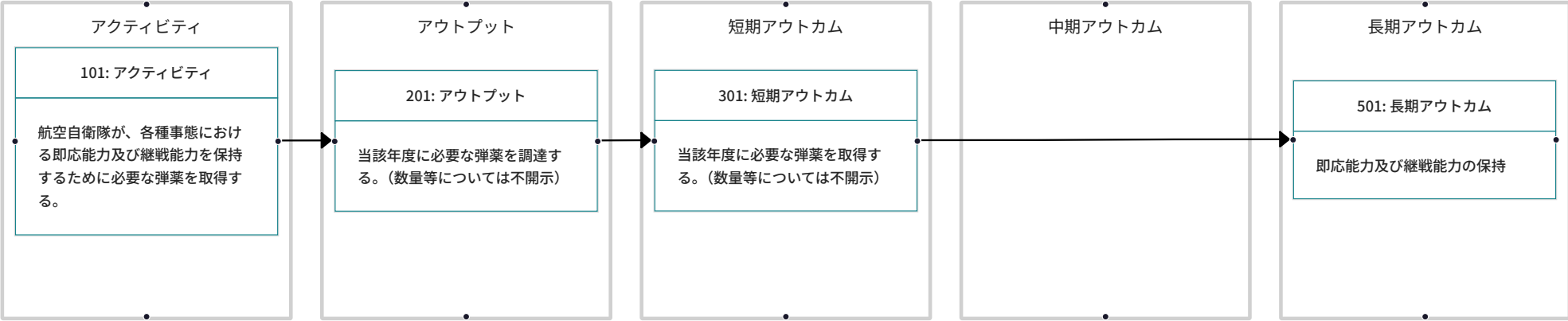
概要・目的	事業の目的	各種事態における即応能力及び継戦能力を保持し、実効的に対処するため、侵攻する敵航空戦力を撃破する直接的な戦力として計画的に備蓄するために必要な弾薬を取得するとともに、隊員の練成訓練に必要な各種訓練用の弾薬を取得する。				
	現状・課題	有事において我が国への侵攻を阻止するためには、必要十分な数量の弾薬を保有しておくことが必要。また、弾薬の保有量は抑止力の重要な要素。特に誘導弾については、技術の高度化に伴う価格上昇もあり、十分な数量を整備出来ていないのが現状であるが、実効的な対処力・抑止力のためには、誘導弾を早急に充実させることが必要。				
	事業の概要	各種事態における即応能力及び継戦能力を保持するために必要な弾薬を取得する。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定　閣議決定）	--				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		17,401,000	38,110,000	54,491,000	64,654,317	54,491,449	
	当初予算		13,196,000	62,757,000	28,874,585	64,544,461	49,184,261	
	補正予算		1,531,000	3,863,000	3,613,737	2,871,270	--	
	前年度から繰越し		--	293,000	893,630	11,010,901	8,069,795	
	予備費等		--	--	108,837	△1,025,572	--	
	計		14,727,000	66,913,000	33,490,789	77,401,060	57,254,056	
	執行額		14,873,000	65,640,386	28,817,354	65,366,597	--	
	執行率		101%	98.1%	86%	84.5%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 弾薬購入費			--		64,544,461	54,491,449
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 弾薬購入費			--		2,871,270	--
		前年度から繰越し --			--		11,010,901	--
		予備費等2 --			--		82,837	--
		予備費等3 --			--		△1,108,409	--
	主な増減理由	令和８年度に計上すべき経費について、企業の生産能力を踏まえた調整を行う必要があり、現時点において計上すべき予算をあらかじめ確定することが困難な弾薬の確保に必要な経費について、事項要求としている。				その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	航空自衛隊が、各種事態における即応能力及び継戦能力を保持するために必要な弾薬を取得する。				
アウトプット	活動目標	当該年度に必要な弾薬を調達する。(数量等については不開示)		活動指標	弾薬の調達数(弾薬の調達種類数)
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(種)	18	33	35	29
	活動実績／成果実績(種)	17	32	29	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	必要な弾薬の調達を行い、所要の時期に納入することにより、配備に資する弾薬を確保する。				
短期アウトカム	成果目標	当該年度に必要な弾薬を取得する。(数量等については不開示)		成果指標	納入された弾薬の種類
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(種)	18	29	35	29
	活動実績／成果実績(種)	17	32	29	--
	達成率(%)	94	110	83	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	調達した弾薬を、航空自衛隊の各基地に配分することにより、各種事態における即応能力及び継戦能力を維持できる。				
長期アウトカム	成果目標	即応能力及び継戦能力の保持		成果指標	取得した弾薬を配分することができた部隊数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(部隊)	8	8	8	8	8
	活動実績／成果実績(部隊)	8	8	8	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

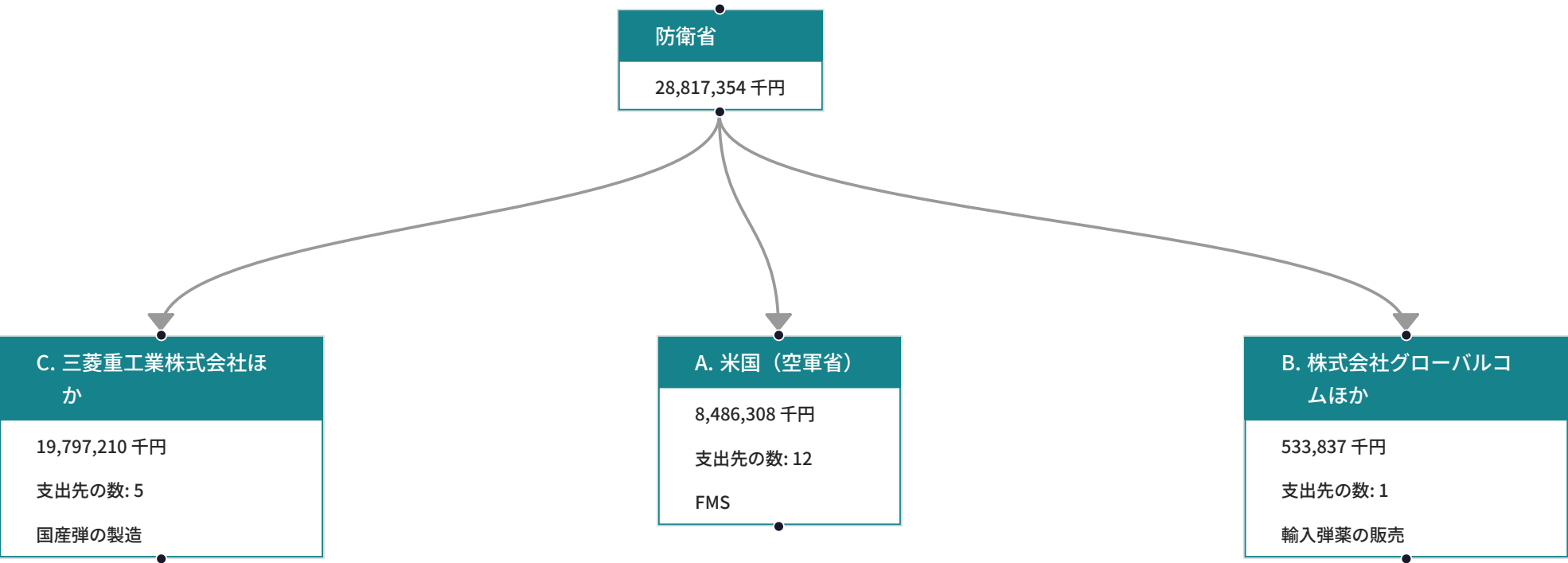
点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性：航空自衛隊の戦力発揮のために必要な弾薬を確保する経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性：事業の内容及びその特性に応じ、事業目的に必要なものに限定するとともに、可能な限り民生品や汎用品を活用し、かつ、まとめ買いを図ることにより、取得経費を低減し、効率性を確保している。 3．有効性：航空自衛隊の行動や訓練に必要な弾薬を取得することにより、我が国を有効に防護している。 4．総合評価：航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢維持に必要な弾薬の取得において、効率性及び有効性を確保しつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	引き続き、調達実績の範囲、仕様の見直し、事業の特性に応じた要求内容のさらなる精査等、効率的な予算執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2021
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	効果発言経路が単純であるため、単一の指標となっているが、やむを得ない。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	詳細	弾薬の取得が単一の指標となることは、ご指摘の通り本事業の特性上やむを得ないものであると認識したうえで、引き続き適正な予算執行に努める。		
	--			

その他の指摘事項	指摘を受けた調査等の名称	--	指摘年度	--
	指摘内容			
	会計検査院の決算検査報告 04 式空対空誘導弾等のキャプティブ弾の調達に当たり、完成弾にできる数量を超えた実弾分の構成品の活用を前提として構成品の調達数量を定めるなどすることにより、経済的かつ効率的な調達を行うように改善すべきとの指摘を受けた。			
	対応状況			
	空対空誘導弾の訓練用弾薬であるキャプティブ弾の調達に当たり、実弾用に調達したが使用に至っていない主翼及び操舵翼を活用することにより、調達内容の効率化を図り、所要額の見直しを行った。			

支出先

資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 米国（空軍省）		8,486,308	12	FMS	
	支出先名		支出額	法人番号		
	米国（空軍省）		8,486,308	99999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	A I M－１２０ その他(F M S)		2,097,939	1	100	--
	A I M－１２０等 その他(F M S)		1,919,737	1	100	--
	J S M官給品 その他(F M S)		1,358,103	1	100	--
	A I M－１２０ その他(F M S)		1,339,216	1	100	--
	A I M－１２０ その他((F M S))		882,243	1	100	--
	J A S S M－E R その他(F M S)		657,516	1	100	--
	G B U－３９等 その他(F M S)		106,800	1	100	--
	G B U－３９等 その他(F M S)		79,466	1	100	--
	J S M（官給品） その他(F M S)		43,714	1	100	--
	P A V E W A Y II その他(F M S)		1,575	1	100	--
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 株式会社グローバルコムほか		533,837	1	輸入弾薬の販売	
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社グローバルコム		380,050	4021001043899		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	2 5mmA P E X弾 随意契約（公募）	380,050	1	111.4	--	
	支出先名	支出額	法人番号			
	三菱電機ディフェンス＆スペーステクノロジーズ株式会社	151,523	7010701017021			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	弾薬等整備の一部部外委託 随意契約（公募）	136,631	1	99.9	--	
	A I M－7 F 誘導制御部 分解 随意契約（公募）	14,892	1	100	--	
	支出先名	支出額	法人番号			
	株式会社 J K B D A I R A J A P A N	2,264	1010401049304			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	遠隔操作器材用火工品 随意契約（公募）	2,264	1	64.6	--	
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
C	三菱重工業株式会社ほか	19,797,210	5	国産弾の製造		
	支出先名	支出額	法人番号			
	三菱重工業株式会社	14,462,386	8010401050387			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	A A M－5 B 随意契約（公募）	6,425,449	1	86.5	--	
	S C R E W, C A P, S O C K E T H E A D外2品目 随意契約（公募）	2,781,900	1	99.8	--	
	A S M－3（A）（仮称）（初度費） 随意契約（公募）	2,486,115	1	98.7	--	
	A S M－3 A（仮称） 随意契約（公募）	1,412,599	1	111	--	
A A M－5 B 随意契約（公募）	575,060	1	98.7	--		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	COUPLING RING ASSY TARGET DETECTOR外2品目 随意契約（公募）	220,069	1	100	--
	AAM-5B（キャプティブ弾） 随意契約（公募）	188,685	1	85.1	--
	AAM-5B（テレメーター弾） 随意契約（公募）	89,286	1	118.3	--
	CONVERSION ADAPTER ASSY 随意契約（公募）	82,916	1	100	--
	CONVERSION ADAPTER ASSY 随意契約（公募）	61,128	1	100	--
	近接信管（AAM-3）改修 随意契約（公募）	36,975	1	100	--
	ペトリオット・ミサイルの経年変化特性調査 随意契約（その他）（ライセンス）	32,845	1	99.4	--
	誘導制御装置チェッカ 診断 随意契約（公募）	31,436	1	99.8	--
	SCREW外2品目 随意契約（公募）	21,969	1	100	--
	誘導弾整備器材の調査等 随意契約（公募）	9,273	1	98.1	--
	推進装置チェッカ 診断 随意契約（公募）	3,354	1	99.8	--
	NUT, PLAIN, HEXAGON外5品目 随意契約（公募）	2,814	1	99.9	--
	SEAL, SHAFT 随意契約（公募）	515	1	99.2	--
支出先名		支出額	法人番号		
三菱電機株式会社		2,486,017	4010001008772		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
99式空対空誘導弾（B） 随意契約（公募）		1,398,012	1	70.2	--
99式空対空誘導弾（B） 随意契約（公募）		785,199	1	93.1	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	9 9 式空対空誘導弾（B） 随意契約（公募）	139,260	1	96.6	--	
	A A M－4 誘導弾の経年変化特性調査 随意契約（公募）	44,943	1	99.7	--	
	9 1 式爆弾用誘導装置Ⅱ型 誘導制御部 分解 随意契約（公募）	39,149	1	99.3	--	
	電波発生部（1） 診断外1品目 随意契約（公募）	38,657	1	96.9	--	
	誘導弾の調査等 随意契約（公募）	18,188	1	96.9	--	
	誘導弾整備器材の調査等 随意契約（公募）	15,893	1	83.2	--	
	T E S T S E T, G U I D E D M I S S I L E 修理（現 地） 随意契約（公募）	6,717	1	97.3	--	
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社エムエイチアイロジテック		1,515,065	6180001075605		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	誘導制御装置（A A M－5）修理（診断後） 随意契約（公募）		718,434	1	99.8	--
	誘導弾の調査等 随意契約（公募）		129,877	1	98.3	--
	A A M－5 誘導弾の経年変化特性調査 随意契約（公募）		73,889	1	99.8	--
	P R O P U L S I O N S E C T I O N, G U I D E D M I S S I L E 診断 随意契約（公募）		63,973	1	98.6	--
	誘導弾整備器材の調査等 随意契約（公募）		63,003	1	99.9	--
	A S M－2 誘導弾の経年変化特性調査 随意契約（公募）		60,660	1	99	--
	P R O B E A S S Y 外2品目 随意契約（公募）		52,506	1	99.8	--
	弾薬等整備の一部部外委託 随意契約（公募）		46,203	1	99.5	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A S M－2誘導部 診断外1品目 随意契約（公募）	36,782	1	99.1	--
	M O T O R外1品目 随意契約（公募）	33,738	1	98.9	--
	S E N S O R 随意契約（公募）	29,249	1	100	--
	S E A L，P L A I N外1品目 随意契約（公募）	28,266	1	99.9	--
	D U M M Y P R O P U L S I O N S E C T I O N，G U I D E 定期修理 随意契約（公募）	20,475	1	98.6	--
	C Y L I N D E R A S S Y外3品目 随意契約（公募）	19,290	1	99.9	--
	A S M－2訓練用飛しょう体 定期修理 随意契約（公募）	17,344	1	99	--
	弾薬等不具合調査 随意契約（公募）	16,666	1	99	--
	推進装置部点検装置 診断 随意契約（公募）	15,212	1	99.7	--
	S E N S O R 随意契約（公募）	14,246	1	99.9	--
	高度計点検装置本体 修理（診断後） 随意契約（公募）	13,631	1	98.8	--
	G E T A C T V U N I T A S S Y 随意契約（公募）	12,467	1	99.8	--
	A S M－2 B 型 誘導部 修理（診断後）外1品目 随意契約（公募）	12,445	1	99.8	--
	近接信管チェック（A A M－3）修理（診断後） 随意契約（公募）	9,607	1	99.7	--
	C A B L E A S S Y，S P E C I A L P U R P O S E，E L E外2品目 随意契約（公募）	6,144	1	99.9	--
	R I N G，R E T A I N I N G外1品目 随意契約（公募）	5,928	1	99.8	--
	T U B E O U T L E T B A S S Y 随意契約（公募）	5,743	1	100	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	ガス検知器 機能検査 随意契約（公募）	4,450	1	99.3	--
	TANK SEAL外1品目 随意契約（公募）	3,352	1	99.7	--
	SCREW, MACHINE 随意契約（公募）	1,485	1	99.2	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	日興技化株式会社	425,062	1290801005572		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	340kg 普通爆弾廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	280,500	5	100	--
	340kg 普通爆弾廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	33,495	5	100	--
	小火器弾廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	32,010	4	100	--
	弾薬等廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	27,500	2	100	--
	20MM弾廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	24,530	1	99.5	--
	ASM-1 ロケット・モーター廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	9,900	2	100	--
	爆弾構成品廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	9,020	2	100	--
	AA-4 ロケット・モーター廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	8,107	2	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	NECネットワーク・センサ株式会社	241,356	7012401000240		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	OPTICAL UNIT外3品目 随意契約（公募）	79,321	1	100	--
	AD/RD ASSY外6品目 随意契約（公募）	54,588	1	99.8	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	OUTER SHELL ASSY 随意契約（公募）	51,869	1	100	--
	ROLL SUB ASSY外2品目 随意契約（公募）	24,174	1	99.9	--
	RATE SENSOR CONTROLLER外2品目 随意契約（公募）	23,523	1	100	--
	PIPE ASSY A外2品目 随意契約（公募）	6,501	1	99.9	--
	RELIEF VALVE 随意契約（公募）	837	1	99.8	--
	BAND, RETAINING外1品目 随意契約（公募）	545	1	99.4	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	北海道日油株式会社	130,944	5430001046886		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	A I M－7 F 誘導制御部廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	80,256	3	100	--
	A I M－7 F 誘導制御部廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	50,688	3	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	日本工機株式会社	110,227	9010401022427		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	2 0mm曳光信号弾 随意契約（公募）	108,431	1	95.5	--
	4 0mm訓練弾 随意契約（公募）	1,795	1	14.9	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	東芝インフラシステムズ株式会社	99,011	2011101014084		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	基地防空用地対空誘導弾の経年変化特性調査 随意契約（公募）	61,294	1	98.4	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	基地防空用地対空誘導弾の経年変化特性調査（初度費） 随意契約（公募）	37,717	1	97.6	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社石川製作所		81,266	6220001007685		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
500ボンド訓練爆弾 随意契約（公募）		81,259	1	111	--
TOME PIN 随意契約（公募）		7	1	98.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
日本電気株式会社		67,035	7010401022916		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
OUTER CASE ASSY 随意契約（公募）		56,609	1	99.9	--
CABLE ASSY W101 随意契約（公募）		9,424	1	99.7	--
PLATE 随意契約（公募）		1,002	1	99.2	--
支出先名		支出額	法人番号		
旭精機工業株式会社		61,804	7180001079431		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
9mmJ1普通弾 随意契約（公募）		33,001	1	96.1	--
89式5.56mm普通弾（C）、リンク 随意契約（公募）		21,009	1	99.3	--
5.56mmJ1空砲、リンク 随意契約（公募）		3,159	1	78.6	--
89式5.56mm普通弾（C） 随意契約（公募）		1,657	1	99.9	--
5.56mmM27リンク 随意契約（公募）		1,277	1	98.7	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	5. 5 6mm J 2 曳光弾 随意契約（公募）	1,089	1	93.5	--	
	5. 5 6mm J 1 空包 随意契約（公募）	614	1	89.8	--	
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社鈴木商館		58,162	3011401003348		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	CHARGER, GAS 修理（現地）外1品目 一般競争契約（最低価格）		27,199	1	100	--
	GAS BOOSTER ASSY 開放検査外2品目 一般競争契約（最低価格）		21,648	1	98.5	--
	CHARGER, GAS 修理（現地） 一般競争契約（最低価格）		9,315	1	99.5	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	住友重機械工業株式会社		47,889	9010701005032		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	GUIDE, PROBE 随意契約（公募）		34,002	1	99.7	--
	ガス充てん装置 修理（現地） 随意契約（公募）		3,747	1	98.9	--
	CHARGER, GAS 修理（現地） 随意契約（公募）		3,235	1	99.8	--
誘導弾整備器材の調査等 随意契約（公募）		2,055	1	98.9	--	
CHARGER, GAS 修理（現地） 随意契約（公募）		1,980	1	98.1	--	
LINE FILTER外4品目 随意契約（公募）		1,742	1	100	--	
SWAGING SLEEVE, WIRE ROPE 随意契約（公募）		804	1	99.4	--	
LAMP外2品目 随意契約（公募）		326	1	99	--	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	支出先名	支出額	法人番号		
	細谷火工株式会社	9,299	5013101001167		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	インパルスカートリッジ及びフレア廃棄処分 一般競争契約（最低価格）	9,299	1	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	住重特機サービス株式会社	638	3012701002295		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	水分計 検査 随意契約（公募）	638	1	99.7	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	イヨンインターナショナル株式会社	539	8010401003287		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	防爆衣 修理（診断後） 一般競争契約（最低価格）	539	1	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社ソリッド・ソリューションズ	375	5010401077813		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	O R I N G 一般競争契約（最低価格）	216	1	97.1	--
B A T T E R Y, N O N R E C H A R G E A B L E 一般競争契約（最低価格）	160	1	98.3	--	
支出先名	支出額	法人番号			
有限会社東京インストルメンツ	87	2011602022692			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
B A T T E R Y外1品目 一般競争契約（最低価格）	87	1	59.9	--	

	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		支出先名		支出額	法人番号		
		東田商工株式会社		48	5120001039649		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		六角穴付きボルト M5×15外2品目 一般競争契約（最低価格）		48	1	96.6	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	米国（空軍省）	A I M－1 2 0	弾薬購入費	誘導弾の取得		2,097,939
	B	株式会社グローバルコム	2 5mmA P E X弾	弾薬購入費	誘導弾の取得		380,050
	C	三菱重工業株式会社	A A M－5 B	弾薬購入費	誘導弾の取得		6,425,449

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	米国（空軍省）	56,538,132	999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		AIM-120等 その他(F M S)	39,991,627	1	100	--
		SDB- I 等 その他(F M S)	10,992,177	1	10	--
		JASSM-ER その他(F M S)	4,711,558	1	100	--
		JSM官給品 その他(F M S)	823,499	1	100	--
		PAVEWAY II その他(F M S)	19,271	1	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	伊藤忠アピエーション株式会社	32,837,047	1010401002840		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		J S M 随意契約（公募）	29,651,490	1	98.7	--
		J S M 随意契約（公募）	2,856,543	1	98.7	--
		J S M及びJ S M整備用器材 会社技術利用 随意契約（公募）	329,014	1	100	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	三菱重工業株式会社	28,880,123	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ASM-3A(仮称) 随意契約（公募）	11,682,990	1	96.3	--
		AAM-5B 随意契約（公募）	7,304,451	1	97.7	--

		AAM-5B(初度費) 随意契約（公募）	4,329,584	1	96.3	--
		スタンド・対空対艦誘導弾(SASM)実用試験用供試弾 随意契約（公募）	4,021,600	1	95.3	--
		ミサイル構成品の取得 随意契約（公募）	840,587	1	99.8	--
		AAM-5Bテレメータ弾 随意契約（公募）	700,911	1	96.3	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	三菱電機株式会社	19,411,875	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		99式空対空誘導弾(B) 随意契約（公募）	18,861,981	1	98.7	--
		ミサイル構成品の取得 随意契約（公募）	549,894	1	99.8	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	株式会社エムエイチアイロジテック	1,975,117	6180001075605		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ミサイル構成品の修理 随意契約（公募）	1,975,117	1	98.7	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	日本工機株式会社	446,919	9010401022427		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		20mm実弾 随意契約（公募）	446,919	1	98.7	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	日興技化株式会社	322,355	1290801005572		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

	弾薬の処分 一般競争契約（最低価格）	322,355	5	98.7	--
	契約先名	契約額	法人番号		
B	株式会社グローバルコム	322,300	4021001043899		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	25mm訓練弾 随意契約（公募）	322,300	1	111.4	--
	契約先名	契約額	法人番号		
C	旭精機工業株式会社	179,737	7180001079431		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	89式5.56mm普通弾(C) 随意契約（公募）	106,508	1	98.7	--
	9mm普通弾 随意契約（公募）	45,947	1	98.7	--
	89式5.56mm普通弾(C)、リンク 随意契約（公募）	26,978	1	98.7	--
	5.56mmJ2曳光弾 随意契約（公募）	304	1	98.7	--
	契約先名	契約額	法人番号		
C	株式会社石川製作所	98,119	6220001007685		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	500ポンド訓練爆弾 随意契約（公募）	98,119	1	98.8	--
	契約先名	契約額	法人番号		
C	株式会社鈴木商館	70,070	3011401003348		
	契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ミサイル構成品の修理 一般競争契約（最低価格）	70,070	1	99.8	--

		契約先名	契約額	法人番号		
	C	住友重機械工業株式会社	54,384	9010701005032		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		ミサイル構成品の取得 随意契約（公募）	54,384	1	99.8	--
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	住商エアロシステム株式会社	40,678	1010001020185		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		40mmてき弾 随意契約（公募）	31,460	1	95.3	--
		40mm訓練弾 随意契約（公募）	9,218	1	95.3	--

その他備考

--

地对空誘導弾ヘ°トリオットの取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）				
	作成責任者	米倉和也 吉村昌志 有田純 貴島崇 加藤雄一 森田英明				
	その他担当組織	防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 航空幕僚監部 科学技術官 科学技術計画官 防衛省 航空幕僚監部 装備計画部 整備・補給課 防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第1課 防衛省 航空幕僚監部 運用支援・情報部 運用支援課				
基本情報	予算事業ID	005186	事業開始年度	1988	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（7）持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費	

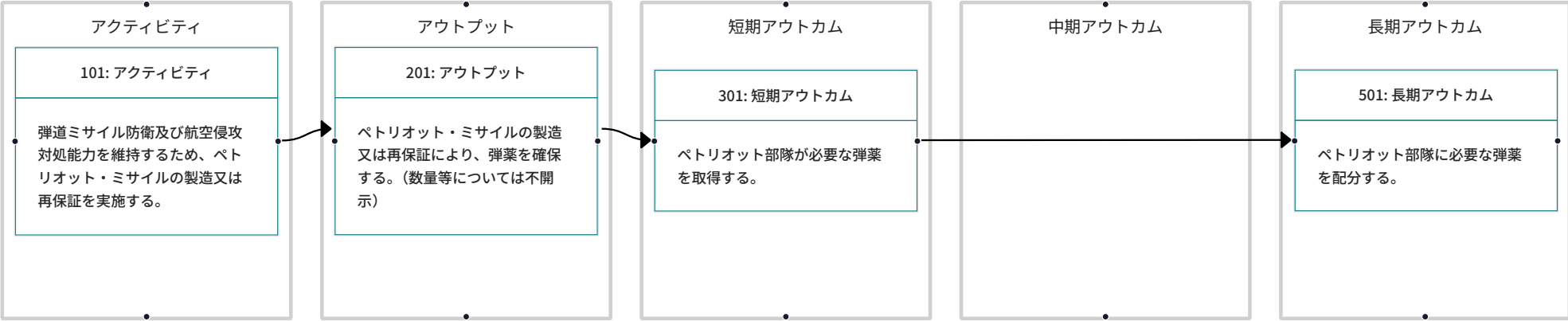
概要・目的	事業の目的	弾道ミサイル攻撃に対して我が国国民の生命・財産を守るための手段として、また、航空侵攻に対して戦闘機部隊との緊密な連携の下、迅速確実にこれに対処するための手段として、我が国の政治、経済、防衛上の重要地域の防衛にあたるために必要な装備品として地对空誘導弾ペトリオットシステムを整備する。				
	現状・課題	現在、28個のPAC-3部隊を全国に配置し、一定の体制を整備。 他方、我が国周辺国の弾道・巡航ミサイルの性能向上や増加に加え、極超音速滑空兵器(HGV)や小型無人機などの新たな脅威により、経空脅威は多様化・複雑化。我が国は、飽和攻撃といった量的側面、新たな経空脅威の出現という質的側面の両方の脅威に対処しつつ、撃ち漏らしや重複射撃を防止した、効率的対処を追求する必要。				
	事業の概要	ペトリオット・ミサイルは、高射隊への配備に必要な所要数を取得するとともに、ペトリオット・ミサイルの構成品において、寿命が設定されている部品を交換し、ミサイルの品質等を維持することで所要数を確保する。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定 閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		24,892,000	1,208,000	37,459,000	34,088,623	2,223,817	
	当初予算		6,903,000	32,547,000	35,286,463	35,355,001	21,079,583	
	補正予算		2,451,000	4,498,000	--	16,786,308	--	
	前年度から繰越し		5,622,000	--	--	13,051,426	7,181,949	
	予備費等		--	--	165,556	△4,364,927	--	
	計		14,976,000	37,045,000	35,452,019	60,827,808	28,261,532	
	執行額		14,813,000	36,875,000	22,400,592	42,154,583	--	
	執行率		98.9%	99.5%	63.2%	69.3%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		35,355,001	976,641
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛力基盤強化推進費 / 教育訓練費			--		0	1,247,176
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--		16,786,308	--
		前年度から繰越し --			--		13,051,426	--
		予備費等1 --			--		0	--
		予備費等3 --			--		△4,364,927	--
		主な増減理由						
				その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	弾道ミサイル防衛及び航空侵攻対処能力を維持するため、ペトリオット・ミサイルの製造又は再保証を実施する。				
アウトプット	活動目標	ペトリオット・ミサイルの製造又は再保証により、弾薬を確保する。(数量等については不開示)		活動指標	PAC-3MSEミサイルの取得に必要な契約件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	1	2	2	1
	活動実績／成果実績(件)	1	2	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	航空自衛隊が、各種事態における即応能力及び継戦能力を保持するために必要なペトリオット・ミサイルの製造を行い、必要なミサイル数を確保する。				
短期アウトカム	成果目標	ペトリオット部隊が必要な弾薬を取得する。		成果指標	納入された弾種数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)	2	2	2	1
	活動実績／成果実績(件)	2	2	2	--
	達成率(%)	100	100	100	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	取得したペトリオット・ミサイルを部隊に配分することにより、必要な防空体制を確保する。				

長期アウトカム	成果目標	ペトリオット部隊に必要な弾薬を配分する。			成果指標	配分した部隊数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		4	4	4	1
	活動実績／成果実績(件)		4	4	4	--
	達成率(%)		100	100	100	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性：我が国の政経中枢を防衛するペトリオット・システム及びミサイルの確保に必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性：事業の内容及びその特性に応じ、事業目的に必要なものに限定して取得経費を低減し、効率性を確保している。 3．有効性：脅威のすう勢を踏まえた装備品及び誘導弾の確保により、我が国の政経中枢等を有効に防衛している。 4．総合評価：航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な武器の取得において、効率性及び有効性を確保しつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	-		
	改善の方向性	引き続き、調達実績の反映、仕様書の見直し、事業の特性に応じた要求内容の更なる精査等、効率的な予算執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗に伴う成果を測定するための指標が概ね整備されている。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	承知した。引き続き適正な予算執行に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

防衛省

22,400,592 千円



A. 三菱重工業株式会社

22,400,592 千円

支出先の数: 1

ペトリオットミサイルの製造ま
たは再保証

支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社	22,400,592	1	ペトリオットミサイルの製造または再保証		
		支出先名	支出額	法人番号			
		三菱重工業株式会社	22,400,592	8010401050387			
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		地対空誘導弾ペトリオット 随意契約（公募）	22,400,592	1	--	本品の製造に当たっては、米国政府が認めた米国ロッキード・マーチン社との技術援助契約を締結していること並びに武器等製造法に基づく製造の許可及び火薬類取締法に基づく販売の許可を受けていることが必要であり、現在、これらの要件を満たしているのは、三菱重工業（株）のみであることから、該社と随意契約するものである。（根拠法令：会計法第29条の3第4項、予決令第102条の4第3号） また、予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。	

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	三菱重工業株式会社	地対空誘導弾ペトリオット	武器購入費	PAC-3MSEの製造並びにPAC-3ミサイル及びPAC-2誘導性能強化弾の再保証	22,136,146
	--	--	--	教育訓練費	ペトリオットMSE訓練弾及びペトリオットPAC-3訓練弾の製造	264,446

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱重工業株式会社	18,265,792	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		PAC-3MSE、ペトリオットMSE訓練弾及びペトリオットPAC-3訓練弾の製造並びにPAC-3ミサイル及びPAC-2誘導性能強化弾の再保証 随意契約（公募）	18,265,792	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率を非公開とした。

その他備考

--

早期警戒機（E－2D）の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（航空機担当）					
	作成責任者	芦塚修 加藤雄一					
	その他担当組織	防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第1課					
基本情報	予算事業ID	005234	事業開始年度	2015	事業終了（予定）年度	2028	
	事業年度	2025	事業区分		前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	新たな早期警戒機を取得することにより、現有装備品（E－767及びE－2C）と組み合わせ、連続空中しょう戒能力の向上を図り、南西域をはじめとする我が国周辺海空域の警戒監視能力を強化する。					
	現状・課題	我が国を取り巻く安全保障環境を踏まえ、周辺海空域（主に南西域）における警戒監視を強化する必要があるものの、既存の早期警戒管制機等（E－767及びE－2C）を組み合わせ運用しても、連続的に空中しょう戒するには不十分である。					
	事業の概要	常時継続的な警戒監視・管制を有効に行い得る体制を保持するために、必要なE－2Dを取得する。なお、警戒監視能力を強化するために、E－2Dの整備を進めてきたところ、防空体制のさらなる強化の必要性から防衛力整備計画に沿って5機を増勢する。					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名			計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定・閣議決定）			https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施						

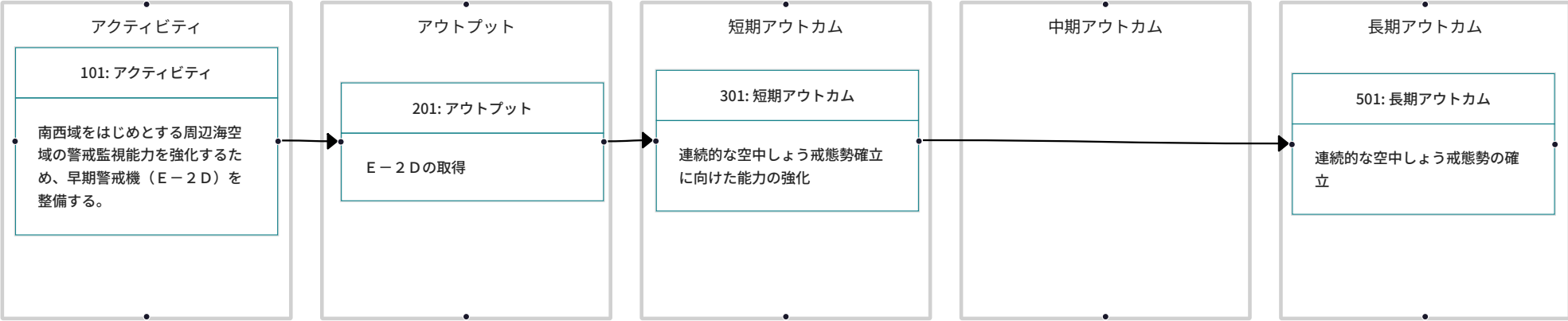
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		57,900,000	0	37,427,000	10,897,459	0	
	当初予算		56,847,000	76,144,000	37,973,552	11,590,643	--	
	補正予算		--	--	--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--	
	予備費等		--	--	△3	169,200	--	
	計		56,847,000	76,144,000	37,973,549	11,759,843	--	
	執行額		56,847,000	76,143,841	27,675,711	11,759,843	--	
	執行率		100%	100%	72.9%	100%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 航空機整備費 / 航空機購入費			--		11,590,643	0
		予備費等4 --			--		169,200	--
主な増減理由	各年度支払額による増減			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

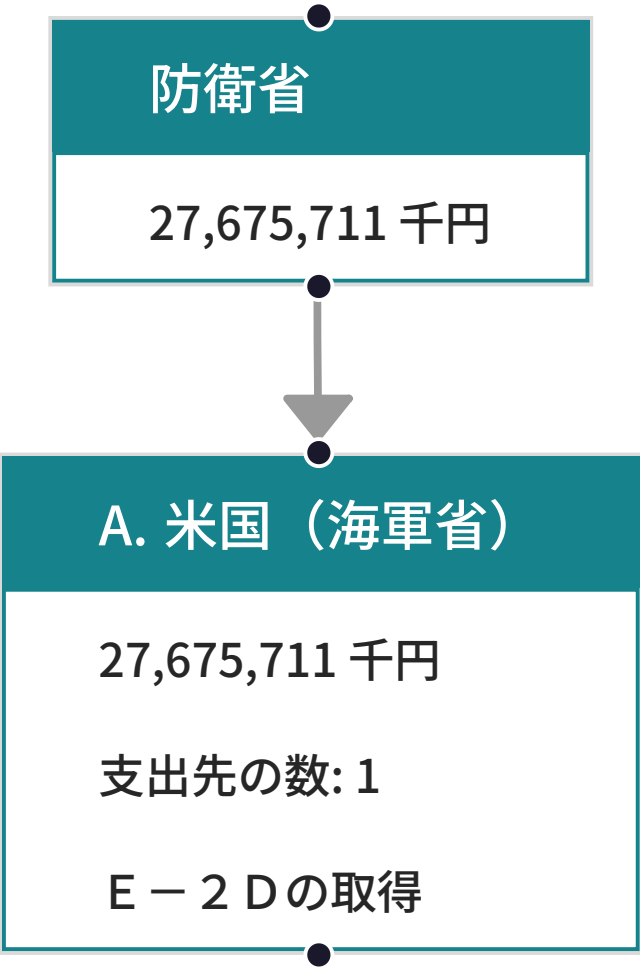
アクティビティ	南西域をはじめとする周辺海空域の警戒監視能力を強化するため、早期警戒機（E－2D）を整備する。									
アウトプット	活動目標	E－2Dの取得			活動指標	E－2Dの契約数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	年度予算の概要				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	当初見込み／目標値(機)		0		5		0		0	
	活動実績／成果実績(機)		0		5		0		0	
↓ 後続アウトカムへのつながり	－									
短期アウトカム	成果目標	連続的な空中しょう戒態勢確立に向けた能力の強化			成果指標	各年度の納入機数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国有財産台帳				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(機)		2		3		3		1	
	活動実績／成果実績(機)		0		2		4		--	
	達成率(%)		0		66.7		133.3		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	警戒監視能力の強化をするためには、E－2Dを取得し、配備することによって連続的に空中しょう戒する十分な態勢を確立することが必須と考えられるため、連続的な空中しょう戒する十分な態勢を確立することを長期アウトカムとした。									
長期アウトカム	成果目標	連続的な空中しょう戒態勢の確立			成果指標	部隊配備を完了したE－2Dの合計機数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国有財産台帳				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(機)	6	9	12	13
	活動実績／成果実績(機)	3	5	9	--
	達成率(%)	50	56	75	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 周辺海空域における警戒監視能力の強化は急務であり、保有する早期警戒管制機等を組み合わせ、連続的に空中しょう戒を行うに十分な態勢を確立するため、E－2Dを取得する必要がある。 2 効率性 令和元年度には9機、令和5年度に5機の一括調達のFMS契約を実施し、より経済的な取得方法により、経費の縮減を図った。 3 有効性 厳しさを増す日本周辺での安全保障環境の中、周辺海空域における警戒監視能力の強化を実施する必要がある、本事業において、E－2Dを早急に配備することにより、常時連続的に空中しょう戒を行うに十分な態勢を確立することが可能となる。 4 総合評価 本事業の実施及び管理は適切である。効率性を図りつつ、必要な警戒監視能力を整備する事業である				
	目標年度における効果測定に関する評価	--				
	改善の方向性	執行にあたっては、引き続き米国政府との価格交渉を行い、取得価格の低減、抑制に努め、納入の遅れやコスト高騰等がないようにプロジェクト管理を行っていく。				
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023		
	対象の理由	--				
	所見	--				
	公開プロセス結果概要	--				
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	短期アウトカムと長期アウトカムの設定について、活動の目的を意識して設定するよう指導した。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。		
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り				
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)		
		--	--	--		
	詳細	当事業におけるE-2Dの取得は令和5年度に完了しており、令和8年度概算要求はなく、今後、機体の納入等について米国政府と調整していくことになるが、その中で課題が生じた際には、現状や事業の目的で整理して処置を実施する。				
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--					

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	米国（海軍省）		27,675,711	1	E－２Ｄの取得		
		支出先名		支出額	法人番号			
		米国（海軍省）		27,675,711	99999999999999			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		E－２Ｄの取得 国庫債務負担行為等		27,675,711	--	--		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額	
	A	米国（海軍省）	E－２Ｄの取得	航空機購入費	航空機を購入するための経費		25,218,241	
	--	--	--	航空機購入費	航空機の初度部品を購入するための経費		2,457,470	
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号			
		--		--	--			

その他備考

--

次期警戒管制レーダ装置の開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）						
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜						
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官						
基本情報	予算事業ID	005317	事業開始年度	2018		事業終了（予定）年度	2027	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--				主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	令和10年以降の経空脅威及び弾道ミサイルに対応しうる探知追尾性能、移設性、抗たん性、経済性等に優れる警戒管制レーダを開発することを目的とする。						
	現状・課題	近年、戦闘機の低RCS※化が進むことが予測され、弾道ミサイル能力についても更に向上することが予測されることから、これら将来の脅威に対応し得る警戒管制レーダ装置が必要な状況となっている。 ※RCS：Radar Cross Section　レーダー反射断面積						
	事業の概要	当該事業では、平成30年度から令和6年度にかけて、次期警戒管制レーダ装置のシステム設計及び基本設計を実施するとともに、本装置1式を試作し、令和9年度までに試験を実施した後、開発を終了する予定である。						
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/plan/plan_02.html						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定及び閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							

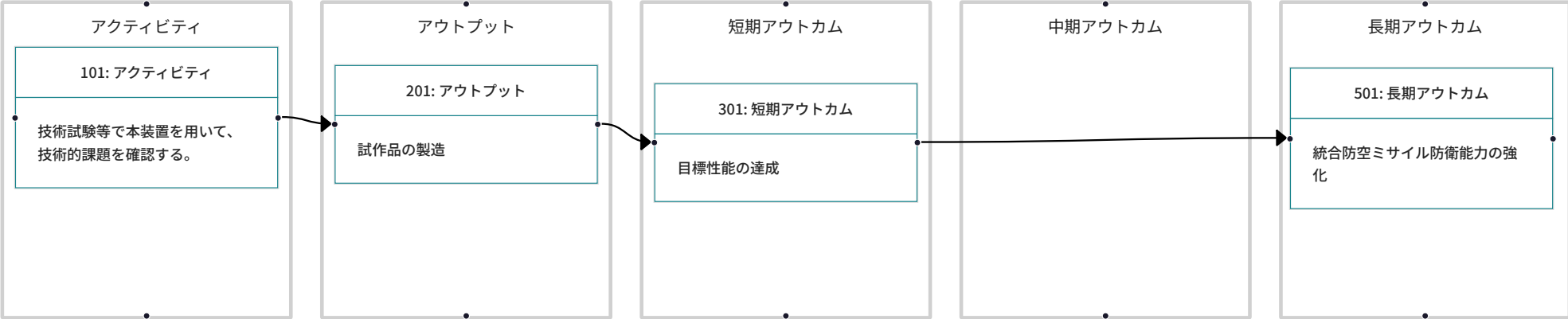
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	事業終了年度が2026年度から2027年度に変更なった理由は、試作（その１）の設置調整作業における発生事象の影響により、試験開始に遅れが生じたため。			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		0	0	2,998,000	2,484,342	2,043,765	
	当初予算		18,048,000	3,028,000	2,376,992	2,472,264	2,044,408	
	補正予算		--	--	--	--	--	
	前年度から繰越し		--	22,051,000	11,821,488	899,943	626,670	
	予備費等		--	--	--	--	--	
	計		18,048,000	25,079,000	14,198,480	3,372,207	2,671,078	
	執行額		597,000	12,359,523	12,823,127	2,384,229	--	
	執行率		3.3%	49.3%	90.3%	70.7%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		2,472,264	2,043,765
		前年度から繰越し			--		899,943	--
		--						
主な増減理由	歳出化の年割による減			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

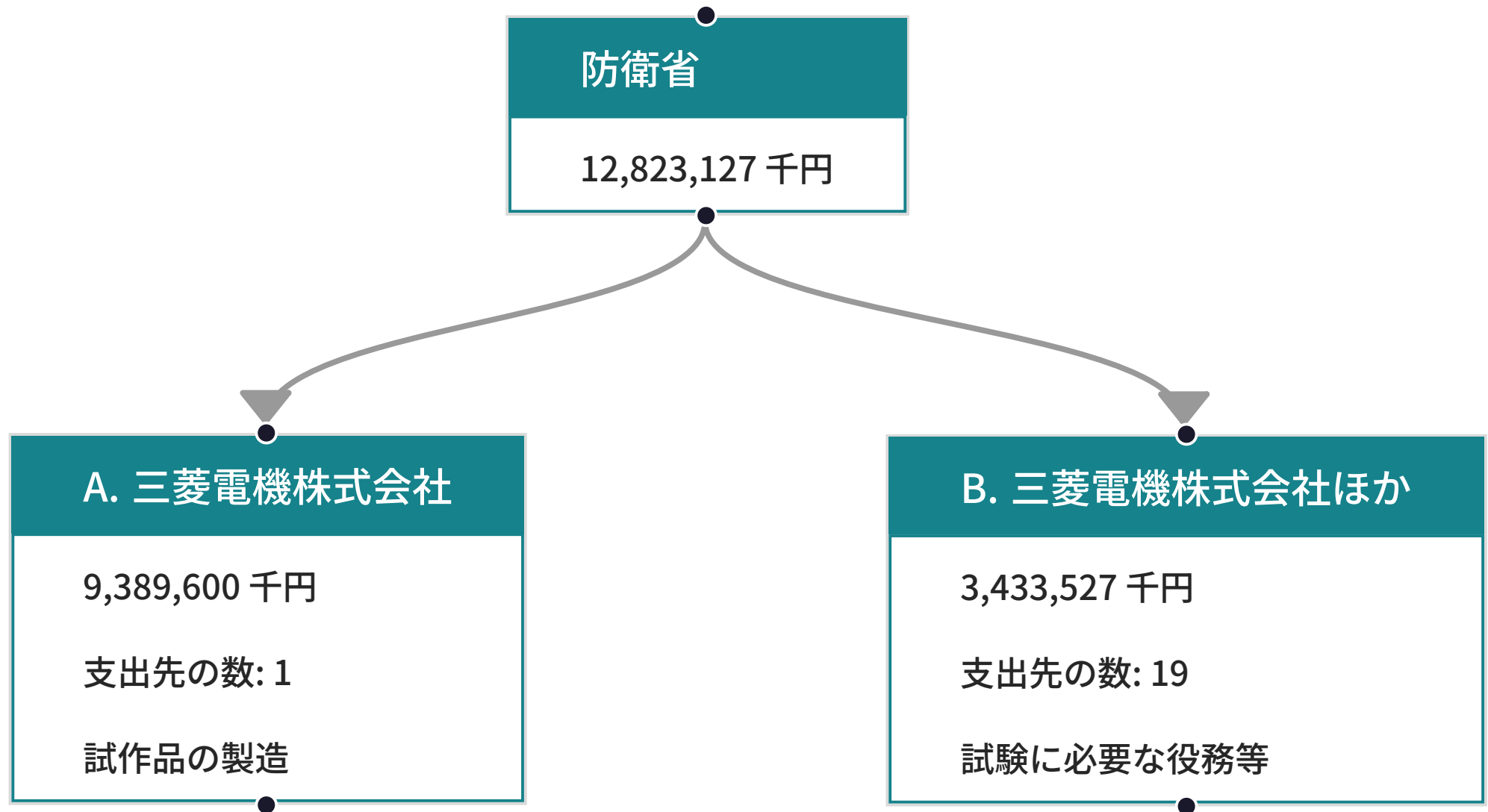
アクティビティ	技術試験等で本装置を用いて、技術的課題を確認する。						
アウトプット	活動目標	試作品の製造			活動指標	試作契約の調達件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	当初見込み／目標値(件)	2	0	0	0	0	0
	活動実績／成果実績(件)	0	1	1	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の製造により、目標性能の達成の見込みがあることから、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	目標性能の達成			成果指標	技術的課題の解明数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	0	3
	活動実績／成果実績(件)	0	0	0	--	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	目標性能を達成した試作品の完成が、統合防空ミサイル防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。						

長期アウトカム	成果目標	統合防空ミサイル防衛能力の強化			成果指標	開発試作の完了数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値 (件)	0	0	0	0	0	1
	活動実績／成果実績 (件)	0	0	0	--	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【必要性】 近年、戦闘機の低ＲＣＳ化や、弾道ミサイルの長射程化、精度向上等の能力向上に伴い、従来の警戒管制レーダでは遠距離で目標の探知追尾をすることが困難となりつつある。このような目標に有効な警戒管制レーダ装置を早期に装備化することは急務であり、そのニーズが防衛省に限られることから、防衛省が実施する必要がある。 【効率性】 民生品の活用、過去の技術的成果の活用により、経費削減を図っている。 【有効性】 本事業は、統合防空ミサイル防衛能力の向上のため有効である。 【総合評価】 本事業は、我が国の安全保障上必要であると認められ、効率的な予算執行に努めつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	過去の技術的成果の利活用による経費の低減を実施し、経費の抑制が適切になされており、引き続き経費の抑制を図る。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	その他		
	所見	経費の抑制が適切になされている、とあるが、具体的にどの程度抑制されたのかが示されるべきではないか。また、装備品の開発として、予定通りの進捗なのか、具体的な成果は得られているのかが示されていないが、予算の執行に応じて成果が得られていることについて、客観的な根拠が示されるべきではないか。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	処理機（計算機）等のハードウェアについて、民生品を活用すること等により経費の抑制を実施している。 試作（その１）の設置調整作業等の遅延により、事業計画に遅れが生じてはいるものの、飯岡支所において技術実用試験を実施し、各種データを取得中である。		

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱電機株式会社	9,389,600	1	試作品の製造		
		支出先名		支出額	法人番号		
		三菱電機株式会社		9,389,600	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		次期警戒管制レーダ装置（その２） 国庫債務負担行為等		9,389,600	--	--	--
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	B	三菱電機株式会社ほか	3,433,527	19	試験に必要な役務等		
		支出先名		支出額	法人番号		
		三菱電機株式会社		2,835,940	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		次期警戒管制レーダ装置等の設置調整作業(１) 国庫債務負担行為等		781,000	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置用バイスタティック試験装置（２）等 国庫債務負担行為等		767,250	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置のプログラム基本設計書作成役務 国庫債務負担行為等		370,700	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置等の配置検討等作業 国庫債務負担行為等		370,700	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置用補用品（２） 国庫債務負担行為等		203,500	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置用補用品（３） 国庫債務負担行為等		179,300	--	--	--
		次期警戒管制レーダ装置の性能確認試験のための技術支援 随意契約（公募）		66,608	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
		次期警戒管制レーダ装置の性能確認試験のためのデータ解析役務 随意契約（公募）		49,025	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	次期警戒管制レーダ装置等の設置調整作業(2)に関する検討作業 随意契約（公募）	47,857	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
支出先名		支出額	法人番号		
東芝インフラシステムズ株式会社		513,015	2011101014084		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
次期警戒管制レーダ用味方識別装置 J／U P X－1 1 1 国庫債務負担行為等		500,838	--	--	--
次期警戒管制レーダ装置の S I F／I F F 機能に関する性能確認試験のためのデータ解析作業 国庫債務負担行為等		12,177	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社アクティオ		43,857	6010001034494		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
プレハブ借上（飯岡支所） 国庫債務負担行為等		29,370	--	--	--
器材借上（2） 国庫債務負担行為等		12,067	--	--	--
プレハブ等借上 一般競争契約（最低価格）		2,420	3	80	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社U－POWER		24,146	1010701041869		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
電気の供給 一般競争契約（最低価格）		24,146	1	92.2	--
支出先名		支出額	法人番号		
S M F L レンタル株式会社		5,558	1010001114136		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	器材借上（１） 国庫債務負担行為等	3,167	--	--	--
	器材借上（３） 一般競争契約（最低価格）	2,391	2	51.9	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社レンタルのニッケン	4,772	4010001032368		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	事務用品等借上（２） 一般競争契約（最低価格）	4,772	2	64.4	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	エスアールエス株式会社	2,365	3013201016983		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	事務用品等借上 国庫債務負担行為等	2,365	--	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社プラスラボ	1,143	3030001136770		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	外付ハードディスク 随意契約（少額）	469	3	--	--
	紙ワイパー他２６品目 随意契約（少額）	352	2	--	--
	抗菌安全スノコ他３５品目 随意契約（少額）	322	2	--	--
支出先名	支出額	法人番号			
株式会社東日トラベルセンター	810	4011801014456			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
宿舍借上（その２） 一般競争契約（最低価格）	810	3	85.1	--	

	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		支出先名		支出額	法人番号		
		株式会社野口デンキテック		660	4040001063138		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		次世代装備研究所飯岡支所の電気工作物保安全管理業務 随意契約（少額）		660	1	--	--
		支出先名		支出額	法人番号		
		その他		1,262	--		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		その他 その他(随意契約（少額）ほか)		1,262	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	三菱電機株式会社	次期警戒管制レーダ装置（その2）	試作品費	試作品の製造		9,389,600
	B	三菱電機株式会社	次期警戒管制レーダ装置等の設置調整作業(1)	試験研究費	試験準備作業		781,000
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

イージス・システム搭載艦の整備

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）					
	作成責任者	石原里史 齋藤淳師 小河邦生 門野政明 村中紀章					
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 総務部 経理課 防衛省 海上幕僚監部 指揮通信情報部 情報課 防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 装備需品課 防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課					
基本情報	予算事業ID	005407	事業開始年度	2020	事業終了（予定）年度	終了予定なし	
	事業年度	2025	事業区分		前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		

概要・目的	事業の目的	弾道ミサイルの脅威に対して、平素から我が国を常時・持続的に防護できるよう弾道ミサイル防衛能力の抜本的な向上を図る。				
	現状・課題	弾道ミサイルの脅威に対しては、「平成３１年度以降に係る防衛計画の大綱」（平成３０年１２月１８日国家安全保障会議及び閣議決定）及び「中期防衛力整備計画（平成３１年度～平成３５年度）」（平成３０年１２月１８日国家安全保障会議及び閣議決定）に引き続き「国家防衛戦略」（令和４年１２月１６日閣議決定）及び「防衛力整備計画（令和４年１２月１６日閣議決定）」に基づき対応してきているが、北朝鮮は、核兵器をはじめとする大量破壊兵器の完全で検証可能な、かつ、不可逆的な方法による廃棄は行っておらず、また依然として、我が国の全域を射程に収めるミサイルを数百発保有・実戦配備し、発射台付き車両（ＴＥＬ）や潜水艦を用いて、我が国を奇襲的に弾道ミサイル攻撃できる能力を引き続き保有している。				
	事業の概要	新たな弾道ミサイル防衛システムとして、弾道ミサイル攻撃から我が国を常時・持続的に防護し得る陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）２基を導入する計画であったが、令和２年６月、イージス・アショアの配備に関するプロセスが停止されたことから、イージス・アショアの構成品について、すでに契約済みのものを含め可能な限り利活用する方向で検討を行い、同構成品の洋上プラットフォームへの搭載に関して技術的実現性を確認した後、令和２年１２月の閣議決定において、イージス・アショアに替えて、イージス・システム搭載艦２隻を整備することとした。 これを受け、契約済みのイージス・アショアの構成品について、洋上仕様化したうえで活用するものとし、これを装備するイージス・システム搭載艦２隻を建造する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号		第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	弾道ミサイル防衛能力の抜本的向上について（平成２９年１２月１９日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	--				
	平成３１年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成３１年度～平成３５年度）（平成３０年１２月１８日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	--				
	新たなミサイル防衛システムの整備等及びスタンド・オフ防衛能力の強化について（令和２年１２月１８日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	--				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率		補助上限等		補助率URL
	--	--		--		--
備考	--					

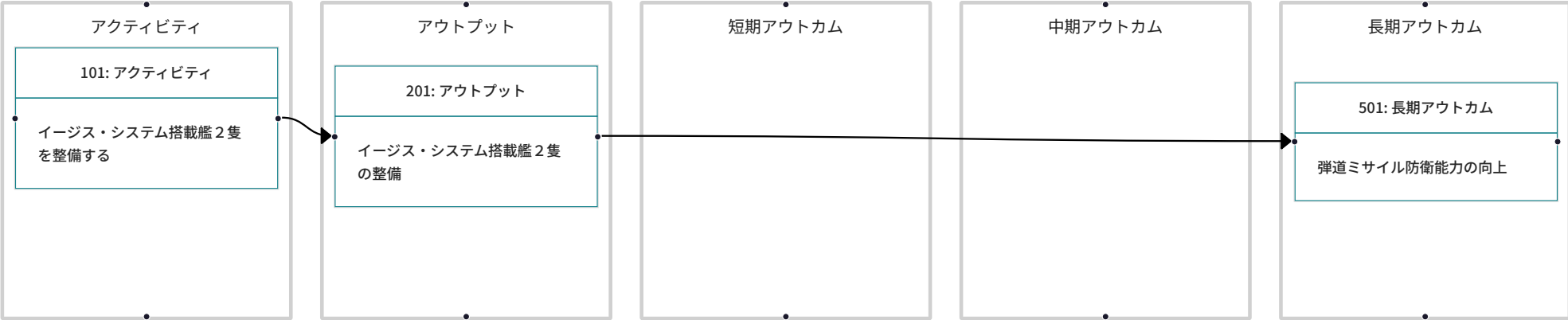
予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	42,242,000	1,952,000	112,533,000	216,166,197	176,726,432
	当初予算	35,344,000	35,425,000	56,386,290	174,400,063	130,115,066
	補正予算	--	--	52,590,665	45,013,100	--
	前年度から繰越し	--	--	651,294	--	1,830,394
	予備費等	--	--	496,253	20,148	--
	計	35,344,000	35,425,000	110,124,502	219,433,311	131,945,460
	執行額	35,510,000	34,661,670	107,684,372	217,009,248	--
	執行率	100.5%	97.8%	97.8%	98.9%	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--	--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 武器購入費			--	118,389,616	30,957,567
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 令和6年度甲VI型警備艦建造費 / 艦艇建造費			--	27,986,985	68,126,496
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 諸器材等維持費			--	21,125,560	14,772,284
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 艦船建造費 / 艦艇建造費			--	6,173,671	56,134,166
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費			--	701,055	6,712,500
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛本省共通費 / 職員旅費			--	23,097	23,337
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛力基盤強化推進費 / 運搬費			--	79	82
		第1次補正予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 令和6年度甲VI型警備艦建造費 / 艦艇建造費			--	45,013,100	--
		予備費等1 --			--	0	--
		予備費等2 --			--	0	--
		予備費等3 --			--	20,148	--
主な増減理由	調達内容の差異による増減			その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	イージス・システム搭載艦 2 隻を整備する					
アウトプット	活動目標	イージス・システム搭載艦 2 隻の整備		活動指標	イージス・システム搭載艦の取得数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和 4 年12月16日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	当初見込み／目標値(隻)	0	0	0	1	2
	活動実績／成果実績(隻)	0	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	イージス・システム搭載艦の整備により、弾道ミサイル防衛能力の向上が図れるため。					
長期アウトカム	成果目標	弾道ミサイル防衛能力の向上		成果指標	イージス・システム搭載艦の保有数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和 4 年 1 2 月 1 6 日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティであるイージス・システム搭載艦の整備が、最終成果である弾道ミサイル防衛能力の向上に直接結びつくため。	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(隻)	0	0	0	1	2
	活動実績／成果実績(隻)	0	--	--	--	--
	達成率(%)	100	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

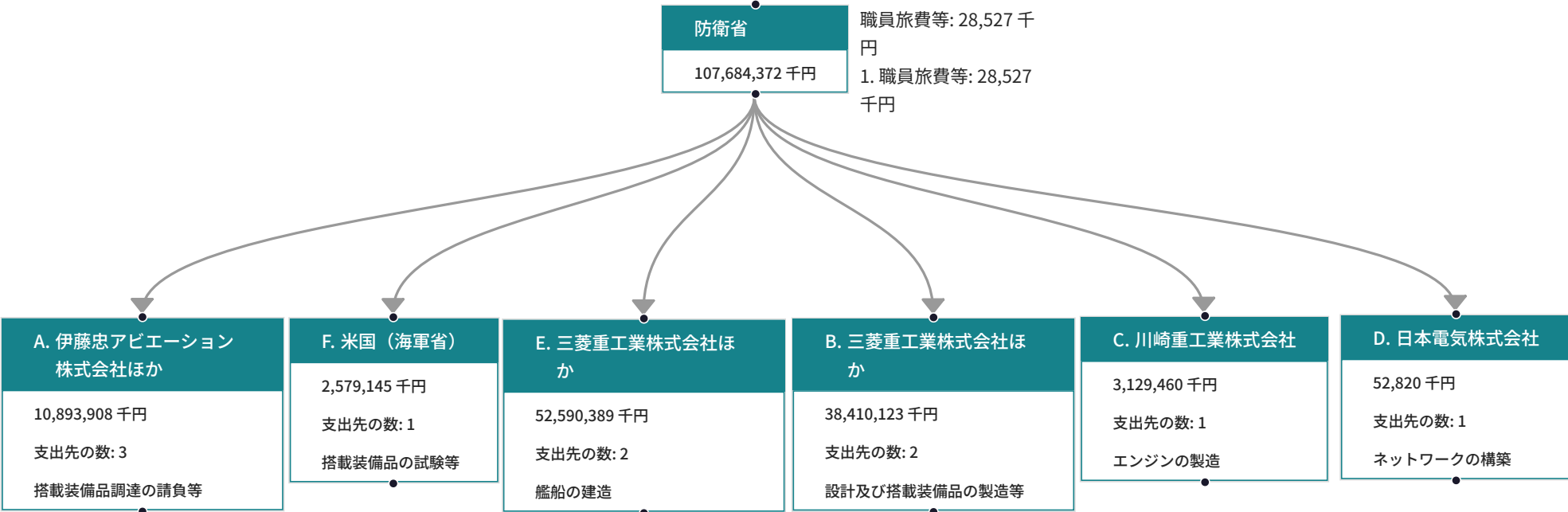
点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 弾道ミサイル防衛能力の抜本的な向上を図るために必要な事業であり、防衛省で実施することが適切である。 2．効率性 米国政府を含めた実効的なプロジェクト管理体制を構築し事業リスクを管理 するなど、事業の効率性に努めている。 3．有効性 イージス・システム搭載艦は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境の中で、我が国を弾道ミサイル等の脅威から防護することを主眼とし、情勢に応じて、常時持続的に我が国全域を防護するために整備するものであり、高度化する弾道ミサイル等の脅威から我が国を防護することに有効である。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、米国政府や国内企業との交渉・調整を実施し、効率的な事業の管理に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	イージス・システム搭載艦の取得から保有する過程で実施する活動を細分化し、当該結節における取組を成果目標や成果指標を設定するなど検討されたい。 装備品の特性として、一定数の随意契約は発生するが、一般競争入札については、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	年度内に改善を検討		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	イージス・システム搭載艦の取得から保有する過程で実施する活動について、中期アウトカムとして設定していく。 一般競争入札については競争性確保に向けた取り組みを強化するように努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	指摘を受けた調査等の名称	--	指摘年度	--
	指摘内容			
	--			
	対応状況			
	--			

支出先

資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 伊藤忠アビエーション株式会社ほか		10,893,908	3	搭載装備品調達の請負等	
	支出先名		支出額	法人番号		
	伊藤忠アビエーション株式会社		4,712,564	1010401002840		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	高性能20mm機関砲 随意契約（公募）		4,712,564	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
	支出先名		支出額	法人番号		
	米国（海軍省）		3,277,344	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	イージス・システム構成品等の整備 随意契約（その他）(FMS)		3,263,136	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
	GSA規格金庫 随意契約（その他）(FMS)		14,208	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱商事株式会社		2,904,000	5010001008771		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	空中線装置（変更契約） 随意契約（公募）		2,904,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 三菱重工業株式会社ほか		38,410,123	2	設計及び搭載装備品の製造等	
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱重工業株式会社		37,751,267	8010401050387		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	垂直発射装置VLS MK41（その2） 随意契約（公募）	16,383,970	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
	垂直発射装置VLS MK41（その2） 随意契約（公募）	16,383,970	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
	垂直発射装置VLS MK41（その2） 随意契約（公募）	4,389,076	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
	イージス・システム搭載艦設計基礎資料作成（船体、動力、武器 ぎ装設計）及び同1番艦詳細設計（その1） 随意契約（公募）	594,252	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
	支出先名		支出額	法人番号		
ジャパンマリンユナイテッド株式会社		658,856	8020001076641			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
イージス・システム搭載艦設計基礎資料作成（残存性能評価） 及び同2番艦詳細設計（その1） 随意契約（公募）		658,856	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
C	川崎重工業株式会社	3,129,460	1	エンジンの製造		
支出先名		支出額	法人番号			
川崎重工業株式会社		3,129,460	1140001005719			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
主機械MT30型ガスタービン機関（減速装置を含む） 随意契約（公募）		3,129,460	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため	
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
D	日本電気株式会社	52,820	1	ネットワークの構築		
支出先名		支出額	法人番号			
日本電気株式会社		52,820	7010401022916			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	

支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		J R E A P - C ネットワークの再構築（「自衛艦隊司令部」ほか J R E A P - C 関連器材 改造） 随意契約（公募）	29,414	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		J R E A P - C ネットワークの再構築（「呉システム通信隊」通信制御装置 L S W - 7 9 用ルータ等 装備） 随意契約（公募）	23,406	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
E	三菱重工業株式会社ほか		52,590,389	2	艦船の建造	
	支出先名		支出額	法人番号		
	三菱重工業株式会社		28,603,362	8010401050387		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	イージス・システム搭載艦 1 番艦の製造（その 3） 随意契約（公募）		28,603,362	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
	支出先名		支出額	法人番号		
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社		23,987,027	8020001076641		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	イージス・システム搭載艦 2 番艦の製造（その 2） 随意契約（公募）		23,987,027	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割
F	米国（海軍省）		2,579,145	1	搭載装備品の試験等	
	支出先名		支出額	法人番号		
	米国（海軍省）		2,579,145	9999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	装備認定試験（J F T M） 随意契約（その他）(FMS)		1,174,096	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（M D A）協定）

	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
			装備認定試験（SQT） 随意契約（その他）(FMS)	783,024	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
			BMD用テストサイト器材の整備 随意契約（その他）(FMS)	622,025	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額
	A	伊藤忠アビエーション株式会社	高性能20mm機関砲	武器購入費	搭載装備品調達		4,712,564
	B	三菱重工業株式会社	垂直発射装置VLS MK41 （その2）	艦船建造費	搭載装備品調達		16,383,970
	B	三菱重工業株式会社	垂直発射装置VLS MK41 （その2）	艦船建造費	搭載装備品調達		16,383,970
	C	川崎重工業株式会社	主機械MT30型ガスタービン 機関（減速装置を含む）	艦船建造費	エンジンの調達		3,129,460
	D	日本電気株式会社	JREAP-Cネットワークの 再構築（「自衛艦隊司令部」ほ かJREAP-C関連器材 改造）	通信維持費	ネットワークの構築		29,414
	E	三菱重工業株式会社	イージス・システム搭載艦1番 艦の製造（その3）	艦艇建造費（継続 費）	艦船の建造		28,603,362
	F	米国（海軍省）	装備認定試験（JFTM）	諸器材等維持費	搭載装備品の試験費用		1,174,095

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	E	三菱重工業株式会社	139,700,000	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		イージス・システム搭載艦 1 番艦の製造（その 3） 随意契約（公募）	139,700,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	E	ジャパンマリンユナイテッド株式会社	132,403,700	8020001076641		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		イージス・システム搭載艦 2 番艦の製造（その 2） 随意契約（公募）	132,403,700	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	米国（海軍省）	77,703,224	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		イージス・システム構成品等の整備 随意契約（その他）(FMS)	65,262,724	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
		BMD用テストサイト器材の整備 随意契約（その他）(FMS)	12,440,500	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
		契約先名	契約額	法人番号		
	F	米国（海軍省）	39,073,001	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		装備認定試験（JFTM） 随意契約（その他）(FMS)	23,412,516	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
		装備認定試験（SQT） 随意契約（その他）(FMS)	15,660,484	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	伊藤忠アビエーション株式会社	18,508,600	1010401002840		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

		高性能20mm機関砲 随意契約（公募）	18,508,600	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	C	川崎重工業株式会社	14,758,690	1140001005719		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		主機械MT30型ガスタービン機関（減速装置を含む） 随意契約（公募）	14,758,690	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	株式会社日本製鋼所	7,155,302	5010701019531		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		62口径5インチ砲 随意契約（公募）	3,874,750	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		30mm遠隔操縦機関砲 随意契約（公募）	2,805,792	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		30mm遠隔操縦機関砲（初度費） 随意契約（公募）	474,760	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	富士通株式会社	2,925,857	1020001071491		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		情報処理サブシステムOYX-1-06 随意契約（公募）	2,614,700	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		情報処理サブシステムOYX-1-06（初度費） 随意契約（公募）	311,157	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	日本電気株式会社	2,339,426	7010401022916		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		艦艇搭載用情報通信基盤NYYQ-1 一般競争契約（最低価格）	847,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため

		衛星通信装置N Y R Q－1 C－6 随意契約（公募）	414,097	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		空中線装置N O R A－1 D－Y 随意契約（公募）	254,201	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		タカンO R N－6 F 随意契約（公募）	213,014	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		秘匿装置Y S C－2 3－1 随意契約（公募）	186,287	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		通信統制装置O Y Q－5 2 C 随意契約（公募）	149,277	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		マルチバンド統制装置O Y Q－6 2 随意契約（公募）	94,490	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		水中通話機O Q C－4－3 随意契約（公募）	74,800	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		音響測深儀O Q N－6 F－3 一般競争契約（最低価格）	71,346	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		秘話装置Y S C－3 1 随意契約（公募）	30,558	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		衛星データリンク連接装置N－S A－2 5 2 随意契約（公募）	4,356	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	三菱電機株式会社	1,988,924	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		光学複合センサO A X－3－1 随意契約（公募）	719,400	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		無線装置O R Q－1 F－1 随意契約（公募）	578,765	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		無線装置O R Q－1 F－1（初度費） 随意契約（公募）	549,175	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		通信管制連接装置O T Q－2 1 B 随意契約（公募）	75,584	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		艦上画像表示装置O X Q－5 B－4 随意契約（公募）	66,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため

		契約先名	契約額	法人番号		
	B	日本アビオニクス株式会社	1,360,370	5010701017733		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		艦内通信切換制御装置OTQ-3C 随意契約（公募）	1,360,370	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	三菱重工業株式会社	740,564	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		艦対艦ミサイル艦上装置3形（SSMS-3） 随意契約（公募）	562,540	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		着艦誘導支援装置OJN-3D 随意契約（公募）	129,250	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		艦船搭載用魚雷調整要具及び試験器12型 随意契約（公募）	48,774	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため

その他備考

--

誘導弾の開発試作

基本情報

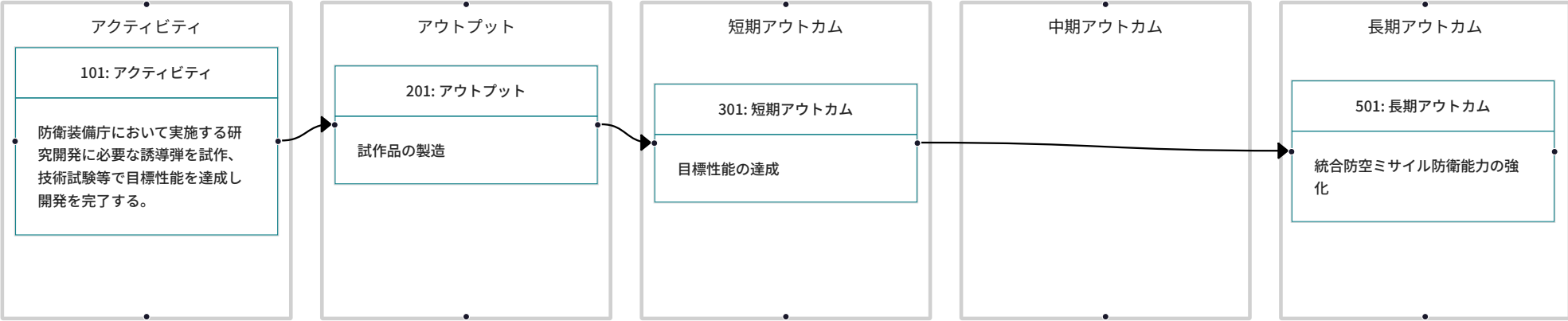
組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜					
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官					
基本情報	予算事業ID	007490	事業開始年度	2019		事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	最先端の技術を活用することで、我が国の国土防衛に不可欠な様々な誘導弾（多目的誘導弾システム（改）、A S M－3（改））の開発を目的としている。					
	現状・課題	近年、我が国の安全保障上、脅威となる諸外国の装備品の高性能化・多様化に伴い、我が国の誘導弾の性能向上が必要な状況となっている。					
	事業の概要	当該事業では、平成２９年度から様々な誘導弾の開発試作事業として、システム設計、基本設計及び関連試験等を実施するとともに構成要素等を試作し、最終的には開発目標品の発射弾等を試作することで技術試験を実施し、開発を終了する予定である。					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名			計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定及び閣議決定）			https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施						
補助率等	補助対象			補助率	補助上限等		補助率URL
	--			--	--		--
備考	--						

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	11,084,000	8,041,335	13,855,488		
	当初予算		18,758,000	11,045,143	8,035,894	13,791,672		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	4,466,544	56,158		
	予備費等		--	△234,105	--	--		
	計		18,758,000	10,811,038	12,502,438	13,847,830		
	執行額		18,276,707	6,179,340	11,885,324	--		
	執行率		97.4%	57.2%	95.1%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		7,474,894	2,617,276
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		561,000	11,238,212
		前年度から繰越し --			--		4,466,544	--
	主な増減理由							
歳出化の年割による増				その他特記事項		--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

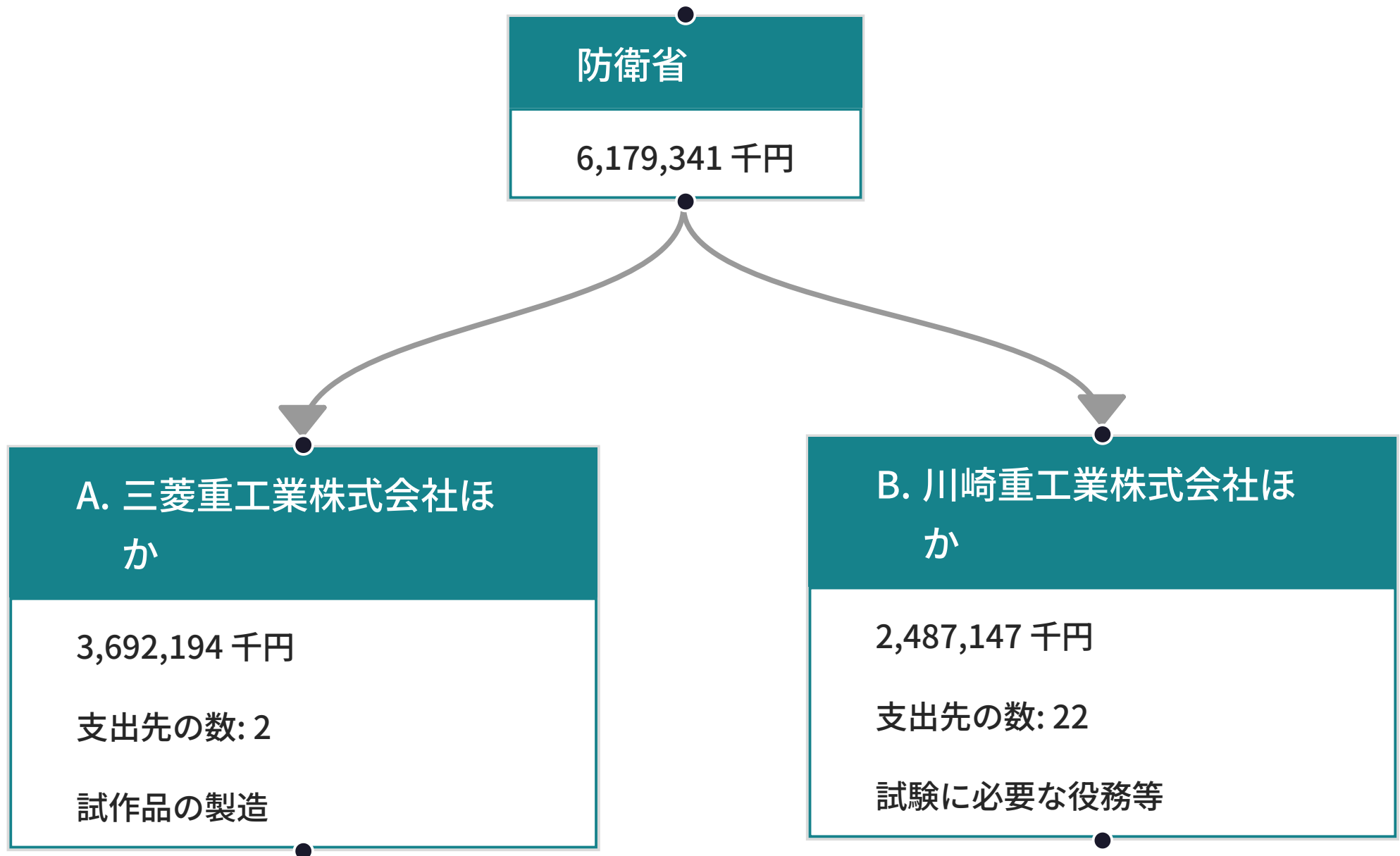
アクティビティ	防衛装備庁において実施する研究開発に必要な誘導弾を試作、技術試験等で目標性能を達成し開発を完了する。					
アウトプット	活動目標	試作品の製造		活動指標	試作契約の調達件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	3	3	2	0	1
	活動実績／成果実績(件)	3	3	2	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の製造により、目標性能の達成の見込みがあることから、短期アウトカムとして設定した。					
短期アウトカム	成果目標	目標性能の達成		成果指標	技術的課題の解明数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	4	0	0	2	1
	活動実績／成果実績(件)	4	0	0	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	目標性能を達成した試作品の完成が、統合防空ミサイル防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	統合防空ミサイル防衛能力の強化		成果指標	開発試作の完了数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和７年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	3	0	1	0	1
	活動実績／成果実績(件)	3	0	1	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【必要性】 近年、我が国の安全保障上、脅威となる諸外国の装備品の高性能化・多様化に伴い、我が国の誘導弾の性能向上は急務であり、そのニーズが防衛省に限られることから、防衛省が実施する必要がある。 【効率性】 官給品、民生品の活用及び過去の技術的成果の活用により、経費削減を図っている。 【有効性】 所望の時期までに開発試作は完了する見込みである。 【総合評価】 本事業は、我が国の安全保障上必要であると認められ、効率的な予算執行に努めつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	官給品、民生品の活用や過去の技術的成果による経費の低減を実施し、経費の削減が適切になされていた。引き続き、同様の取り組みを継続して実施していく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗に伴う成果を測定するための指標が概ね整備されている。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
	詳細	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。 執行率が低調な要因は、需要増加の競合による試作品製造の遅延等に伴う事業計画の変更によるものである。変更に伴う未執行分については、次年度への繰越処置をすることとし、適切に概算要求等に反映している。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社ほか	3,692,194	2	試作品の製造		
	支出先名		支出額	法人番号			
	三菱重工業株式会社		2,995,300	8010401050387			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	A S M－3（改）（その2） 国庫債務負担行為等		2,995,300	--	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	川崎重工業株式会社		696,894	1140001005719			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	多目的誘導弾システム（改）（その3） 国庫債務負担行為等		696,894	--	--	--	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	B	川崎重工業株式会社ほか	2,487,147	22	試験に必要な役務等		
	支出先名		支出額	法人番号			
	川崎重工業株式会社		1,184,049	1140001005719			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（発射試験（地上））に関する試験支援作業 随意契約（公募）		375,881	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。	
	発射試験評価用器材 国庫債務負担行為等		363,550	--	--	--	
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（形態管理役務） 随意契約（公募）		208,901	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。	
	中距離多目的誘導弾（計測装置付） 国庫債務負担行為等		109,184	--	--	--	
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（PS試験）に関する試験支援作業 随意契約（公募）		40,986	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（空輸性試験）に関する試験支援作業 随意契約（公募）	35,860	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（PS試験）のためのデータ取得役務 随意契約（公募）	27,951	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（発射試験（地上））のための技術支援 随意契約（公募）	15,092	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（PS試験）のための技術支援 随意契約（公募）	3,564	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（PS試験）のための撤収役務 随意契約（公募）	3,080	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
支出先名		支出額	法人番号		
三菱重工業株式会社		1,151,999	8010401050387		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	A S M－3（改）性能確認試験器材（1） 国庫債務負担行為等	1,085,545	--	--	--
	J P－1 0 国庫債務負担行為等	38,192	--	--	--
	C F T試験準備役務（その1） 随意契約（公募）	25,039	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	A S M－3（改）の性能確認試験（C F T試験）のための技術支援 随意契約（公募）	3,223	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社アクティオ		89,100	6010001034494		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	プレハブ等借上（一般器材含む） 一般競争契約（最低価格）	89,100	2	80.6	--
支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	日本通運株式会社	21,934	4010401022860		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	輸送役務 一般競争契約（最低価格）	21,934	2	66.3	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	日本電気株式会社	15,241	7010401022916		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	飛行前点検用器材の点検 随意契約（公募）	8,185	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	移動計測車の改修方法の検討 随意契約（公募）	7,055	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	支出先名	支出額	法人番号		
	中国化薬株式会社	8,020	4240001026181		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	多目的誘導弾システム（改）の性能確認試験（発射試験（地上））飛しょう体処理作業役務 随意契約（公募）	7,638	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
	多目的誘導弾システム（改）信管の無火薬化作業 随意契約（少額）	382	1	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	京浜トラベルサービス株式会社	3,685	7020001082161		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	宿舍借上 一般競争契約（最低価格）	3,685	1	98.8	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社アイズ	3,184	8040002088155		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
		工場扇他48品目 一般競争契約（最低価格）	3,184	3	80.8	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	ニッポンレンタカー北海道株式会社		3,051	1430001021109		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	車両借上 一般競争契約（最低価格）		3,051	1	100	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	有限会社PAOプラス		1,745	1120902013689		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	人員輸送役務 一般競争契約（最低価格）		1,745	2	--	落札率が存在しないため
	支出先名		支出額	法人番号		
	その他		5,140	--		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	その他 その他(随意契約（少額）ほか)		5,140	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)	支出先名		契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	三菱重工業株式会社	ASM-3（改）（その2）	試作品費	試作品の製造	2,995,300
	B	川崎重工業株式会社	多目的誘導弾システム（改）の 性能確認試験（発射試験（地上））に関する試験支援作業	試験研究費	試験支援作業	375,881

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	B	三菱重工業株式会社	826,545	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		A S M－3（改）全フェーズ試験支援役務 随意契約（公募）	725,655	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
		水上標的用リフレクタの製造 随意契約（公募）	100,890	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	オフショアエンジニアリング株式会社	178,645	8010001013315		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		水上標的の製造 一般競争契約（最低価格）	178,645	1	99.3	--

その他備考

--

SM-3ブロックIIAの取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 高橋杉雄 村中紀章 有田純					
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課 防衛省 内部部局 整備計画局 防衛計画課 防衛省 内部部局 防衛政策局 戦略企画参事官					
基本情報	予算事業ID	007491	事業開始年度	2017		事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（７）持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅱ－５ 日米同盟による共同抑止・対処（日米同盟の強化）		（１）日米防衛協力の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅳ－７ いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤		（１）防衛生産基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		

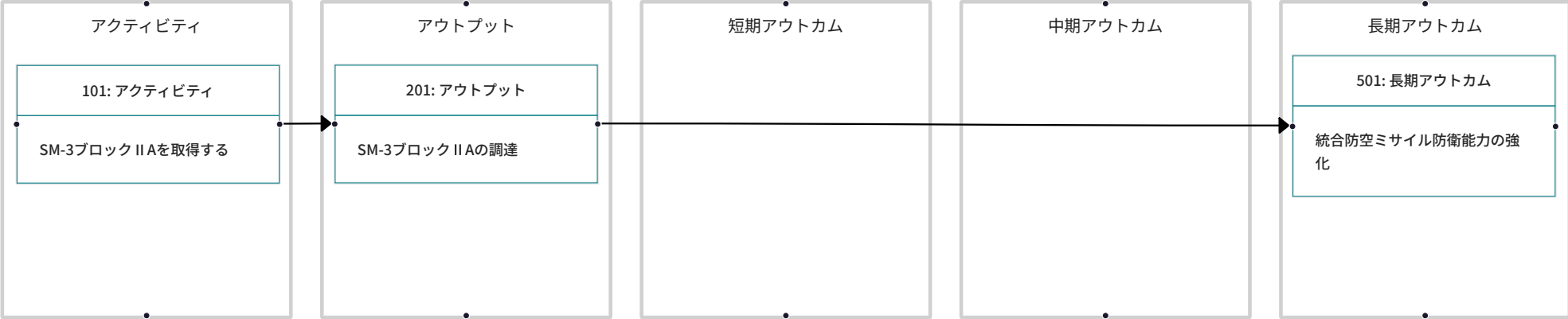
概要・目的	事業の目的	北朝鮮の弾道ミサイル能力の向上を踏まえ、我が国の弾道ミサイル対処能力の総合的な向上を図るため、ＳＭ-3ブロックⅠＡ型誘導弾の後継となる艦載型の新弾道ミサイル防衛用誘導弾について日米共同で開発されたミサイルを取得し、我が国全域を防護し得る、即応態勢、同時対処能力及び継続的に対処できる能力の強化に資することを目的とする。				
	現状・課題	我が国の弾道ミサイル対処能力を向上させるため、イージス・システム搭載艦の検討を踏まえつつ、米側と緊密な調整を実施し、合理的なＦＭＳ調達等を通じて、引き続きＳＭ－３ブロックⅡＡを計画的に整備する必要がある。				
	事業の概要	高性能、多様化する将来の弾道ミサイル脅威に対処するため、かつ、可能な限り早期かつ安価にその対処能力を獲得するため、米国との共同開発を実施した、イージス艦等に搭載する弾道ミサイル防衛用能力向上型迎撃ミサイル（ＳＭ－３ブロックⅡＡ）を取得する。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	弾道ミサイル防衛システムの整備等について（平成15年12月19日 安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/taikou/17_Missile.pdf				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	--	--	--	--		
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	29,715,000	61,997,672	12,486,630
	当初予算		16,586,000	18,716,406	66,903,965	4,496,833
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--
	予備費等		--	987,422	9,503,368	--
	計		16,586,000	19,703,827	76,407,333	4,496,833
	執行額		16,586,000	19,697,795	76,407,333	--
	執行率		100%	100%	100%	--
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 弾薬購入費			66,903,965	12,486,630
		予備費等4 --		--	9,503,368	--
	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
主な増減理由	契約時の年割りが年度毎に異なるため。			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり

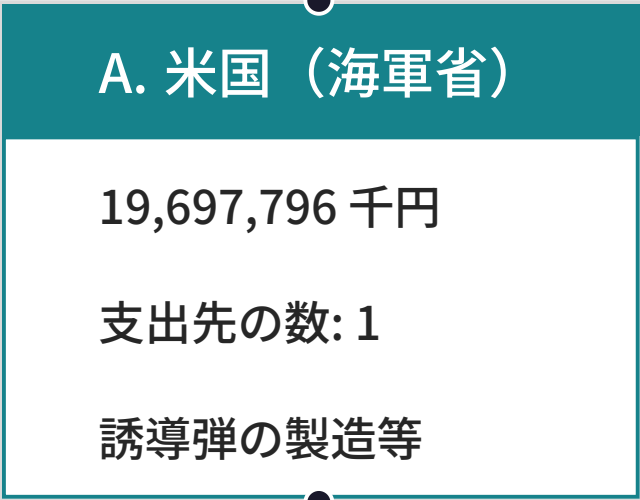


アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	SM-3ブロックⅡAを取得する										
アウトプット	活動目標	SM-3ブロックⅡAの調達				活動指標	SM-3ブロックⅡAの調達に係るFMS契約締結数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
	当初見込み／目標値(件)	0		1		2		1		1	
	活動実績／成果実績(件)	0		1		2		--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	SM-3ブロックⅡAの調達・配備そのものが統合防空ミサイル防衛能力の強化に直結する										
長期アウトカム	成果目標	統合防空ミサイル防衛能力の強化				成果指標	FMS契約に基づくＳＭ－３ブロックⅡＡの取得				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	SM-3ブロックⅡAの調達・配備そのものが統合防空ミサイル防衛能力の強化に直結するため。				
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	活動実績／成果実績(件)	0	0	0	--	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	100	100	100	--	--	--	--	--	--	
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--									
	URL	--									
	該当箇所	--									

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業は、統合防空ミサイル防衛能力の強化のために必要であり、防衛省で実施することが適切である。FMS調達により計画的に必要な数を取得していくため、継続的な米国との調整を通じて、効率的な事業遂行を図っている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	継続的な米国との調整を実施し、効率的かつ合理的な取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2022
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	単一の指標設定となっているが、効果発現経路が単純であるため、やむを得ない。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	設定した指標に基づき測定し、効率的な取得改善につなげる。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	米国（海軍省）	19,697,796	1	誘導弾の製造等		
		支出先名		支出額	法人番号		
		米国（海軍省）		19,697,796	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		誘導弾の製造等 その他(F M S)		19,697,796	--	--	F M S 契約のため
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目	使途	金額
	A	米国（海軍省）	誘導弾の製造等		弾薬購入費	誘導弾の購入	58,331,813
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
	A	米国（海軍省）		58,331,813	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		誘導弾の製造等 その他(F M S)		58,331,813	--	--	--

その他備考

--

S M－6の取得

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）						
	作成責任者	米倉和也 村中紀章						
	その他担当組織	防衛省 海上幕僚監部 装備計画部 艦船・武器課						
基本情報	予算事業ID	007492	事業開始年度	2022		事業終了（予定）年度	終了予定なし	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（７）持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅳ－７ いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤			（１）防衛生産基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	イージス艦に搭載して運用する長距離対空ミサイルを取得し、多様化・複雑化する経空脅威への対処を可能とする統合防空ミサイル防衛能力を強化する。						
	現状・課題	我が国周辺国の軍事活動の活発化や航空戦力の近代化、各種ミサイル等の脅威が増大しており、長射程など防空能力の向上した新たなミサイルの取得のため、継続的に米国との調整を実施し、合理的なFMS調達を通じて、引き続きSM－６を計画的に整備する必要がある。						
	事業の概要	統合防空ミサイル防衛能力を速やかに強化する観点から、SM－６をFMSにより必要数取得する。						
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三

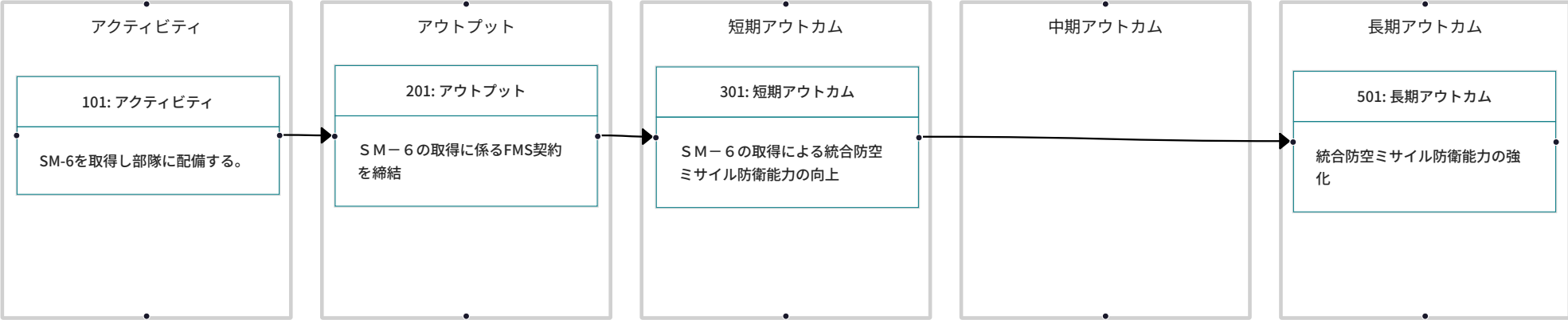
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	弾道ミサイル防衛システムの整備等について（平成15年12月19日 安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/taikou/17_Missile.pdf	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/strategy/index.html	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	4,463,000	28,569,588	20,662,440
	当初予算		1,690,000	2,472,095	31,348,141	17,189,657
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	2,727	--	--
	予備費等		--	--	0	--
	計		1,690,000	2,474,822	31,348,141	17,189,657
	執行額		1,961,912	1,438,039	20,859,341	--
	執行率		116.1%	58.1%	66.5%	--
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 弾薬購入費			31,348,141	20,662,440
		予備費等4 --		--	0	--
	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
主な増減理由	令和 8 年度購入予定の弾薬に必要な経費を計上したため			その他特記事項	2023年度以前の執行額については、事業間における当初予算の組替を行っているため、執行率が100%を超過している。	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



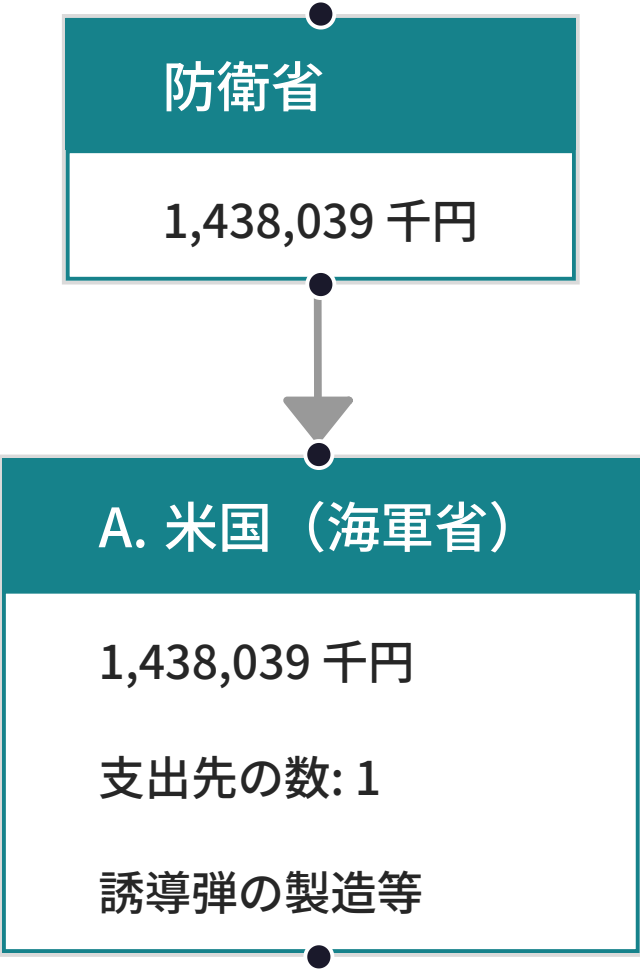
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	SM-6を取得し部隊に配備する。						
アウトプット	活動目標	S M－6の取得に係るFMS契約を締結			活動指標	取得に係る契約件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	当初見込み／目標値(件)	1	1	1	1	1	
	活動実績／成果実績(件)	1	1	1	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	S M－6の取得が、統合防空ミサイル能力の向上につながるため、短期アウトカムとして設定した。						
短期アウトカム	成果目標	S M－6の取得による統合防空ミサイル防衛能力の向上			成果指標	FMS契約に基づくS M－6の取得	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	1	1	1	1
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--
	達成率(%)	100	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	S M－6を取得し、統合防空ミサイル能力の向上させることが、長期的には統合防空ミサイル防衛能力の強化につながるため、長期アウトカムとして設定した。						

長期アウトカム	成果目標		統合防空ミサイル防衛能力の強化			成果指標		S M－6 の計画な取得により防空能力が向上された艦船数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績		--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）		国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和 4 年 1 2 月 1 6 日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由		--			アウトカムを複数段階で設定できない理由		--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	最終目標年度 2031年度	
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	0	0	0	1	
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	100	--	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前		--							
	URL		--							
	該当箇所		--							

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵略に対応するため必要であり、防衛省で実施することが適切である。 2．効率性 FMS調達において、計画的に必要な数を取得していくため、継続的な米国との調整を通じて価格の妥当性等を確認しつつ、効率的な業務遂行を図っている。 3．有効性 本事業は、統合防衛ミサイル防衛能力の向上のため有効である。 4．総合評価 本事業は我が国の安全保障上必要であると認められ、効率的な予算執行に努めつつ、適正に実施している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	継続的に米国との調整を実施し、効率的かつ合理的な取得に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	定量的な指標が設定され、効果発現経路を明確にしようと取り組まれているが、事業の目的を端的に表すものが設定できないか、定性的な指標の設定も含め検討いただきたい。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	要因分析の上、概算要求に反映させるように努める。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	米国（海軍省）	1,438,039	1	誘導弾の製造等		
		支出先名		支出額	法人番号		
		米国（海軍省）		1,438,039	999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		S M－6 の取得 国庫債務負担行為等		1,438,039	--	--	--
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目	使途	金額
	A	米国（海軍省）	S M－6 の取得		弾薬購入費	誘導弾の購入	1,438,039
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
	A	米国（海軍省）		14,884,682	999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		S M－6 その他(F M S)		14,884,682	--	--	--

その他備考

--

基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾の開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜					
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官					
基本情報	予算事業ID	007493	事業開始年度	2022		事業終了（予定）年度	2026
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	巡航ミサイルによる同時多数攻撃に対処するため、基地防空用地対空誘導弾の改善型として、同時多数目標対処能力の向上及び誘導弾コストの低減を図った基地防空用地対空誘導弾（改）を開発する。また、同誘導弾及び発射装置を活用し、陸上自衛隊の９３式近距離地対空誘導弾の後継として、機動・展開能力に優れた近距離地対空誘導弾を開発する。					
	現状・課題	我が国に対する従来の巡航ミサイル及び航空機による攻撃の他、周辺国の軍備拡張に伴う量的優位を利用した巡航ミサイルによる同時多数攻撃の可能性があるが、現有基地防空用地対空誘導弾では、これらの脅威に対し有効に対処できない。また現有の９３式近距離地対空誘導弾では戦闘爆撃機、攻撃ヘリコプターや大型の無人機等には対応可能であるものの、中型無人機、超低空巡航ミサイルなどの昨今の多様な経空脅威には有効に対処できない。					
	事業の概要	当該事業では、令和４年度から令和８年度にかけて、システム設計、基本設計、維持設計及び関連試験等を実施するとともにホーミング弾等を試作し、令和６年度から令和８年度に技術試験を実施し、開発を終了する予定である。					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL					
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html					
実施方法	直接実施						

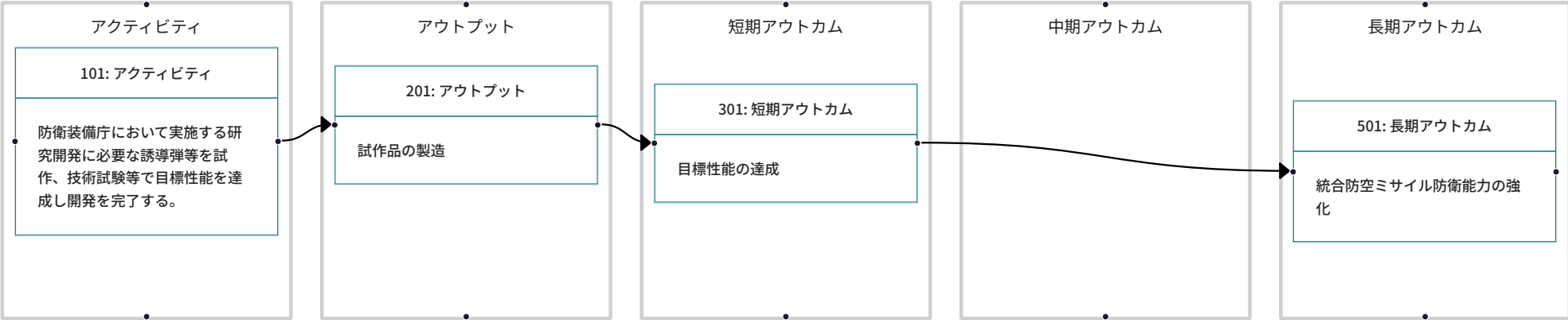
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026			
	要求額		--	6,435,000	5,376,219	3,676,176			
	当初予算		0	4,759,420	5,400,773	3,539,056			
	補正予算		--	--	--	--			
	前年度から繰越し		--	--	1,048,675	4,364,126			
	予備費等		--	△254,011	△1,200,000	--			
	計		0	4,505,409	5,249,448	7,903,182			
	執行額		--	3,317,503	1,865,933	--			
	執行率		--	73.6%	35.5%	--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考		
	一般会計	一般会計	--		--		--		
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額	
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		3,347,636	1,159,364	
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		2,053,137	2,516,812	
		前年度から繰越し --			--		1,048,675	--	
		予備費等4 --			--		△1,200,000	--	
	主な増減理由							歳出化の年割による減	その他特記事項

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



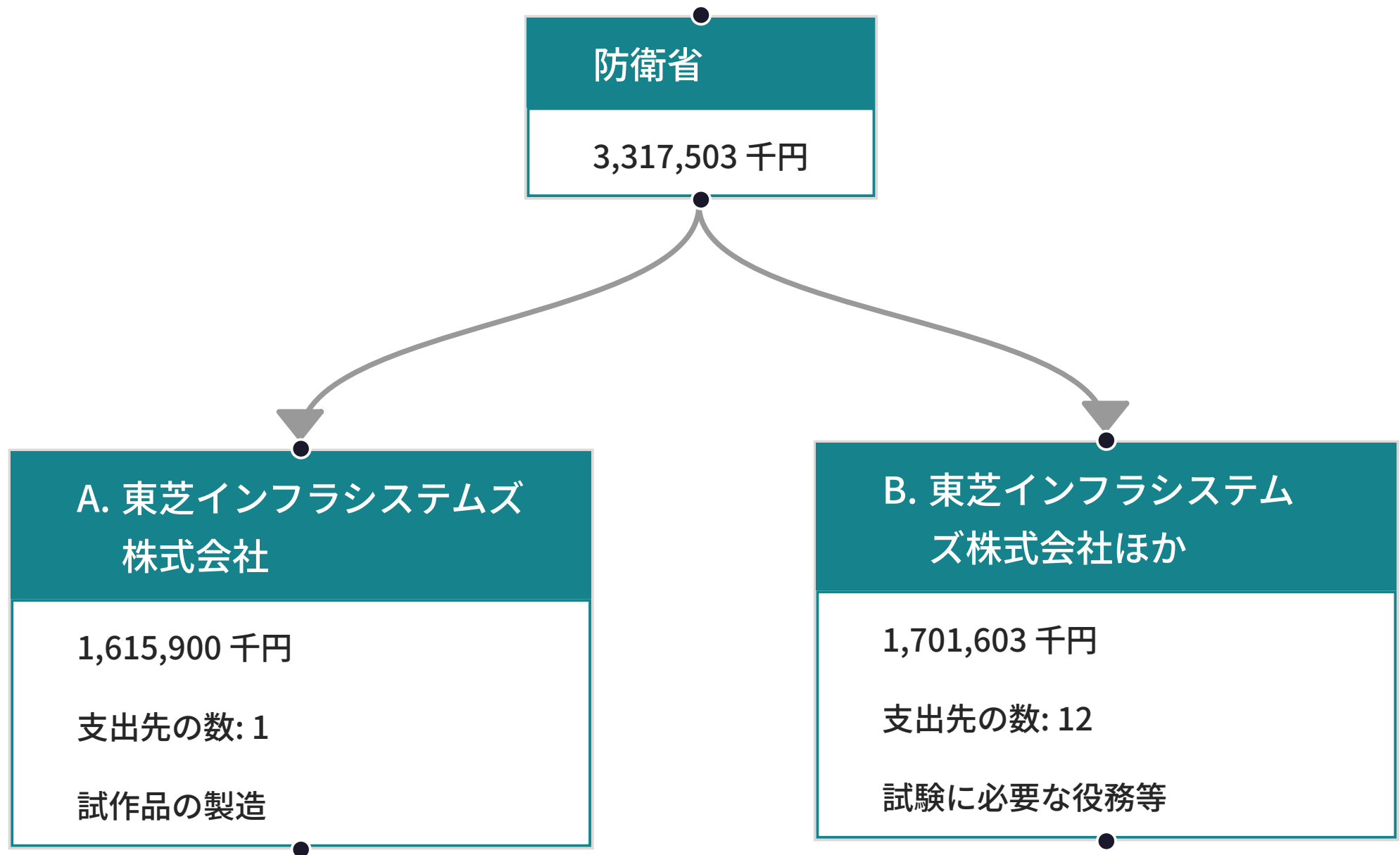
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	防衛装備庁において実施する研究開発に必要な誘導弾等を試作、技術試験等で目標性能を達成し開発を完了する。					
アウトプット	活動目標	試作品の製造		活動指標	試作請負の調達件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	1	0	1
	活動実績／成果実績(件)	0	0	1	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の製造により、目標性能の達成の見込みがあることから、短期アウトカムとして設定した。					
短期アウトカム	成果目標	目標性能の達成		成果指標	技術的課題の解明数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	1
	活動実績／成果実績(件)	0	0	0	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	目標性能を達成した試作品の完成が、統合防空ミサイル防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	統合防空ミサイル防衛能力の強化		成果指標	開発試作の完了数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	令和 7 年度業務計画	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	2
	活動実績／成果実績(件)	0	0	0	--	--
	達成率(%)	100	100	100	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【必要性】 近年、我が国の安全保障上、脅威となる諸外国の装備品の高性能化・多様化に伴い、我が国の誘導弾の性能向上は急務であり、そのニーズが防衛省に限られることから、防衛省が実施する必要がある。 【効率性】 民生品の活用、過去の技術的成果の活用等により、経費削減を図っている。			
	目標年度における効果測定に関する評価	--			
	改善の方向性	先行部内研究等の成果の活用、現有装備品の開発実績等の活用、シミュレーションの活用による試作品数の削減等による経費低減を図る。			
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--	
	対象の理由	--			
	所見	--			
	公開プロセス結果概要	--			
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	事業を実施する上での課題や、それを解決するアウトプットからアウトカムまで、事業活動の進捗に伴う成果を測定するための指標が概ね整備されている。 執行率が低調のため、要因を分析の上、必要に応じて執行状況を概算要求等に反映されたい。	
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り			
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)	
		--	--	--	
	詳細	事業の進捗を設定した指標に基づき測定し、事業効果に異変が生じた場合の改善につなげる。 執行率が低調な要因は、試験設備の故障による製品試験の中断に伴う事業計画の変更によるものである。変更に伴う未執行分については、次年度への繰越処置をすることとし、適切に概算要求等に反映している。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	区分	--	取りまとめ年度	--	
	取りまとめ内容				
	--				
	対応状況				
	--				
その他の指摘事項	--				



支出先上位者リスト
(単位：千円)

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
A	東芝インフラシステムズ株式会社	1,615,900	1	試作品の製造		
	支出先名	支出額	法人番号			
	東芝インフラシステムズ株式会社	1,615,900	2011101014084			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾（その1） 国庫債務負担行為等	1,615,900	--	--	--	
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
B	東芝インフラシステムズ株式会社ほか	1,701,603	12	試験に必要な役務等		
	支出先名	支出額	法人番号			
	東芝インフラシステムズ株式会社	1,205,687	2011101014084			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾の性能確認用試験器材（その2） 国庫債務負担行為等	650,385	--	--	--	
	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾の補足・追従試験データ取得等役務作業 随意契約（公募）	204,664	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。	
	性能確認用試験器材（その1） 国庫債務負担行為等	200,851	--	--	--	
	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾の性能確認用試験器材（その3） 随意契約（公募）	149,787	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。	
	支出先名	支出額	法人番号			
	川崎重工業株式会社	302,255	1140001005719			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由		
赤外線画像誘導評価装置（対空用） 国庫債務負担行為等		248,600	--	--	--	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地对空誘導弾の捕捉・追随試験に係る搭載確認役務 随意契約（公募）	53,655	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
支出先名		支出額	法人番号		
フジ・インバック株式会社		162,866	8020001003257		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
試験用模擬目標（１） 国庫債務負担行為等		92,400	--	--	--
試験用模擬目標（４） 国庫債務負担行為等		36,850	--	--	--
試験用模擬目標（３） 国庫債務負担行為等		24,200	--	--	--
試験用模擬目標（２） 国庫債務負担行為等		9,416	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社レンタルのニッケン		20,154	4010001032368		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
プレハブ等借上（一般器材含む） 一般競争契約（最低価格）		20,154	2	69.5	
支出先名		支出額	法人番号		
釧根開発株式会社		6,776	4462501000123		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
整地作業役務 一般競争契約（最低価格）		4,840	2	100	--
原状復旧作業役務 一般競争契約（最低価格）		1,936	2	100	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社プラスラボ		3,148	3030001136770		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	ジャンプスターター他５３品目 一般競争契約（最低価格）	3,148	2	82.3	--
支出先名		支出額	法人番号		
飯島産業株式会社		332	3010501028511		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ボールペン他１４品目 随意契約（少額）	332	3	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
東邦商工株式会社		176	3010001005333		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	紙ウエス他７品目 随意契約（少額）	176	2	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
ニッポンレンタカー北海道株式会社		116	1430001021109		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	車両借上（その１） 随意契約（少額）	65	1	--	--
	車両借上（その２） 随意契約（少額）	51	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
ニッポンレンタカー東海株式会社		75	2180001026685		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	車両借上（その３） 随意契約（少額）	41	1	--	--
	車両借上（その２） 随意契約（少額）	34	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
		その他	19	--			
			契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		その他 その他(随意契約（少額）ほか)	19	--	--	--	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額	
	A	東芝インフラシステムズ株式会社	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地对空誘導弾（その１）	試作品費	試作品の製造	1,615,900	
	B	東芝インフラシステムズ株式会社	基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地对空誘導弾の性能確認用試験器材（その２）	試験研究費	試験に使用する器材	650,385	

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	B	双日エアロスペース株式会社	296,890	9010401021742		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		対空射撃標的（３） 随意契約（公募）	229,900	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため
		対空射撃標的（１）補用品 随意契約（公募）	66,990	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	東芝インフラシステムズ株式会社	150,304	2011101014084		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		基地防空用地対空誘導弾（改）及び新近距離地対空誘導弾の性能確認試験のうち発射試験のための事前確認役務 随意契約（公募）	150,304	1	--	同種の他の契約の予定価格が類推されるおそれがあるため公表しない。
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	フジ・インバック株式会社	100,760	8020001003257		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		対空射撃標的（２） 随意契約（不落・不調）	100,760	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	住商エアロシステム株式会社	47,729	1010001020185		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		射弾審査装置（地上装置） 随意契約（公募）	47,729	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため

その他備考

--

将来の弾道ミサイル迎撃体制についての調査研究

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 内部部局 防衛政策局 戦略企画参事官 AMDサブチーム						
	作成責任者	高橋杉雄						
	その他担当組織	--						
基本情報	予算事業ID	007494	事業開始年度	事業開始年度不明		事業終了（予定）年度	終了予定なし	
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業			
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（Ⅱ）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	我が国の将来の弾道ミサイル防衛等（以下、「BMD」という。）システムの在り方を検討するため、防衛省と米国ミサイル防衛庁（以下、「MDA」という。）との間で締結された弾道ミサイル防衛に関する了解覚書（以下、「BMD－MOU」という。）に基づき実施するBMD日米共同分析及び我が国が独自に実施する分析に関して、民間企業の技術支援を受ける事業である。						
	現状・課題	近年、弾道ミサイル、巡航ミサイル等の能力向上に加えて、対艦弾道ミサイル、極超音速兵器等、経空脅威は多様化・複雑化・高度化しており、これに対応するためには探知・追尾能力や迎撃能力を抜本的に強化する必要がある。特に、極超音速兵器対処に関しては、技術的課題が多く、開発までには多くの時間と費用が必要であることから、日米両国は共同分析の必要性を共有し、２０２３年８月、GPI（Glide Phase Interceptor:滑空段階迎撃用誘導弾）の日米共同開発を決定した。GPIの導入に向け、日本防護に適したGPIの能力及び運用方法に関する分析業務を継続し、将来のBMDシステムの能力等を分析・評価できる体制を構築・維持する必要がある、このためには民間企業からの技術支援が必要不可欠である。						
	事業の概要	我が国の将来のBMDシステムの在り方検討に資するため、BMD－MOUに基づき、防衛省とMDAとの間で実施するGPI共同開発及びその運用に資する日米共同分析並びに我が国が独自に実施する分析により、将来のBMDシステムの能力等を分析・評価する。このため、分析に必要なモデリング&シミュレーションに関する技術支援を役務により調達する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日国家安全保障会議決定・閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			

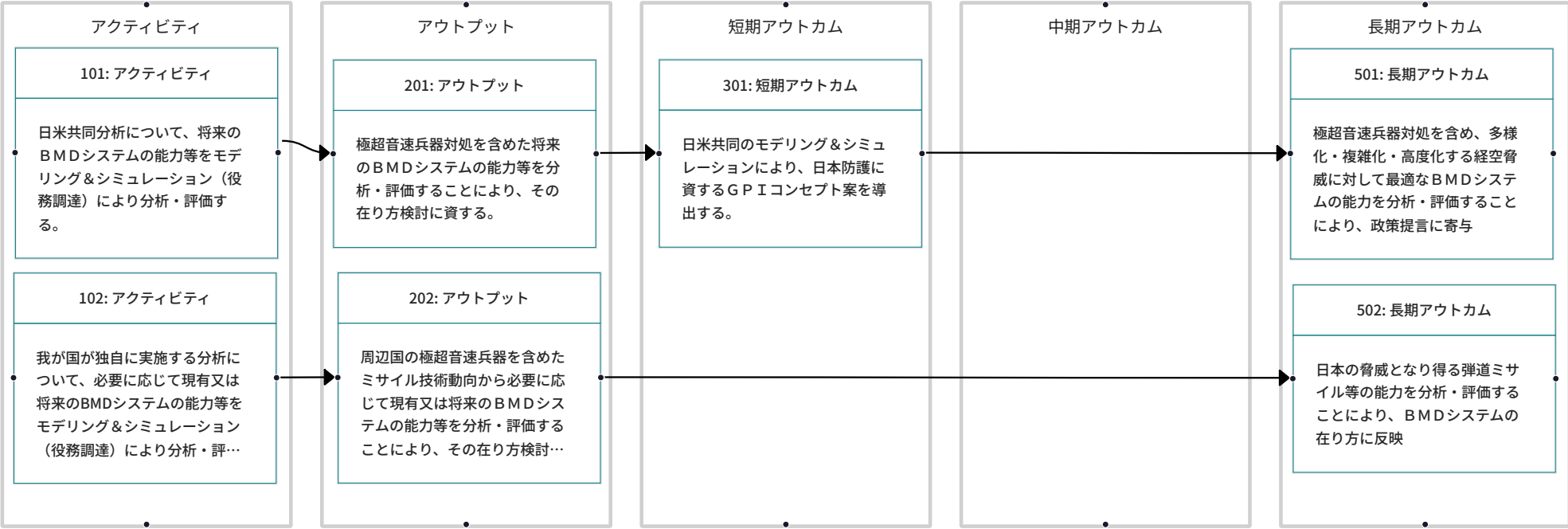
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	129,374	148,058	118,448		
	当初予算		95,500	122,627	148,286	116,779		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	△5,235	--	--		
	計		95,500	117,392	148,286	116,779		
	執行額		118,316	117,392	128,106	--		
	執行率		123.9%	100%	86.4%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛力基盤強化推進費 / 装備品取得等業務効率化推進庁費			--		148,286	118,448
主な増減理由	日米両国による極超音速兵器対処に資する共同分析を促進するため、令和7年度におけるモデリング＆シミュレーションに使用する電子計算機の取得事業が当年度限りのため。				その他特記事項		2023年度以前の執行額については、事業間における当初予算の組替を行っているため、執行率が100%を超過している。	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	日米共同分析について、将来のBMDシステムの能力等をモデリング&シミュレーション（役務調達）により分析・評価する。				
アウトプット	活動目標	極超音速兵器対処を含めた将来のBMDシステムの能力等を分析・評価することにより、その在り方検討に資する。		活動指標	調査委託件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	共同分析内容に関する日米協議による。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	1	1	1	1
	活動実績／成果実績(件)	1	1	1	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	BMDシステムの在り方検討に資するため、GPIの性能について日米共同により継続して分析する。				
短期アウトカム	成果目標	日米共同のモデリング&シミュレーションにより、日本防護に資するGPIコンセプト案を導出する。		成果指標	日米共同のモデリング&シミュレーションによる防護率を導出
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	共同分析内容に関する日米協議による。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(件)	1	1	1	
	活動実績／成果実績(件)	1	1	--	
	達成率(%)	100	100	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	日米共同のモデリング&シミュレーションにより継続して導出したGPIモデルをもって日米共同開発に関する政策提言への資を得る。				

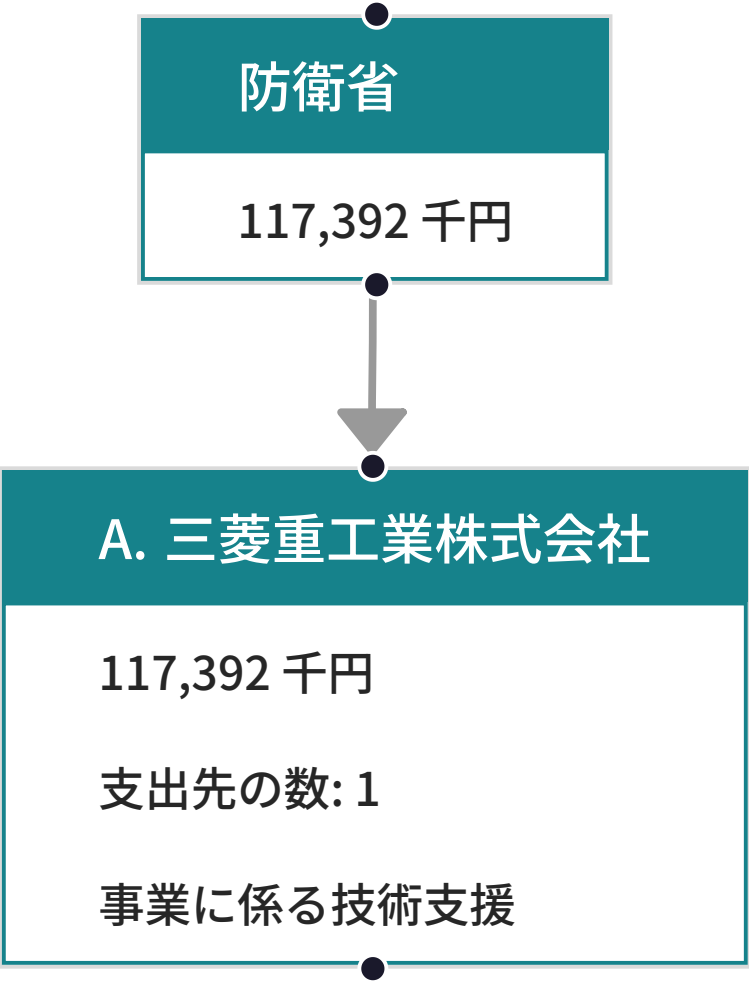
長期アウトカム	成果目標	極超音速兵器対処を含め、多様化・複雑化・高度化する経空脅威に対して最適なBMDシステムの能力を分析・評価することにより、政策提言に寄与		成果指標	導出したコンセプト等の政策への反映・寄与
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	共同分析内容に関する日米協議による。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		1	1	1
	活動実績／成果実績(件)		1	1	--
	達成率(%)		100	100	--

アクティビティからの発現経路 102-202-502

アクティビティ	我が国が独自に実施する分析について、必要に応じて現有又は将来のBMDシステムの能力等をモデリング&シミュレーション（役務調達）により分析・評価する。				
アウトプット	活動目標	周辺国の極超音速兵器を含めたミサイル技術動向から必要に応じて現有又は将来のBMDシステムの能力等を分析・評価することにより、その在り方検討に資する。		活動指標	調査委託件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	技術動向調査による。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	周辺国のミサイル技術に関する特異な兆候があった場合に、必要に応じて実施するものであるため。
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	1	1	1	1
	活動実績／成果実績(件)	1	1	1	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	周辺国の極超音速兵器等のミサイル技術動向において、新しい技術が使用された兆候等があった場合に必要に応じて我が国のBMDシステムの対処能力を分析する。				
長期アウトカム	成果目標	日本の脅威となり得る弾道ミサイル等の能力を分析・評価することにより、BMDシステムの在り方に反映		成果指標	BMDシステムによる対処性等を検討
	定性的なアウトカムに関する成果実績	対象国が保有する弾道ミサイルに対する我が国の対処能力を分析・評価		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	技術動向調査による。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	BMDシステムの在り方を案出するものであるため。		アウトカムを複数段階で設定できない理由	周辺国のミサイル技術に関する特異な兆候があった場合に、必要に応じて実施するものであるため。
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	昨年、経空脅威に対する対処能力向上に資するG P Iの共同開発を開始した。H G V対処は今後も重要な課題であり、これに対応するためのシミュレーションは重要であるため、今後も当面の間、本事業の有効性・必要性は高い。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	役務業者の持つモデリング＆シミュレーション能力を最大限に活用するため、作業所要を把握し、具体的に指示して進捗を適宜確認しつつ、作業リソースの適切な管理に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2023
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	複数の活動と指標が設定され、効果発現経路がわかりやすく記載されている。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	点検・所見に従い、本事業を継続し、必要な研究を行い対処能力向上に寄与する。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社	117,392	1	事業に係る技術支援		
		支出先名		支出額	法人番号		
		三菱重工業株式会社		117,392	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		将来の弾道ミサイル迎撃体制について調査研究 随意契約（公募）		117,392	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため。
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目	使途	金額
	A	三菱重工業株式会社	将来の弾道ミサイル迎撃体制について調査研究		雑役務費	将来の弾道ミサイル迎撃体制に係る調査研究	117,392
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型の開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）						
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜						
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官						
基本情報	予算事業ID	007546	事業開始年度	2023		事業終了（予定）年度	2027	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	防衛力整備計画において、自衛隊の能力等に関する主要事業のひとつとして統合防空ミサイル防衛能力が挙げられている。本事業は、０３式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型を開発することにより、統合防空ミサイル防衛能力の強化に寄与することを目的とする。						
	現状・課題	我が国の周辺には、弾道ミサイル（以下「ＢＭ」という。）の保有数増加による量的優位を利用した攻撃、或いは、新型短距離弾道ミサイル（以下「新型ＳＲＢＭ」という。）や極超音速兵器（以下「ＨＧＶ」という。）の開発により我のミサイル防衛網の突破を企図していると考えられる国が存在する。 これらの国の企図を破碎し、我が国を防護するために必要な能力を早期に獲得するためには、現有装備品である中ＳＡＭ（改）をベースとした次期中距離地对空誘導弾の開発が必要である。						
	事業の概要	高射特科部隊に装備し、極超音速滑空兵器、各種ミサイル等の経空脅威を撃墜して部隊、施設、政経中枢等を掩護するために使用する新たな装備品を、０３式中距離地对空誘導弾（改善型）（以下「中ＳＡＭ（改）」という。）をベースとして開発する。						
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/approach/hyouka/seisaku/2022/pdf/jizen_12_logic.pdf						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四

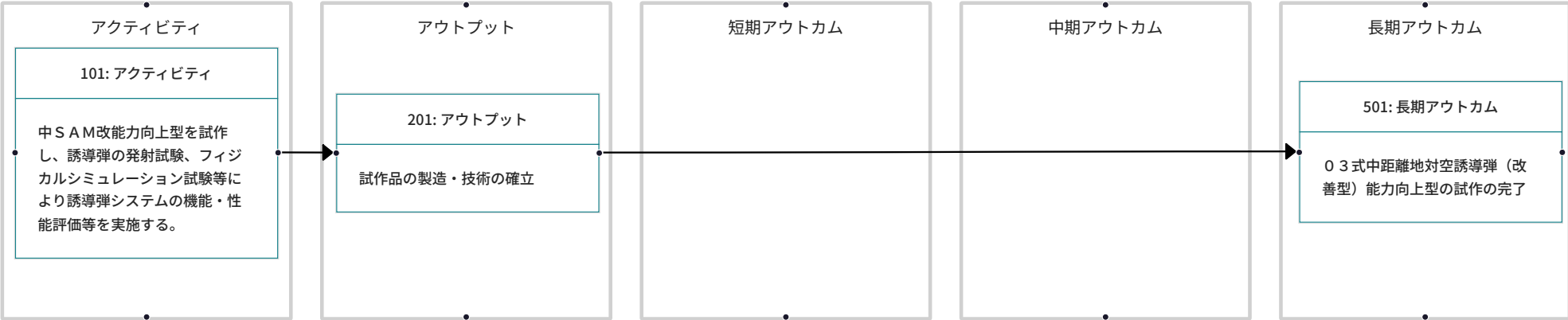
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定及び閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	8,242,000	11,607,872	41,390,574
	当初予算		12,305,000	8,362,198	17,712,979	40,999,767
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--
	計		12,305,000	8,362,198	17,712,979	40,999,767
	執行額		12,229,582	8,362,197	16,758,762	--
	執行率		99.4%	100%	94.6%	--
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額		備考
	一般会計	一般会計	--	--		--
		予算種別/歳出予算項目		備考		予算額 翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費		--		17,712,979 17,033,237
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費		--		-- 24,357,337
主な増減理由		試験内容が異なるため		その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



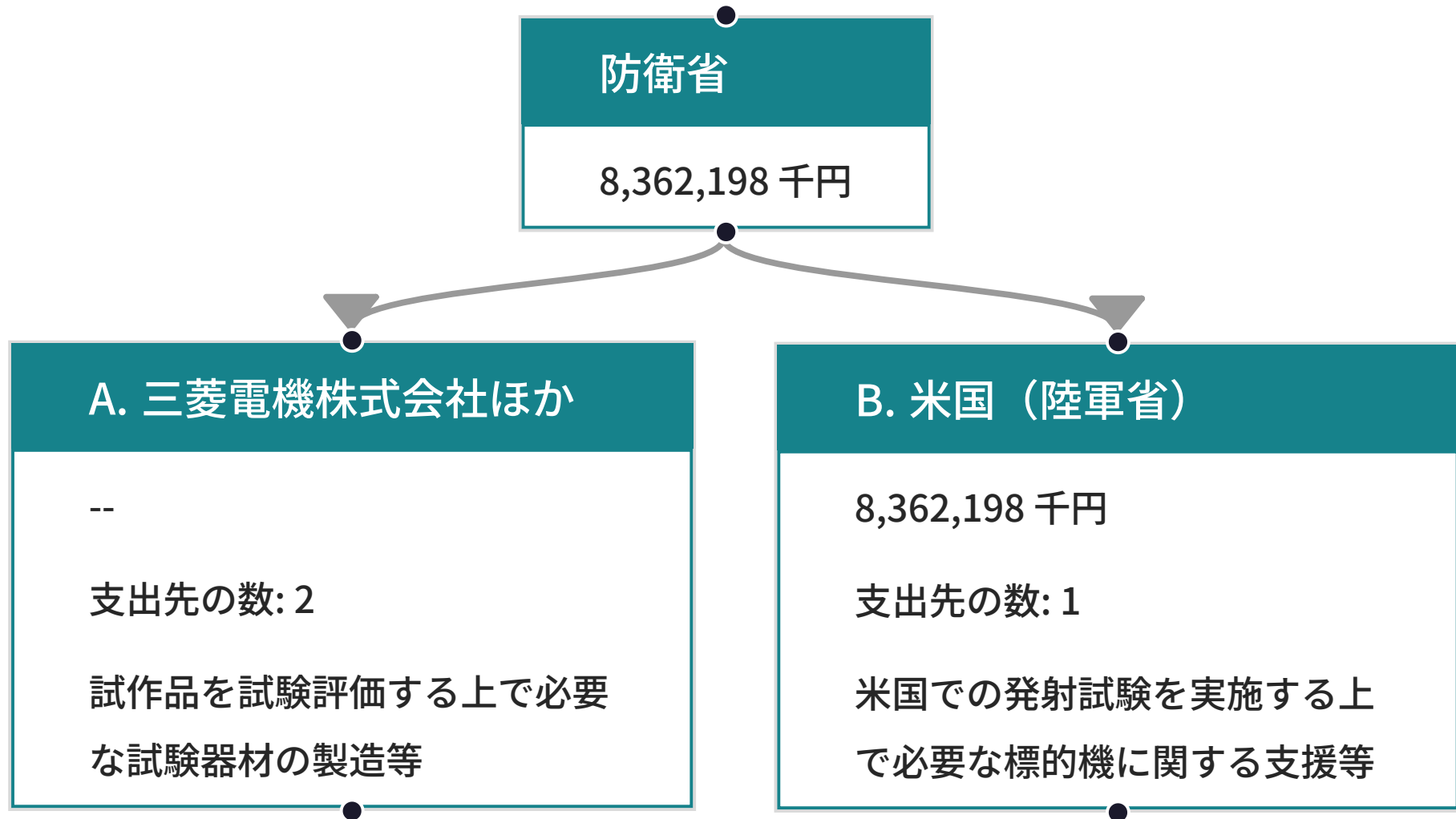
アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	中 S A M改能力向上型を試作し、誘導弾の発射試験、フィジカルシミュレーション試験等により誘導弾システムの機能・性能評価等を実施する。					
アウトプット	活動目標	試作品の製造・技術の確立		活動指標	試作請負の調達件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2023年度	2024年度	2025年度	
	当初見込み／目標値(件)		1	--	--	
	活動実績／成果実績(件)		1	--	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の製造・技術の確立が、直接統合防空ミサイル防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。					
長期アウトカム	成果目標	0 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上型の試作の完了		成果指標	開発試作の完了数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティである中 S A M改能力向上型の試作の完了が、長期アウトカムの成果目標である統合防空ミサイル防衛能力の強化に直接結びつくため。	
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(件)		--	--	--	1
	活動実績／成果実績(件)		--	--	--	--
	達成率(%)		--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【必要性】 我が国の周辺には、弾道ミサイル（以下「BM」という。）の保有数増加による量的優勢を利用した攻撃、あるいは、極超音速滑空兵器（以下「HGV」という。）及び新型短距離弾道ミサイル（以下「新型SRBM」という。）の開発により未シアル防衛網の突破を企図していると考えられる国が存在することから、我が国を防護するために本事業が必要である。 【有効性】 広範囲の全国に点在する重要施設に対するHGV等の脅威に対し、対処可能となる。 【効率性】 現有装備品の開発成果等の活用、量産装備品の一部官給等により開発経費を抑制している。 【総合評価】 効率的な予算執行に努めつつ、事業進捗を適切に管理し、問題なく進捗している。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き効率的な予算執行に努めつつ、事業進捗を適切に管理する。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。特に、2024年度外部有識者点検で指摘のあった、当該調達によって製造・技術の確立に向けて何が達成できたのか評価する成果目標及び指標の設定についても検討されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するよう努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A	三菱電機株式会社ほか	--	2	試作品を試験評価する上で必要な試験器材の製造等			
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B	米国（陸軍省）	8,362,198	1	米国での発射試験を実施する上で必要な標的機に関する支援等			
		支出先名	支出額	法人番号				
		米国（陸軍省）	8,362,198	99999999999999				
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由		
		03式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上の米国発射試験実施に要する標的機等調達支援（標的機） 随意契約（その他）（FMS）	8,362,198	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途			金額
	B	米国（陸軍省）	03式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上の米国発射試験実施に要する標的機等調達支援（標的機）	試験研究費	米国発射試験に必要な標的機調達等			8,362,198

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	B	米国（陸軍省）	10,407,760,942	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		O 3 式中距離地对空誘導弾（改善型）能力向上の標的機調達支援 随意契約（その他）(FMS)	10,407,760,942	1	100	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（M D A）協定）
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱電機株式会社	2,340,580	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		中 S A M（改）能力向上の性能確認試験用機材（その1） 随意契約（公募）	2,340,580	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため。
		契約先名	契約額	法人番号		
	A	双日エアロスペース株式会社	151,800	9010401021742		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		中 S A M（改）能力向上の性能確認試験用器材（標的機） 随意契約（公募）	151,800	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため。

その他備考

--

移動式警戒管制レーダー装置の整備

基本情報

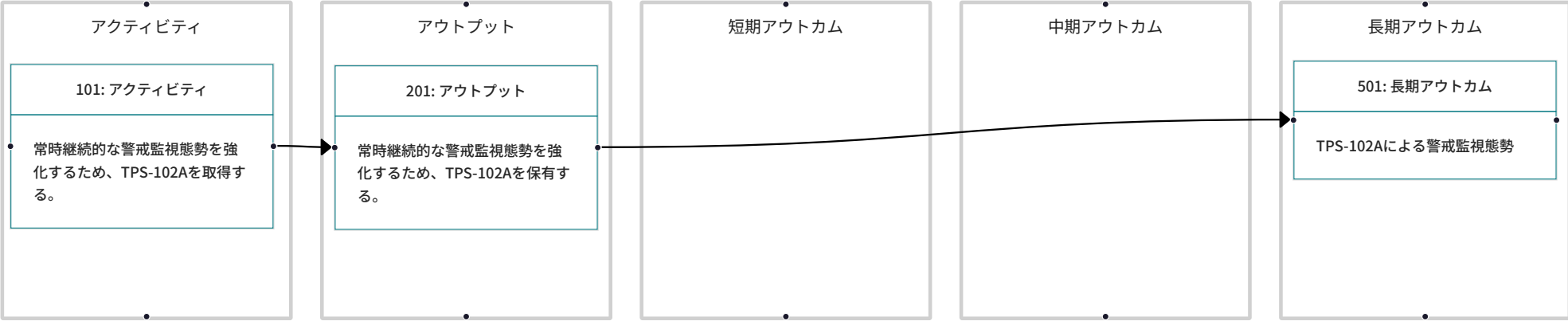
組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（宇宙・地上装備担当）						
	作成責任者	菊田逸平 加藤雄一						
	その他担当組織	防衛省 航空幕僚監部 防衛部 事業計画第 1 課						
基本情報	予算事業ID	007547	事業開始年度	2023		事業終了（予定）年度	2026	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I－1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（2）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--				主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	常時継続的な警戒監視態勢を強化するため、移動式警戒管制レーダーを整備する。						
	現状・課題	我が国を取り巻く安全保障環境が格段に速いスピードで厳しさと不確実性を増す中、警戒監視態勢の強化を図ることは喫緊の課題であり、移動式警戒管制レーダーを展開することで、隙のない警戒監視態勢を保持する必要がある。						
	事業の概要	常時継続的な警戒監視態勢を強化するため、TPS-102Aを取得する。						
	事業概要URL	--						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	防衛力整備計画（令和 4 年 1 2 月 1 6 日 国家安全保障会議決定 閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							
補助率等	補助対象			補助率	補助上限等		補助率URL	
	--			--	--		--	
備考	--							

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	384,000	3,035,291	7,946,249		
	当初予算		0	384,120	3,802,651	9,969,960		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	499,560	0	--		
	計		0	883,680	3,802,651	9,969,960		
	執行額		--	883,440	3,802,651	--		
	執行率		--	100%	100%	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 武器車両等整備費 / 通信機器購入費			--		3,802,651	7,946,249
		予備費等1			--		0	--
		--						
主な増減理由	購入構成品の違い			その他特記事項		--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



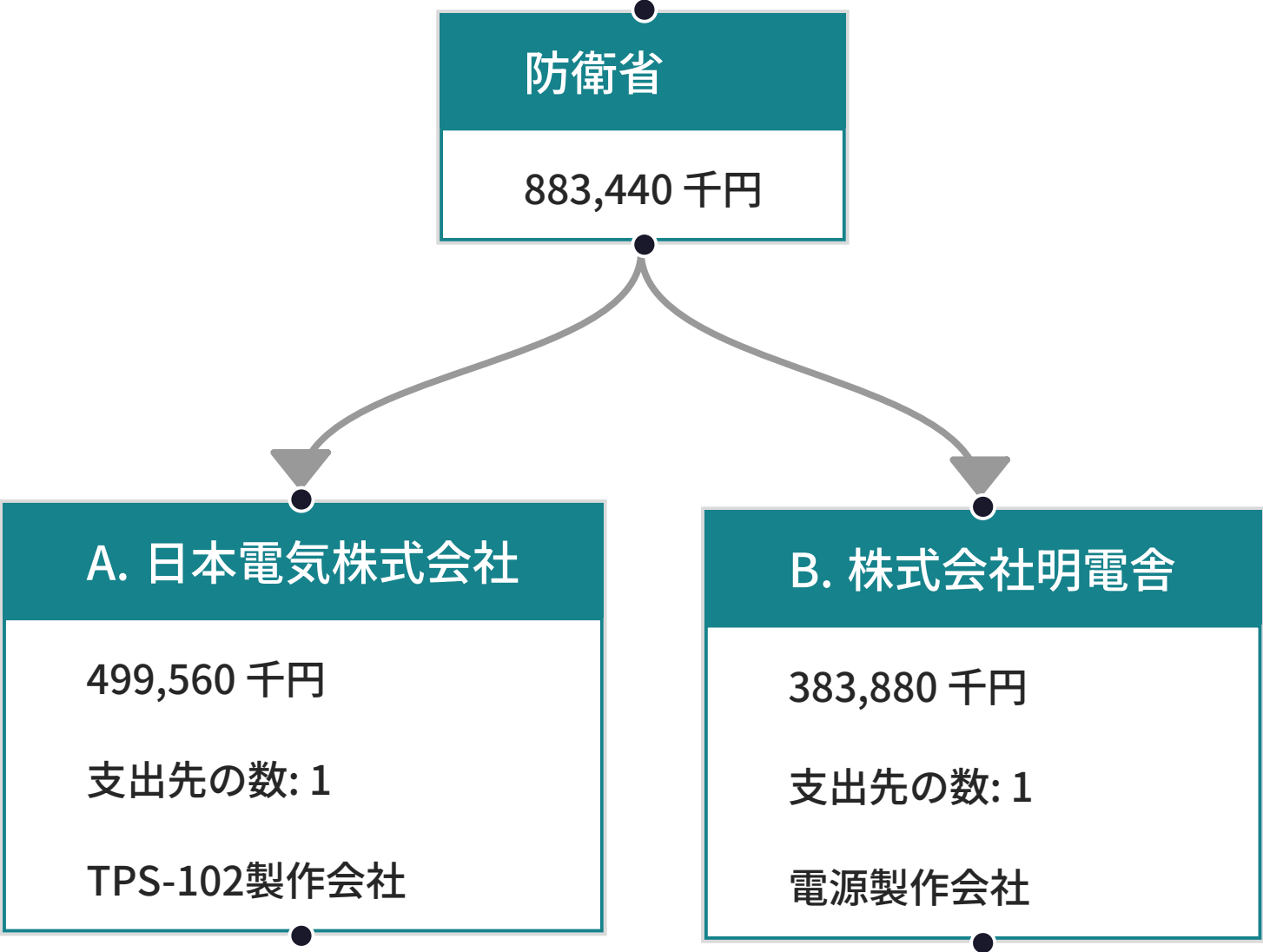
アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	常時継続的な警戒監視態勢を強化するため、TPS-102Aを取得する。					
アウトプット	活動目標	常時継続的な警戒監視態勢を強化するため、TPS-102Aを保有する。		活動指標	TPS-102Aの取得数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	装備品の購入であり、装備品の数を揃えることで警戒監視態勢の強化が可能になるため	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(式)	0	0	0	0	4
	活動実績／成果実績(式)	0	0	0	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	TPS-102Aを保有することにより、常時継続的な監視態勢の強化に資するため成果目標に設定					
長期アウトカム	成果目標	TPS-102Aによる警戒監視態勢		成果指標	TPS-102Aを用いて警戒監視態勢を 2 4 時間確保した日数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	アクティビティであるTPS-102Aの取得が、最終目標である常時継続的な警戒監視態勢の強化に直接結びつくため。	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	最終目標年度 2026年度
	当初見込み／目標値(日)	--	0	0	0	365
	活動実績／成果実績(日)	--	0	0	--	--
	達成率(%)	--	100	100	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 我が国の常統的な警戒監視能力を向上させるため、警戒監視機能強化を適切に実施するために必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性 事業の内容及び特性に応じ、事業内容の合理化及び要求の精査等、合理性及び効率性の向上に努めている。 3．有効性 脅威のすう勢を踏まえて装備品取得を行うことにより、我が国の防衛に有効に寄与する。 4．総合評価 航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な装備品の取得において、効率化及び有効性を確保しつつ、適正に計画されている。				
	目標年度における効果測定に関する評価	令和８年度に４式納入				
	改善の方向性	本事業について、目標を達成できるよう、適切な予算要求及び執行に努める。				
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024		
	対象の理由	--				
	所見	--				
	公開プロセス結果概要	--				
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。 装備品の特性として、一定数の随意契約は発生するが、一般競争入札については、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。		
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り				
	反映額	会計	勘定		反映額 (千円)	
		--	--		--	
	詳細	成果目標及び指標の設定について、必要な部品等を購入／取得／整備する事業の性質上、年度や目標値の設定は困難である。 競争性確保に向けた取組みを強化する。				
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--					

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A	日本電気株式会社		499,560	1	TPS-102製作会社		
		支出先名		支出額	法人番号			
		日本電気株式会社		499,560	7010401022916			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		移動式警戒管制レーダー装置の構成品取得 一般競争契約（最低価格）		499,560	1	--	移動式警戒管制レーダー	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B	株式会社明電舎		383,880	1	電源製作会社		
		支出先名		支出額	法人番号			
		株式会社明電舎		383,880	4010701009640			
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		発動発電機 7 5 k W（監視装置用電源装置）の製造請負 一般競争契約（最低価格）		383,880	1	--	予定価格を推察される恐れがあるため落札率を非公開とした。	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目	使途	金額	
	A	日本電気株式会社	移動式警戒管制レーダー装置の構成品取得		通信機器購入費	TPS-102構成品の取得	499,560	
	B	株式会社明電舎	発動発電機 7 5 k W（監視装置用電源装置）の製造請負		通信機器購入費	発電機の購入	383,880	

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	日本電気株式会社	13,735,150	7010401022916		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		TPS-102の製造請負契約 一般競争契約（最低価格）	9,114,600	1	--	装備品の技術的知見を有する製造会社でなければ契約履行が難しいため一者となった。入札期間を長めにとるなど、入札業者が増えるように引き続き努める／予定価格を推察される恐れがあるため落札率を非公開とした。
		TPS-102の製造請負契約 一般競争契約（最低価格）	4,620,550	1	--	装備品の技術的知見を有する製造会社でなければ契約履行が難しいため一者となった。入札期間を長めにとるなど、入札業者が増えるように引き続き努める／予定価格を推察される恐れがあるため落札率を非公開とした。
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	株式会社明電舎	2,006,400	4010701009640		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		発動発電機 7 5 k W（監視装置用電源装置）製造請負契約 一般競争契約（最低価格）	2,006,400	1	--	装備品の技術的知見を有する製造会社でなければ契約履行が難しいため一者となった。入札期間を長めにとるなど、入札業者が増えるように引き続き努める／予定価格を推察される恐れがあるため落札率を非公開とした。

その他備考

--

固定式警戒管制レーダー装置（FPS-7）への機能付加

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）						
	作成責任者	米倉和也 加藤雄一						
	その他担当組織	--						
基本情報	予算事業ID	007548	事業開始年度	2023		事業終了（予定）年度	2030	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--				主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を向上するため、FPS-7を改修し、警戒監視態勢を強化する。						
	現状・課題	周辺国は、太平洋や日本海において軍事活動を拡大・活発化させており、特に、極超音速ミサイルを含めたミサイルの脅威は年々高まっている。かかる状況から、極超音速ミサイルを探知し、着弾予想地点まで追尾するためには、既存の警戒管制レーダーの探知・追尾能力では不十分である。よって、FPS-7を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を向上することにより、警戒監視態勢を強化する必要がある。						
	事業の概要	FPS-7を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を強化するための機能付加を実施する。						
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定 閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							
補助率等	補助対象				補助率	補助上限等		補助率URL
	--				--	--		--

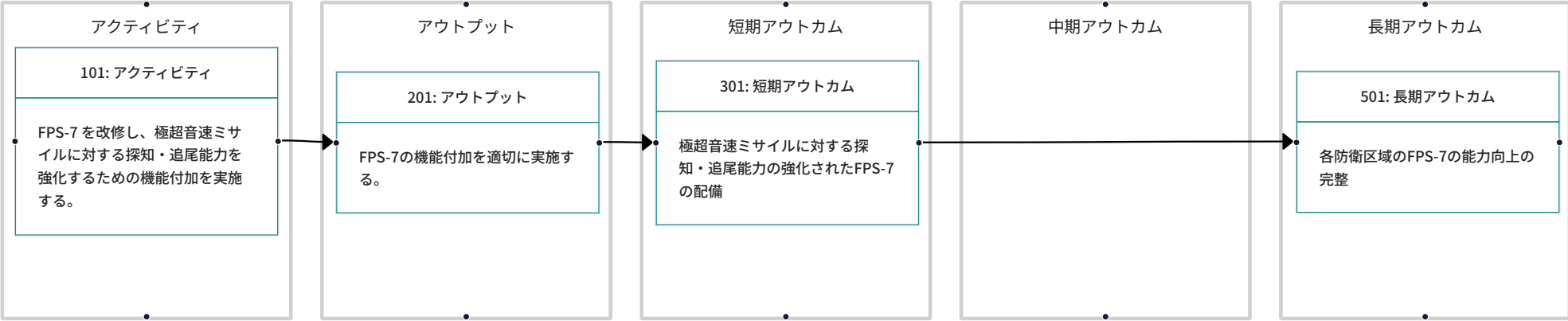
備考	--
----	----

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	0	0	0		
	当初予算		0	0	--	0		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	--	--	--		
	計		0	0	--	0		
	執行額		--	--	--	--		
	執行率		--	--	--	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 --			--		--	0
主な増減理由	当年度の支出はない。				その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



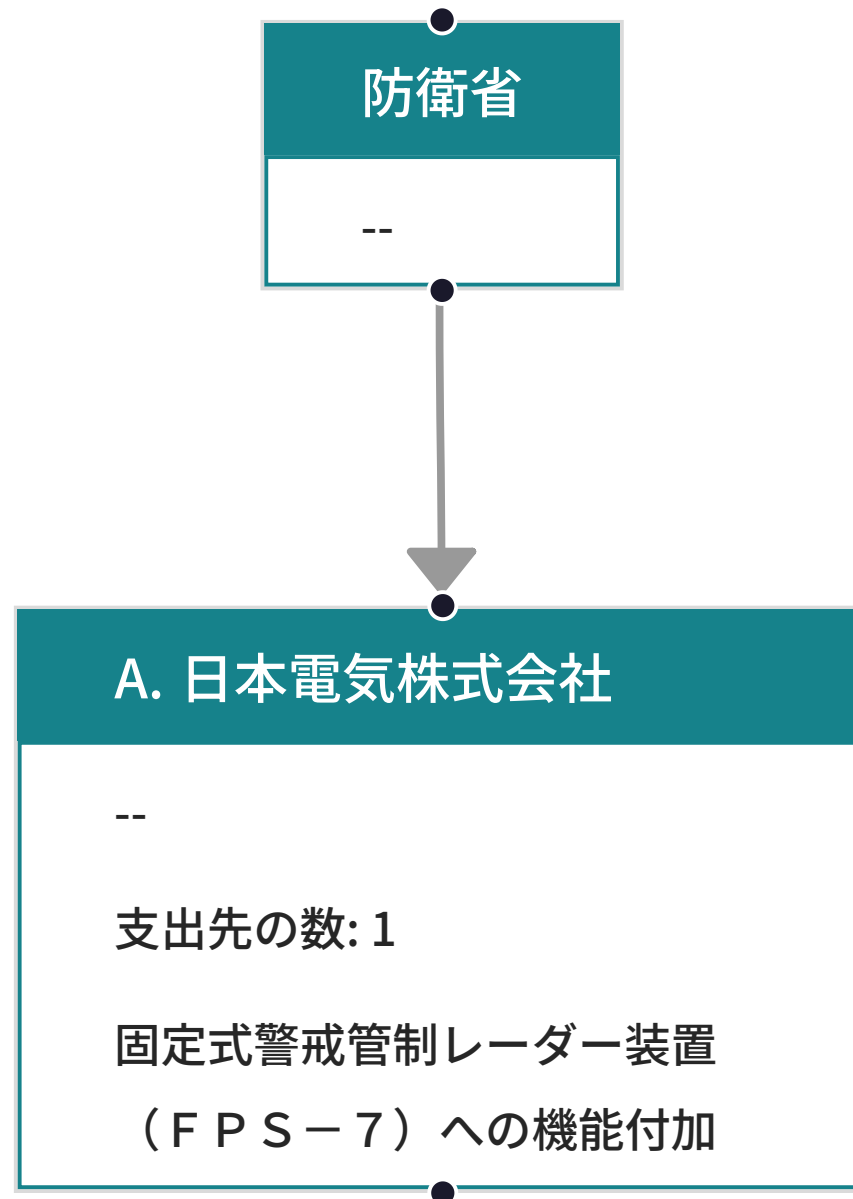
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ		FPS-7を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を強化するための機能付加を実施する。														
アウトプット	活動目標	FPS-7の機能付加を適切に実施する。				活動指標	FPS-7の機能付加にかかる事業数									
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）									
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--									
活動・成果目標と実績			2022年度		2023年度		2024年度		2025年度							
	当初見込み／目標値(事業)		0		1		1		1							
	活動実績／成果実績(事業)		0		1		1		--							
↓ 後続アウトカムへのつながり	FPS-7の機能付加に資する事業を実施することにより、各基地に配備されたFPS-7の探知・追尾能力を強化する。															
短期アウトカム	成果目標	極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力の強化されたFPS-7の配備				成果指標	極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力の強化されたFPS-7の配備基地数									
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）									
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--									
活動・成果目標と実績			2024年度		2025年度		2026年度		2027年度		2028年度		2029年度		目標年度 2030年度	
	当初見込み／目標値(基地)		0		--		--		--		--		--		6	
	活動実績／成果実績(基地)		0		--		--		--		--		--		--	
	達成率(%)		100		--		--		--		--		--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	各基地に配備されたFPS-7の探知・追尾能力を強化することにより、防衛区域のFPS-7についての警戒監視能力が完整する。															

長期アウトカム	成果目標		各防衛区域のFPS-7の能力向上の完整			成果指標		FPS-7の能力向上が完整した防衛区域数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績		--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）		国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由		--			アウトカムを複数段階で設定できない理由		--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	最終目標年度 2030年度	
	当初見込み／目標値(区域)	0	--	--	--	--	--	3	
	活動実績／成果実績(区域)	0	--	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	100	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--							
	URL	--							
	該当箇所	--							

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 我が国の極超音速ミサイルの警戒監視能力を向上させるため、警戒監視機能強化を適切に実施するために必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性 事業の内容及び特性に応じ、事業内容の合理化及び要求の精査等、合理性及び効率性の向上に努めている。 3．有効性 脅威のすう勢を踏まえて装備品の能力向上を行うことにより、我が国の防衛に有効に寄与する。 4．総合評価 航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な装備品の取得において、効率化及び有効性を確保しつつ、適正に計画されている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	本事業について、目標を達成できるよう、適切な予算要求及び執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	承知した。引き続き成果目標及び指標の設定に努める。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 日本電気株式会社			--	1	固定式警戒管制レーダー装置（FPS-7）への機能付加	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

固定式警戒管制レーダー装置（FPS-5）への機能付加

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省						
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）						
	作成責任者	米倉和也 加藤雄一						
	その他担当組織	--						
基本情報	予算事業ID	007549	事業開始年度	2023		事業終了（予定）年度	2030	
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－Ⅰ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（Ⅱ）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を向上するため、FPS-5を改修し、警戒監視態勢を強化する。						
	現状・課題	周辺国は、太平洋や日本海において軍事活動を拡大・活発化させており、特に、極超音速ミサイルを含めたミサイルの脅威は年々高まっている。かかる状況から、極超音速ミサイルを探知し、着弾予想地点まで追尾するためには、既存の警戒管制レーダーの探知・追尾能力では不十分である。よって、FPS-5を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を向上することにより、警戒監視態勢を強化する必要がある。						
	事業の概要	FPS-5を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を強化するための機能付加を実施する。						
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/bmd/index.html						
根拠法令	法令名				法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定 閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施							
補助率等	補助対象				補助率	補助上限等		補助率URL
	--				--	--		--

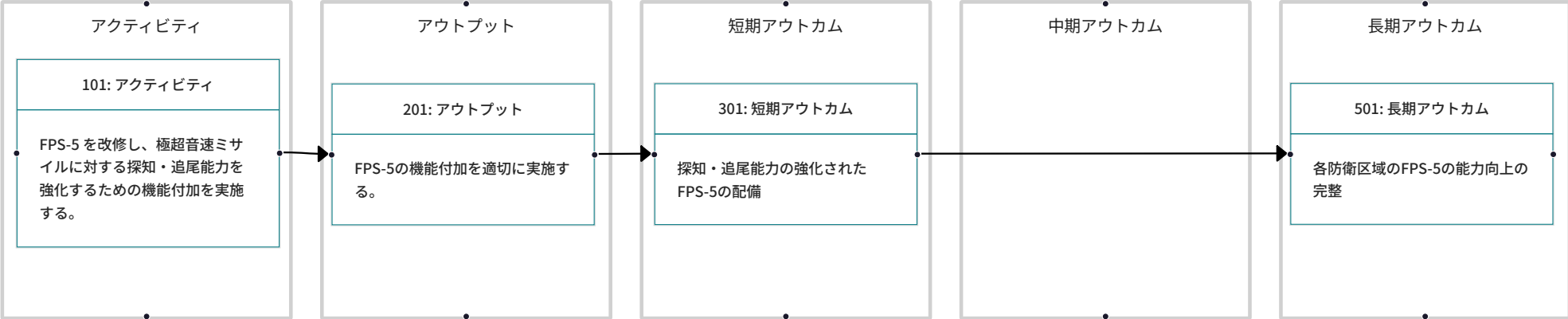
備考	--
----	----

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	0	0	0		
	当初予算		0	0	--	0		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	--	--	--		
	計		0	0	--	0		
	執行額		--	--	--	--		
	執行率		--	--	--	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 --			--		--	0
主な増減理由	当年度の支出はない。				その他特記事項	--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

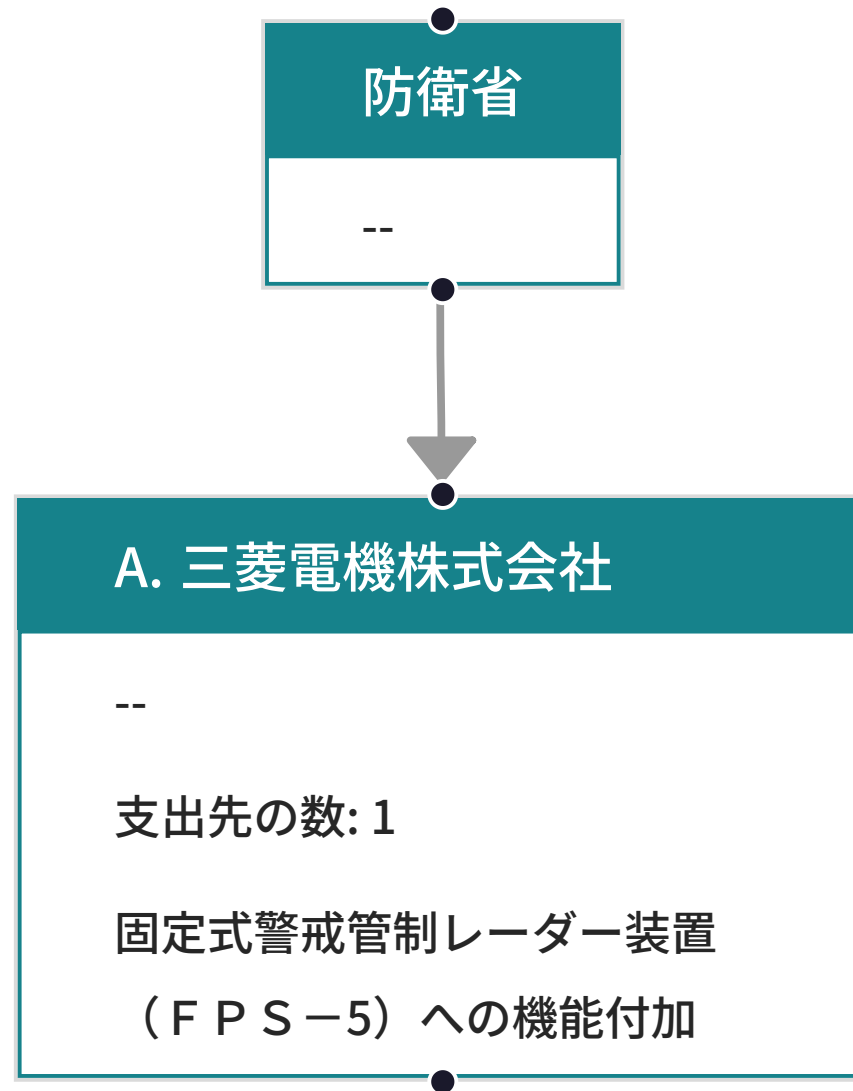
アクティビティ	FPS-5 を改修し、極超音速ミサイルに対する探知・追尾能力を強化するための機能付加を実施する。									
アウトプット	活動目標	FPS-5の機能付加を適切に実施する。			活動指標	FPS-5の機能付加にかかる事業数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	当初見込み／目標値(事業)	0		1		1		1		
	活動実績／成果実績(事業)	0		1		1		--		
↓ 後続アウトカムへのつながり	各基地に配備されたFPS-5の探知・追尾能力を強化することにより、防衛区域のFPS-5についての警戒監視能力が完整する。									
短期アウトカム	成果目標	探知・追尾能力の強化されたFPS-5の配備			成果指標	探知・追尾能力の強化されたFPS-5の配備基地数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度		目標年度 2026年度				
	当初見込み／目標値(基地)	0		0		4				
	活動実績／成果実績(基地)	0		--		--				
	達成率(%)	100		--		--				
↓ 後続アウトカムへのつながり	FPS-5の機能付加に資する事業を実施することにより、各基地に配備されたFPS-5の探知・追尾能力を強化する。									
長期アウトカム	成果目標	各防衛区域のFPS-5の能力向上の完整			成果指標	FPS-5の能力向上が完整した防衛区域数				
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定・閣議決定）				
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--				

活動・成果目標 と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目 標値(区域数)	--	--	--	--	--	--	--	4
	活動実績／成果 実績(区域数)	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--							
	URL	--							
	該当箇所	--							

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1．必要性 我が国の極超音速ミサイルの警戒監視能力を向上させるため、警戒監視機能強化を適切に実施するために必要な経費であり、防衛省が実施することが適切である。 2．効率性 事業の内容及び特性に応じ、事業内容の合理化及び要求の精査等、合理性及び効率性の向上に努めている。 3．有効性 脅威のすう勢を踏まえて装備品の能力向上を行うことにより、我が国の防衛に有効に寄与する。 4．総合評価 航空自衛隊の任務遂行に係る能力及び態勢に必要な装備品の取得において、効率化及び有効性を確保しつつ、適正に計画されている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	本事業について、目標を達成できるよう、適切な予算要求及び執行に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	承知した。引き続き成果目標及び指標の設定に努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	指摘を受けた調査等の名称	書面点検	指摘年度	2024
	指摘内容			
	「活動・成果目標」においては「FPS-5の機能付加にかかる事業数1」との記載があるが、予算額が0円となっている。目標としての配備基地数や防衛区域数についても未記載であり、どのような機能強化を目指しているのか本表からは不明である。			
	対応状況			
	現時点で執行額はないことを説明し、目標配備基地数等を記入した。			
	指摘を受けた調査等の名称	--	指摘年度	--
	指摘内容			
	--			
	対応状況			
	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 三菱電機株式会社			--	1	固定式警戒管制レーダー装置（FPS-5）への機能付加	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--

G P Iの日米共同開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 高橋杉雄					
	その他担当組織	防衛省 内部部局 防衛政策局 戦略企画参事官					
基本情報	予算事業ID	007584	事業開始年度	2024		事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025			事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅱ－５ 日米同盟による共同抑止・対処（日米同盟の強化）			（１）日米防衛協力の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--				主要経費	防衛関係費	
概要・目的	事業の目的	極超音速兵器を滑空段階で迎撃する誘導弾である G P I ※を日米共同開発することにより、極超音速兵器に対する迎撃能力の早期向上による我が国の統合防空ミサイル防衛能力の抜本的な強化、国内防衛産業の技術力向上、日米同盟の更なる深化や抑止力及び対処能力の向上に寄与する。					
		※Glide Phase Interceptor					
	現状・課題	近年、我が国周辺では極超音速兵器等のミサイル関連技術が飛躍的に向上し、質及び量ともに著しく強化される中、これらに対する迎撃能力の強化が喫緊の課題となっている。					
	事業の概要	我が国の重要防護施設及び水上艦艇部隊に指向される、高速高機動かつ非放物線軌道の極超音速兵器等に対し、滑空段階（※）における迎撃能力向上のための誘導弾を開発する。 【E B P Mアクションプラン関連事業】 ※滑空段階：脅威である極超音速兵器等の飛しょう段階のうち、ロケットモータの燃焼（ブースト段階）終了から、最終目標へのダイブを開始（終末段階）するまでの、大気圏を機動・滑空する段階					
	事業概要URL	--					

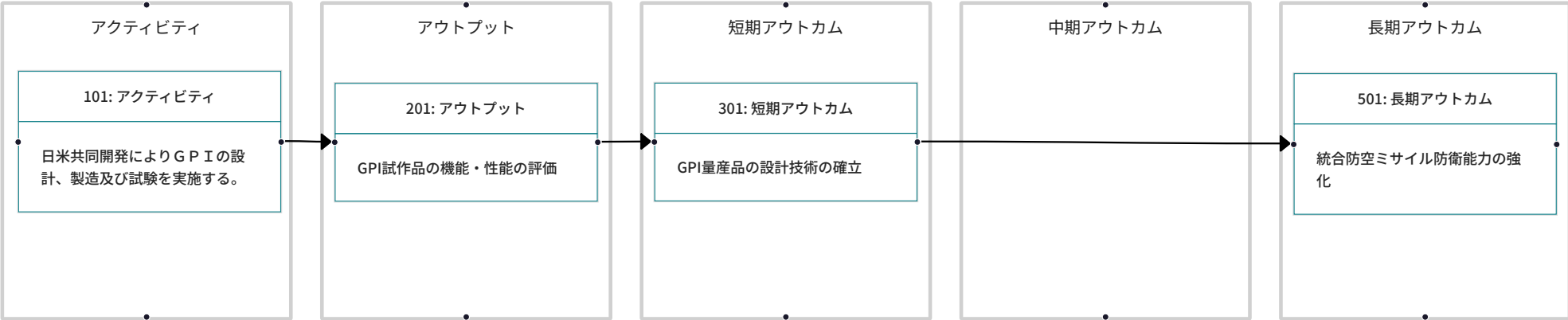
根拠法令	法令名		法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法		昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL			
	国家防衛戦略（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/strategy/index.html			
	防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/plan/index.html			
	E B P Mアクションプラン2024（令和6年12月26日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf			
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	0	5,263	7,934
	当初予算		0	0	5,679	7,882
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--
	予備費等		--	1,264	355	--
	計		0	1,264	6,034	7,882
	執行額		--	1,263	6,033	--
	執行率		--	100%	100%	--
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費		連絡官経費	5,679	7,934
		予備費等4 --		--	355	--
	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
主な増減理由	令和 8 年度に連絡官経費を計上したため翌年度予算額が増加。			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

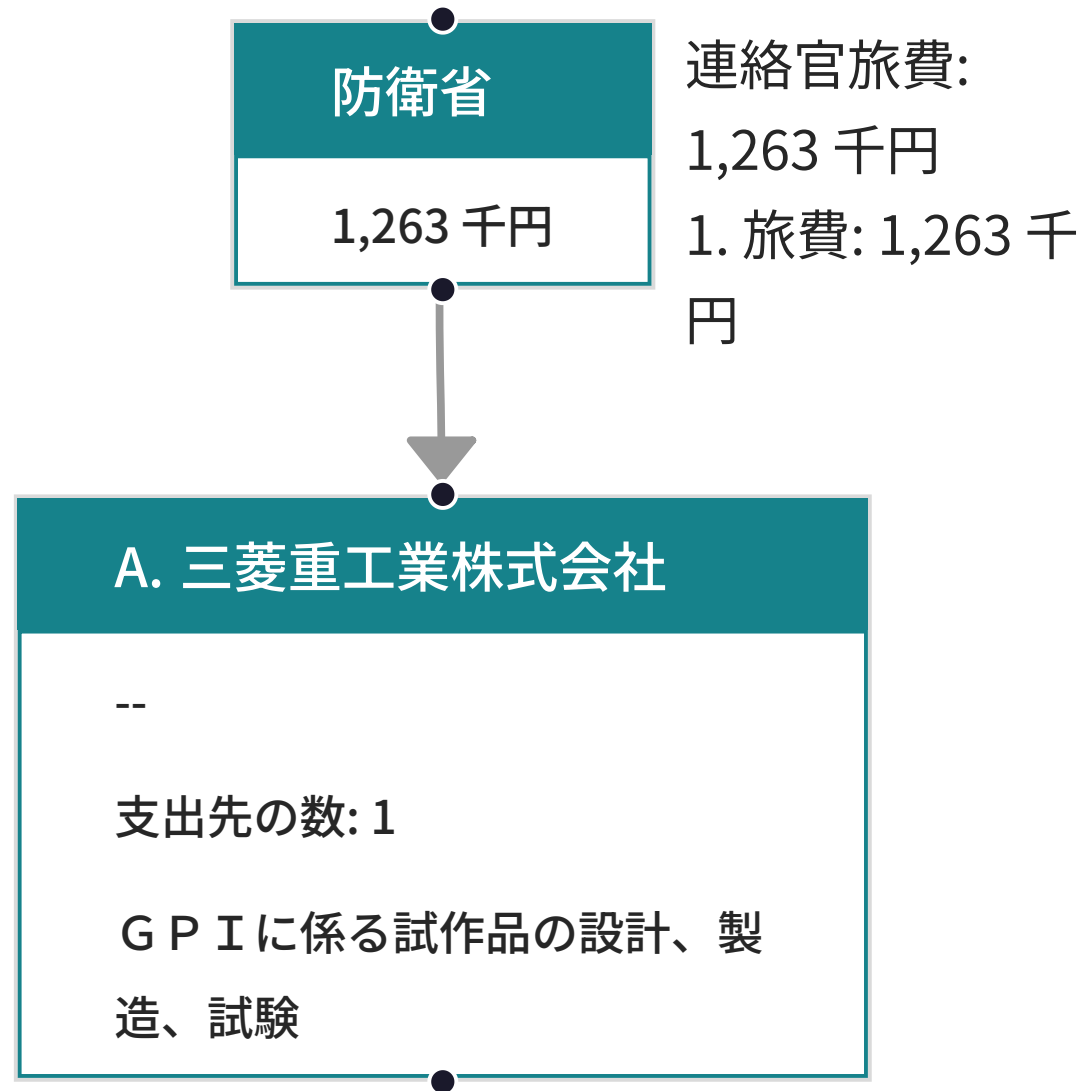
アクティビティ		日米共同開発により G P I の設計、製造及び試験を実施する。									
アウトプット	活動目標	GPI試作品の機能・性能の評価					活動指標	達成した開発フェーズ ※なお、試作品の設計・製造に係る契約は令和6年度に実施			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	開発フェーズを達成する毎に、GPI試作品の機能・性能の評価を段階的に完了し、GPI量産品の設計技術確立へとつながる。										
短期アウトカム	成果目標	GPI量産品の設計技術の確立					成果指標	成果報告の完了数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--					実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-					アウトカムを複数段階で設定できない理由	--			
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	目標年度 2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度	目標年度 2034年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	1	--	--	1	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
↓後続アウトカムへのつながり	GPI量産品の設計技術の確立され、その技術を保有することが統合防空ミサイル防衛能力の強化につながる。										

長期アウトカム	成果目標		統合防空ミサイル防衛能力の強化				成果指標		共同開発の完了数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績		--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）		国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由		-				アウトカムを複数段階で設定できない理由		--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度 2032年度	最終目標年度 2034年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前		経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）								
	URL		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf								
	該当箇所		P127～129								

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵略に対応するために必要であり、防衛省で実施することが適切である。 2 効率性 極超音速兵器を滑空段階で迎撃するという技術的にハードルの高い課題に対処するために、日米両国の技術を結集して対処する。 3 有効性 早期警戒衛星群を活用して、早期に目標の探知情報を入手し、イージス・システムを搭載した艦艇からG P Iを用いてこれを迎撃することで、我が国の重要防護施設及び水上艦艇部隊を防護することが可能になるため、有効性が認められる。 4 総合評価 本事業は、我が国の重要防護施設や作戦基盤の防護に資するものであり、効率的な予算執行に努めつつ、適正に実施している。 改善の方向性 統合防空ミサイル防衛能力を速やかに獲得するため、着実に事業を実施することに留意しつつ、引き続き事業の効率化に努める。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	現状どおり		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	2024年度開始事業であり、極超音速兵器を滑空段階で迎撃する誘導弾であるGPI（Glide Phase Interceptor）を日米共同開発するとのことで、現時点では試作品の設計、製造、試験を三菱重工業と契約（560億円）している。防衛省ホームページ（ https://www.mod.go.jp/j/approach/anpo/2024/1101_usa-j.html ）によると、米国側はノースロップ・グラマン社との共同開発を予定している。現時点で事業を評価することは難しいが、開発協力の進展によっては日本の防衛力に関するアナウンスメント効果がある。事業開発における世界的な競争・競合も視野に置き、事業を検証する必要がある。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。なお、活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために、適切な成果目標及び指標を設定するように努める。		

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱重工業株式会社	--	1	G P Iに係る試作品の設計、製造、試験		
		支出先名		支出額	法人番号		
		三菱重工業株式会社		--	8010401050387		

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	--	--	--	--	--	--

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号			
	A	三菱重工業株式会社	56,045,000	8010401050387			
		契約概要（契約名）/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		G P Iに係る試作品の設計、製造、試験 随意契約（公募）		56,045,000	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため

その他備考

--

高速高機動目標対応レーダの開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）					
	作成責任者	石原里史					
	その他担当組織	--					
基本情報	予算事業ID	007585	事業開始年度	2024		事業終了（予定）年度	2029
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL
	防衛省	Ⅰ－１我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（２）統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
	防衛省	Ⅳ－７いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤			（２）防衛技術基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	低ＲＣＳ※化かつ高速高機動する脅威の開発が進んでおり、現有のレーダでは対応不可能なため、これに対応可能なレーダを開発する。 ※ＲＣＳ（Radar Cross Section）：レーダ反射断面積					
	現状・課題	現状 低ＲＣＳ化かつ高速高機動する脅威の開発が進んでおり、現有のレーダでは対応不可能なため、これに対応可能なレーダが必要である。 また、当該脅威に対処するために必要なリアクションタイムを確保するため、送信電力の大出力化及び艦規模に応じた空中線の装備により、レーダ距離を大幅に延伸する必要がある。 課題 現有の艦船搭載用レーダでは、低ＲＣＳ化かつ高速高機動する脅威に対処するための探知距離を確保することができない。					
	事業の概要	低高度巡航ミサイル等の低ＲＣＳ化や高機動化、高高度を高速飛行するステルス性の高い航空機及び誘導弾の脅威に対する探知・追尾能力を確保すべく、高出力かつ遠距離探知特性と低高度目標探知特性にそれぞれ優れた周波数帯を併用することにより、搜索覆域の拡大、耐妨害性等の向上を図るとともに、探知距離・追尾精度の向上を図り、今後開発予定の新艦対空誘導弾（能力向上型）を効果的に管制可能な高性能多機能レーダを開発する。併せて、既存艦へ開発技術を適用し、国産護衛艦のレーダ能力向上を図る。【ＥＢＰＭアクションプラン関連事業】					
	事業概要URL	--					

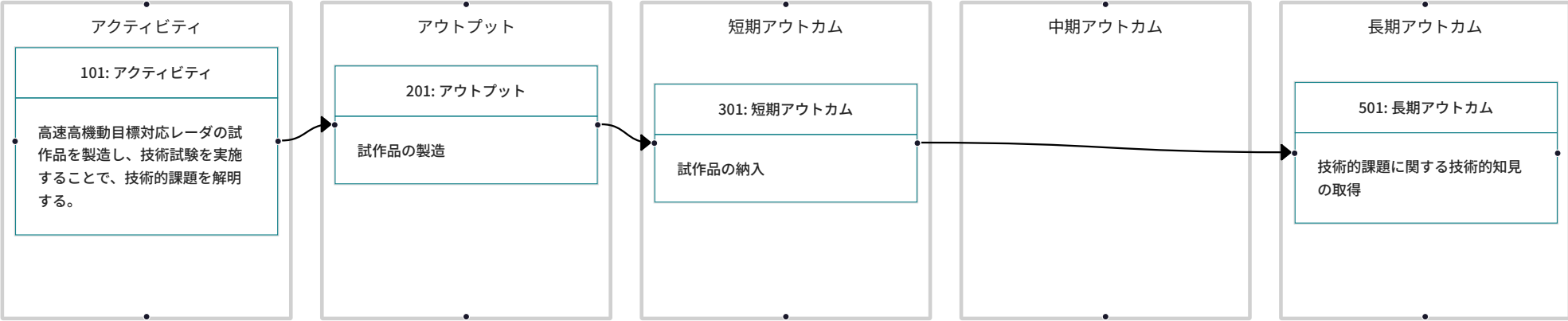
根拠法令	法令名		法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法		昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定・閣議決定）		--			
	ＥＢＰＭアクションプラン2024（令和6年12月26日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf			
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026		
	要求額		--	0	0	0		
	当初予算		0	--	0	--		
	補正予算		--	--	--	--		
	前年度から繰越し		--	--	--	--		
	予備費等		--	--	0	--		
	計		0	--	0	--		
	執行額		0	--	0	--		
	執行率		--	--	--	--		
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		0	0
		予備費等1			--		0	--
		--						
主な増減理由	なし			その他特記事項		なし		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

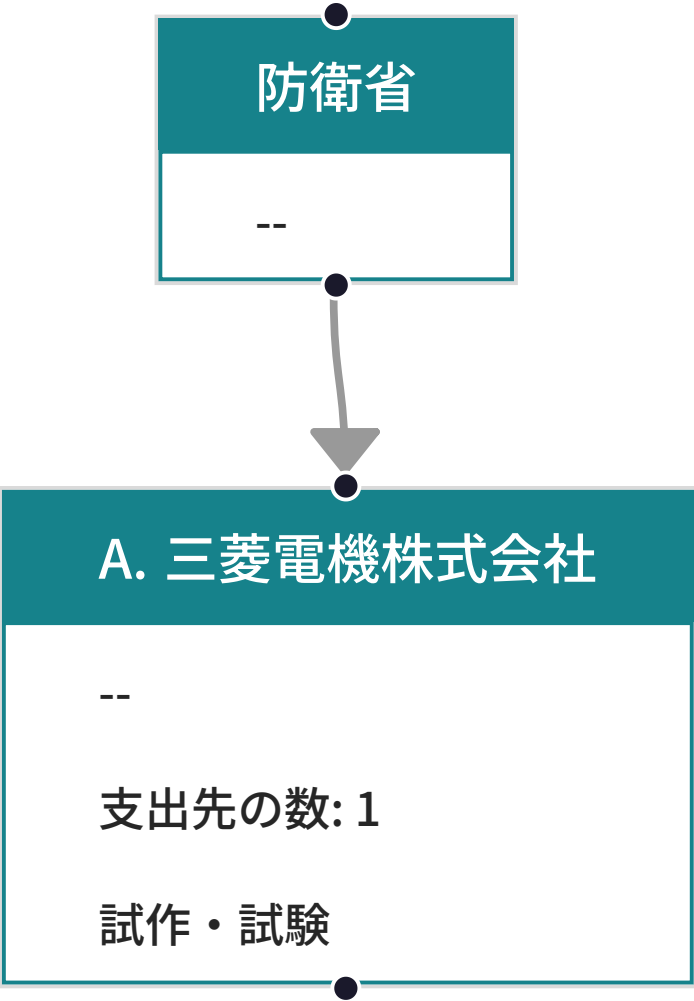
アクティビティ		高速高機動目標対応レーダの試作品を製造し、技術試験を実施することで、技術的課題を解明する。							
アウトプット	活動目標	試作品の製造				活動指標	試作の契約件数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値の根拠：海幕装体第256号（令和5年6月1日）別冊第1 令和4年度 装備品等研究開発要求		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績			2024年度			2025年度		2026年度	
	当初見込み／目標値(件)		1			1		1	
	活動実績／成果実績(件)		1			--		--	
↓ 後続アウトカムへのつながり		試作品は、設計活動、製造、各種試験を通して試作され令和10年度末に納入される予定である。まずは試作品が計画どおり納入されることを短期アウトカムとして設定した。							
短期アウトカム	成果目標	試作品の納入				成果指標	試作品の納入件数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値の根拠：海幕装体第256号（令和5年6月1日）別冊第1 令和4年度 装備品等研究開発要求		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	目標年度2032年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	1	1	1	0	0	3
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり		納入された試作品を用い令和11年度に技術試験を行うことで、最終的に技術的課題が解明されることから、技術的知見の取得を長期アウトカムとして設定した。							

長期アウトカム	成果目標	技術的課題に関する技術的知見の取得			成果指標	解明した技術的課題の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	目標値の根拠：海幕装体第256号（令和5年6月1日）別冊第1 令和4年度 装備品等研究開発要求
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	最終目標年度 2029年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	3
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）				
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf				
	該当箇所	P127～129				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	【１．必要性】 低ＲＣＳ化かつ高速高機動する脅威の開発が進んでおり、現有のレーダでは対応不可能なため、これに対応可能なレーダを開発する必要がある。 【２．効率性】 民生品の活用による開発費抑制、レーダ高出力化に対応する窒化ガリウムの採用、国内技術基盤の強化、技術試験と実用試験の同時実施等により、早期装備化を追求する。 【３．有効性】 高速高機動目標対応レーダを搭載する護衛艦は、低ＲＣＳかつ高速高機動する脅威目標に対処するため、防護対象から遠距離にて目標を探知し、対処可能となる。 【４．総合評価】 本事業を実施することにより、今後、各種脅威への対処能力を向上させることは、我が国の重要防護施設や作戦基盤の防護に資するものであり、必要性が認められる。また、本事業により上記達成すべき目標で述べた技術の確立が見込まれる。当該技術の確立に係る成果については、試作及び技術試験により検証し、当該検証の結果が得られた場合には、我が国の技術力の強化に資することが見込まれる。当該成果は自衛隊のニーズに合致した高度な防衛装備品を創製するための重要な成果であり、最終的に政策目標である我が国自身の防衛体制の強化につながるものである。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	点検結果において、本事業では民生品の積極的活用や過去の技術的成果の利活用による経費の低減を実施し、経費の抑制が適切になされていた。従来より過去の技術的成果等を積極的に利活用することで経費の抑制を行っているところであるが、同様な視点を他の事業においても適用することが、今後の課題と見込まれる。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	点検結果として、「本事業では民生品の積極的活用や過去の技術的成果の利活用による経費の低減を実施し、経費の抑制が適切になされていた。」とのことだが、活動指標/成果指標には効率性の視点に関するものは見受けられない。目標値とすることは難しいかもしれないが、既存技術や民生技術の利用数等も活動成果として見える化するとよいと考える。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	指摘を踏まえ、活動成果の見える化について検討を行い、適切な指標を設定するよう努める。		

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	三菱電機株式会社	--	1	試作・試験		

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	--	--	--	--	--	--

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱電機株式会社	16,811,300	4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		高速高機動目標対応レーダ（その１）の試作 随意契約（公募）	16,811,300	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため

その他備考

--

新艦対空誘導弾（能力向上型）の開発

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜					
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官					
基本情報	予算事業ID	019780	事業開始年度	2024		事業終了（予定）年度	2031
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅳ－ 7 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤		（ 2 ） 防衛技術基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅰ－ 1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（ 2 ） 統合防空ミサイル防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	航空機や誘導弾の低 R C S （※）化等の技術進展が見込まれる将来の戦闘様相において、我の水上艦艇部隊に指向する戦闘機や爆撃機、高高度から高速で侵入する対艦ミサイル等の脅威に対して優位性を保持するため、新艦対空誘導弾の能力向上型を開発する。 （※） R C S （Radar Cross Section）：レーダ反射断面積					
	現状・課題	各国で開発が進められている経空脅威は高速化、長射程化等の多様な能力向上が見込まれている。特に、高高度から侵入する低 R C S 高機動目標に対しては、従来の国産護衛艦の誘導武器システムでは十分な対処が困難である。 このような脅威に対処するため、新艦対空誘導弾をベースとした能力向上、具体的には、シーカ的能力向上や航法の改善等を図ることにより、効果的な対抗手段を確立し、日本周辺海域に展開し各種任務に当たる国産護衛艦の作戦能力の向上を図る。					
	事業の概要	高高度から高速で進入する目標を撃墜するため、レーダが取得した目標情報から F C S （※）が予想会合点を正確に算出するための経路予測技術や、誘導弾が目標の軌道変化に追尾／応答するためのシーカー／サイドスラスト技術を確立するための研究を行う。 （※） F C S （Fire Control System）：射撃管制装置 【EBPMアクションプラン関連事業】					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四

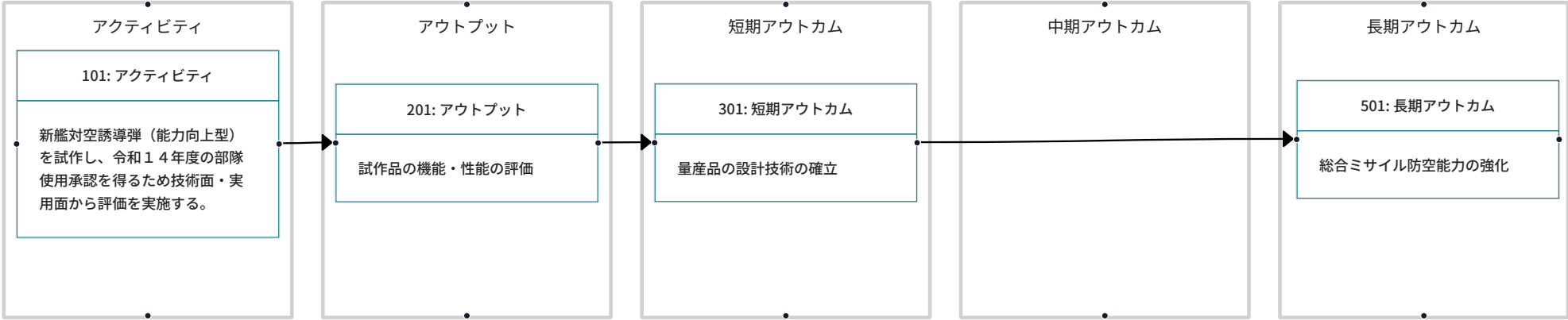
関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
	ＥＢＰＭアクションプラン２０２４（令和６年１２月２６日経済財政諮問会議決定）		https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/committee/20241217/report_241226_1.pdf	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2024	2025	2026			
	要求額		--	0	234,154			
	当初予算		42,017	0	234,008			
	補正予算		--	--	--			
	前年度から繰越し		--	--	--			
	予備費等		--	9,988	--			
	計		42,017	9,988	234,008			
	執行額		38,895	9,944	--			
	執行率		92.6%	99.6%	--			
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			--		0	234,154
		予備費等1 --			--		0	--
		予備費等4 --			--		9,988	--
	主な増減理由							
事業の進捗に伴い、昨年度と遂行する内容が異なるため。				その他特記事項		--		

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

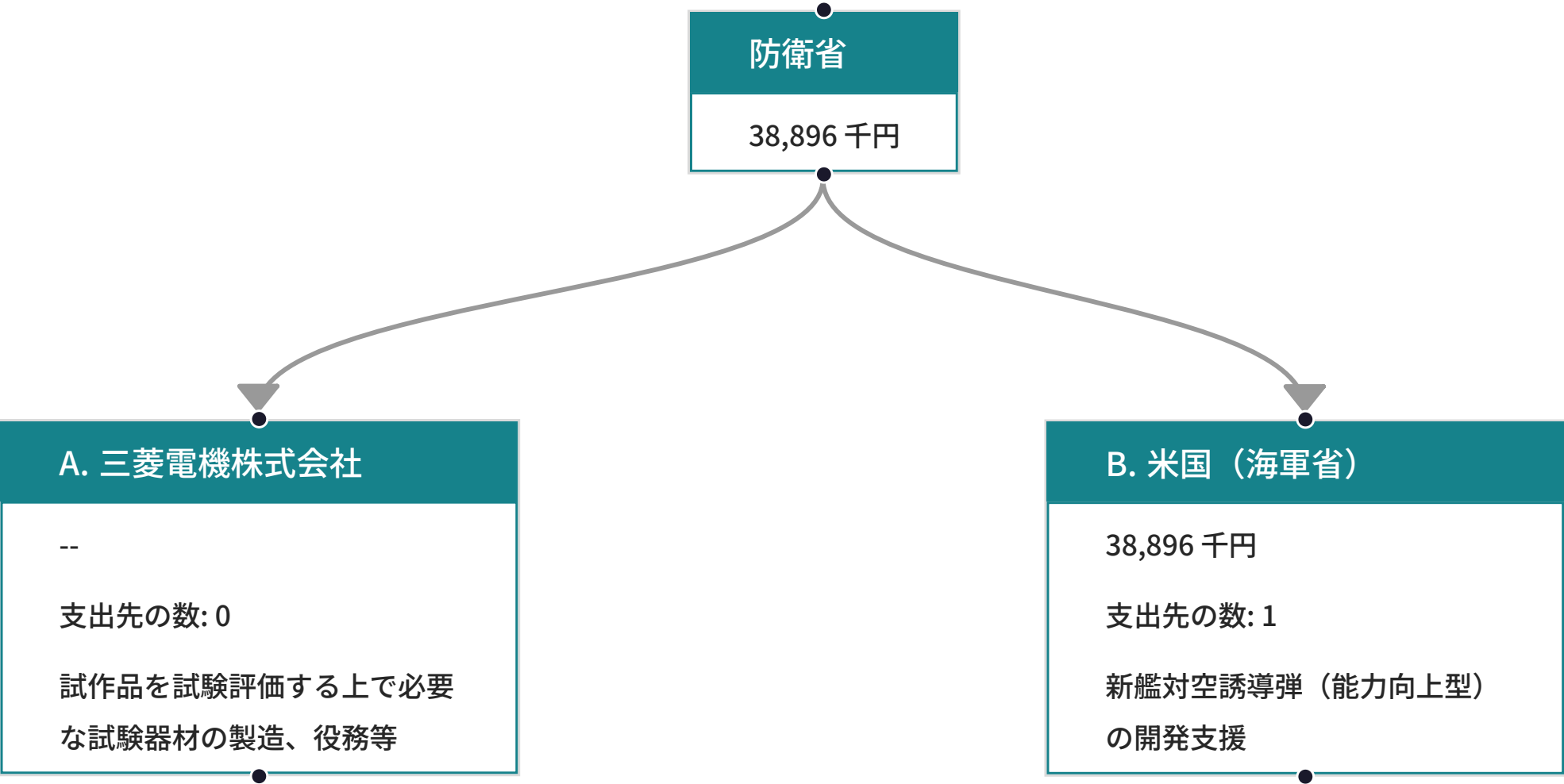
アクティビティ	新艦対空誘導弾（能力向上型）を試作し、令和１４年度の部隊使用承認を得るため技術面・実用面から評価を実施する。								
アウトプット	活動目標	試作品の機能・性能の評価				活動指標	試作請負の完了件数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	1	1	2	0
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の機能・性能の評価により量産品の設計技術の確立が見込めることから、短期アウトカムとして設定した。								
短期アウトカム	成果目標	量産品の設計技術の確立				成果指標	成果報告の数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛政略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	目標年度 2031年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	1	0	1	1	1
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	100	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	量産品の取得が、直接総合ミサイル防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。								

長期アウトカム	成果目標	総合ミサイル防空能力の強化				成果指標	開発試作の完了数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	--		
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	最終目標年度 2031年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	0	0	0	1
	活動実績／成果実績(件)	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	100	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	経済・財政新生計画 進捗管理・点検・評価表 2025（令和7年5月26日経済財政諮問会議決定）							
	URL	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_20250526.pdf							
	該当箇所	P127～129							

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵略に対応するために必要であり、防衛省で実施することが適切である。		
		2 効率性 低RCS（※）・高速・高機動飛しょう体を迎撃するという技術的にハードルの高い課題に対処するために、既存の新艦対空誘導弾をベースに能力向上を実施する。		
		3 有効性 本誘導弾を獲得は、脅威に対する、我が国の水上艦艇部隊の効果的な対抗手段の確立に寄与するため、有効性が認められる。		
		4 総合評価 本事業は、我が国の作戦基盤の防護に資するものであり、効率的な予算執行に努めつつ、適正に実施している。		
		（※） R C S（Radar Cross Section）：レーダ反射断面積		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	効果的な艦隊防空能力を速やかに獲得するため、着実に事業を実施することに留意しつつ、引き続き事業の効率化に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	日本が対空ミサイルを開発するにあたってシーカーの技術を開発することは急務。海上作戦における対空防衛能力は極めて重要であり、対艦ミサイルの脅威は、我が国防衛にとって重大な脅威であり、対艦ミサイル対処能力を強化することは、極めて重要である。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	外部有識者の所見を踏まえ、適切に対応されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
		詳細	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き適切な対応するよう努める。	

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A 三菱電機株式会社			--	0	試作品を試験評価する上で必要な試験器材の製造、役務等			
	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B 米国（海軍省）			38,896	1	新艦対空誘導弾（能力向上型）の開発支援			
	支出先名			支出額	法人番号				
	米国（海軍省）			38,896	9999999999999				
	契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由		
	新艦対空誘導弾（能力向上型）の開発支援に係る日米会議 随意契約（その他）(FMS)			38,896	1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）		
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目		使途		金額
	B	米国（海軍省）	新艦対空誘導弾（能力向上型） の開発支援に係る日米会議		試験研究費		米国射場での発射試験支援に関する調整等 の日米会議に係る費用		38,896
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名			契約額		法人番号		
	A	三菱電機株式会社			5,549,500		4010001008772		
		契約概要（契約名）/契約方式等			契約額		入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		新艦対空誘導弾（能力向上型）（その1） 随意契約（公募）			5,549,500		1	--	【落札率が非公開となった理由】 他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名			契約額		法人番号		
	B	米国（海軍省）			38,896		9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等			契約額		入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		新艦対空誘導弾（能力向上型）の開発支援に係る日米会議 随意契約（その他）(FMS)			38,896		1	--	本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）

その他備考

--